

双葉町 住民意向調査 報告書

令和2年3月

復興庁
福島県
双葉町

双葉町 住民意向調査

報告書

目 次

I 調査の概要	1
1-1 調査目的	3
1-2 調査内容	3
1-3 調査設計	3
1-4 回収結果	3
1-5 報告書の見方	3
II 調査結果のまとめ	5
2-1 震災発生時の状況	7
2-1-1 震災発生当時の住居形態（問4）	7
2-2 現在の状況	8
2-2-1 現在の職業（就業形態）（問2（1））	8
2-2-2 世帯人数（問6（1）・問6（2））	8
2-2-3 現在の避難先自治体（問5）	9
2-2-4 現在の住居形態（問7-1）	9
2-3 将来の意向	10
2-3-1 双葉町への帰還意向（問9）	10
2-3-2 避難指示解除後の双葉町への帰還時期（問10-1-1）	11
2-3-3 双葉町へ帰還する場合の家族（問10-1-2）	11
2-3-4 双葉町へ帰還した場合の世帯構成（問10-1-3）	12
2-3-5 双葉町への帰還を判断するために必要なこと（問10-2）	13
2-3-6 双葉町へ帰還した場合に希望する住居形態 〔戻りたい考えている方〕（問10-3）	14
2-3-7 双葉町へ帰還した場合に希望する住居形態 〔まだ判断がつかない方〕（問10-3）	14
2-3-8 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」への 居住意向（問10-4）	15
2-3-9 JR双葉駅の西側に住宅地が整備された場合に希望する 住居形態（問10-5）	15

2-3-10	「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に必要な生活関連施設（問 10-6-1）	16
2-3-11	「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に必要な生活関連サービス（問 10-6-2）	17
2-3-12	「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」への居住を判断できない理由・居住しない理由（問 10-7）	18
2-3-13	双葉町に戻らないと決めている理由（問 13-1）	19
2-3-14	双葉町に帰還しない場合に今後の生活において必要な支援（問 13-2）	20
2-3-15	双葉町に帰還しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態（問 13-3）	20
2-3-16	双葉町との「つながり」を保ちたいか（問 11-1）	21
2-3-17	双葉町を訪れたい頻度（問 11-2）	21
2-3-18	双葉町を訪れたい頻度・行事・イベント（問 11-3）	22
2-3-19	双葉町でイベントが開催された場合の参加意向（問 12）	22
2-4	町内への立ち入り・避難指示解除に向けた取り組み	23
2-4-1	双葉町への一時立ち入りの活用頻度（問 14-1）	23
2-4-2	立入規制緩和後の双葉町内への立ち入り頻度の意向（問 15）	23
2-5	双葉町内での就業意向	24
2-5-1	中野地区復興産業拠点での就業意向（問 17）	24
2-6	不動産の取り扱い	25
2-6-1	双葉町内に保有する家屋の利用意向（問 18）	25
2-6-2	双葉町内に保有する宅地の利用意向（問 19-1）	25
2-6-3	双葉町内に保有する農地の利用意向（問 20-1）	26
2-7	情報入手・コミュニケーション	27
2-7-1	双葉町からの情報入手経路（問 21-1）	27
2-7-2	特に知りたい、関心のある情報（問 23）	28
III	調査結果	29
3-1	回答者の属性	31
3-1-1	性別	31
3-1-2	年齢	31
3-1-3	現在の職業（就業形態）	32
3-1-4	現在の業種	33
3-2	東日本大震災発生時の状況	34
3-2-1	震災発生当時の住まいの行政区	34

3-2-2	震災発生当時の住まいの区域	34
3-2-3	震災発生当時の住居形態	35
3-3	避難状況	36
3-3-1	現在の避難先自治体	36
3-3-2	震災発生当時の世帯構成・人数	37
3-3-3	現在の世帯構成・人数	38
3-3-4	現在の住居形態	38
3-3-5	福島県営の復興公営住宅への入居意向	39
3-3-6	入居を希望する復興公営住宅の立地市町村	40
3-3-7	避難期間中の生活で困っていること・改善を求めること	41
3-4	将来の意向	43
3-4-1	双葉町への帰還意向	43
3-4-2	避難指示解除後の双葉町への帰還時期	46
3-4-3	双葉町へ帰還する場合の家族	47
3-4-4	双葉町へ家族一部で帰還した場合の世帯構成・人数 〔家族の一部での帰還を考えている方〕	48
3-4-5	双葉町への帰還を判断するために必要なこと	49
3-4-6	双葉町へ帰還した場合に希望する住居形態	51
3-4-7	「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」への居住意向	52
3-4-8	「新市街地ゾーン」に居住した場合に希望する住居形態	53
3-4-9	「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に必要な 生活関連施設	53
3-4-10	「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に必要な 生活関連サービス	54
3-4-11	「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」への居住を 判断できない理由・居住しない理由	54
3-4-12	双葉町との「つながり」を保ちたいか	55
3-4-13	双葉町を訪れたい頻度	56
3-4-14	双葉町を訪れたいくなる取り組み・行事・イベント	57
3-4-15	双葉町でイベントが開催された場合の参加意向	58
3-4-16	双葉町に帰還しない理由	59
3-4-17	双葉町に帰還しない場合に今後の生活において必要な支援	60
3-4-18	双葉町に帰還しない場合に今後の住まいとして希望する 住居形態	60
3-5	町内への一時立ち入り・避難指示解除に向けた取り組み	61
3-5-1	双葉町内への一時立ち入りの活用頻度	61
3-5-2	双葉町内への一時立ち入りを活用しない理由	61

3-5-3	訪れやすくなった場合の双葉町内への立ち入り頻度	62
3-5-4	準備宿泊の意向	62
3-5-5	準備宿泊を希望する場所	62
3-6	双葉町内での就業意向	63
3-6-1	中野地区復興産業拠点での就業意向	63
3-7	不動産の取り扱い	64
3-7-1	双葉町内に保有する家屋の利用意向	64
3-7-2	双葉町内に保有する宅地の利用意向	64
3-7-3	「空地バンク」からの問い合わせ	65
3-7-4	双葉町内に保有する農地の利用意向	65
3-7-5	農地保全を目的とする組合への加入意向	66
3-8	情報入手・コミュニケーション	67
3-8-1	双葉町からの情報の入手経路	67
3-8-2	「ICTきずな支援システム」の利用頻度	67
3-8-3	「ICTきずな支援システム」が有料になった場合の 利用意向	68
3-8-4	双葉町復興支援員の製作物の認知状況	68
3-8-5	双葉町復興支援員の製作物で継続してほしいもの	69
3-8-6	特に知りたい、関心のある情報	69
3-8-7	避難先での自治会などへの加入状況	70
3-9	意見・要望	71
3-9-1	双葉町の復興を進めていくにあたっての意見・要望	71
3-9-2	国・福島県・双葉町への意見・要望	74
IV	参考資料	89
4-1	使用調査票	91

I 調査の概要

1-1 調査目的

本調査は、双葉町住民の生活環境の整備や、帰還に向けた諸施策を適切に実施するための基礎資料とすることを目的とする。

1-2 調査内容

※4-1 使用調査票を参照のこと

1-3 調査設計

(1) 調査地域	双葉町
(2) 調査対象と標本数	世帯の代表者 3,057 世帯
(3) 調査手法	郵送にて配布・回収（自記式）
(4) 調査期間	令和元年 9 月 25 日（水）～令和元年 10 月 8 日（火）
(5) 調査主体	復興庁、福島県、双葉町
(6) 調査機関	株式会社サーベイリサーチセンター

1-4 回収結果

有効回収数 1,402 世帯（有効回収率 45.9%）

1-5 報告書の見方

- ・調査数（ $n = \text{Number of cases}$ ）とは、回答者総数あるいは分類別の回答者数のことである。
- ・回答の構成比は百分率であらわし、小数点第 2 位を四捨五入して算出している。従って、回答比率の合計が 100%にならない場合がある。
- ・回答者が 2 つ以上の回答をすることができる多肢選択式の質問においては、全ての選択肢の比率を合計すると 100%を超える。
- ・「その他」に内訳を記載している項目に関しては、個別の項目を合算して構成比を改めて算出している。従って、内訳の回答比率の合計が、グラフ記載の「その他」の回答比率と合致しない場合がある。
- ・図表および文章中で、選択肢の語句等を一部簡略化している場合がある。
- ・調査数（ n 値）が少数（概ね 30 を下回る）のものは、回答構成比の信頼性が低いため、文章中の分析では言及していない。

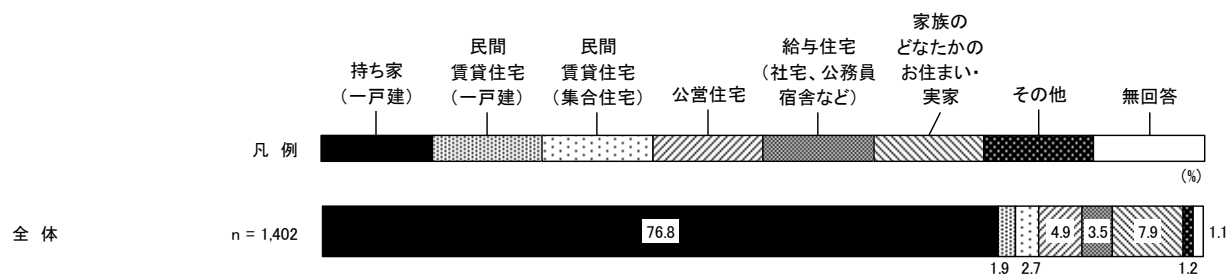
II 調査結果のまとめ

2-1 震災発生時の状況

2-1-1 震災発生当時の住居形態（問4）

震災発生当時の住居形態については、「持ち家（一戸建）」が76.8%と最も高く、次いで「家族のどなたかのお住まい・実家」が7.9%、「公営住宅」が4.9%となっている。

<図表2-1-1 震災発生当時の住居形態>

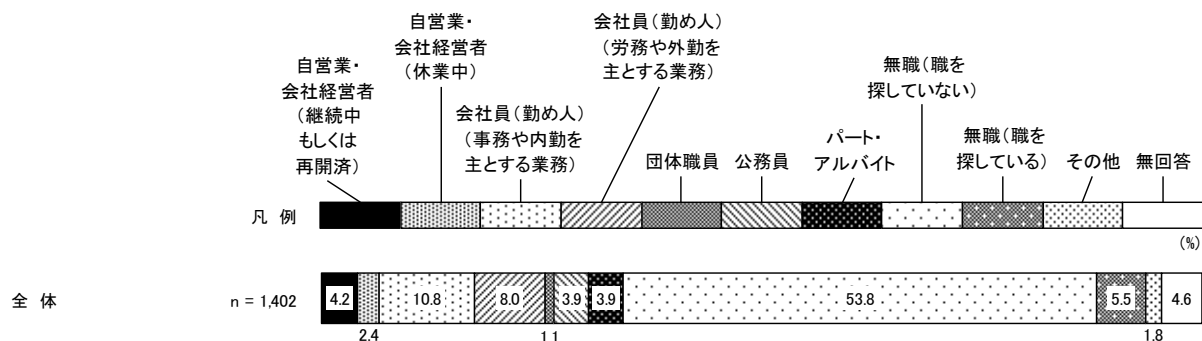


2-2 現在の状況

2-2-1 現在の職業（就業形態）（問2（1））

現在の職業（就業形態）については、「無職（職を探していない）」（53.8%）以外では、「会社員（勤め人）（事務や内勤を主とする業務）」が10.8%と最も高く、次いで「会社員（勤め人）（労務や外勤を主とする業務）」が8.0%となっている。

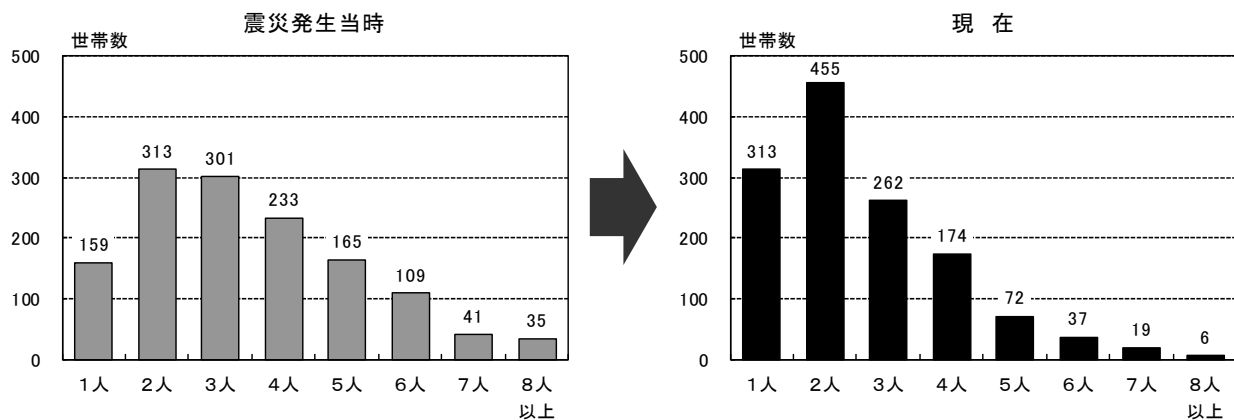
<図表2-2-1 現在の職業（就業形態）>



2-2-2 世帯人数（問6（1）・問6（2））

震災発生当時の世帯人数は、「2人」が313世帯と最も多く、次いで「3人」が301世帯、「4人」が233世帯となっている。
現在の世帯人数は、「2人」が455世帯と最も多く、次いで「1人」が313世帯、「3人」が262世帯となっている。

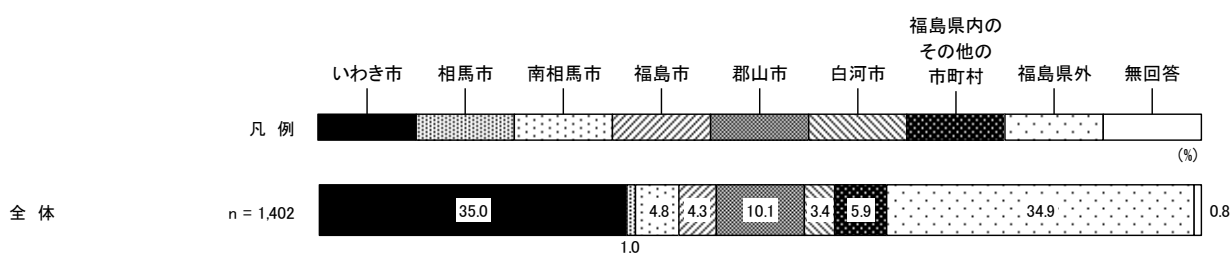
<図表2-2-2 世帯人数>



2-2-3 現在の避難先自治体（問5）

現在の避難先自治体については、「いわき市」が35.0%と最も高く、県内では他に「郡山市」が10.1%となっている。「福島県外」は34.9%となっている。

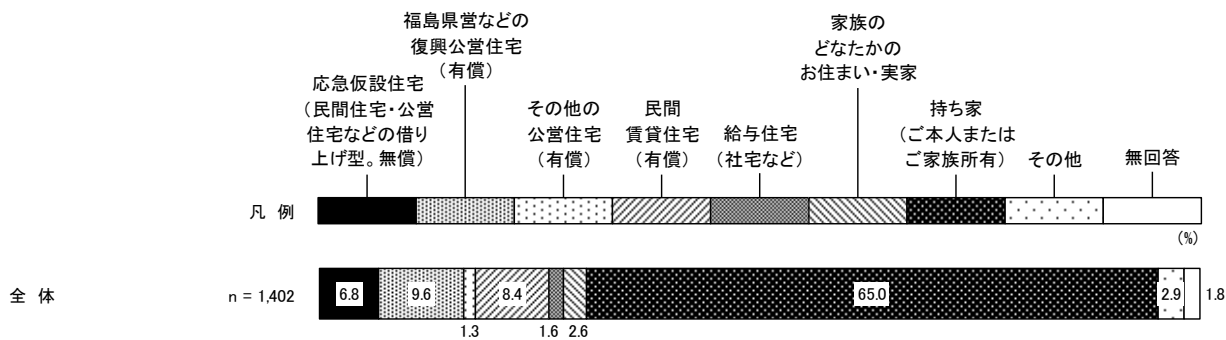
<図表2-2-3 現在の避難先自治体>



2-2-4 現在の住居形態（問7-1）

現在の住居形態については、「持ち家（ご本人またはご家族所有）」が65.0%と最も高く、次いで「福島県営などの復興公営住宅（有償）」が9.6%、「民間賃貸住宅（有償）」が8.4%となっている。

<図表2-2-4 現在の住居形態>



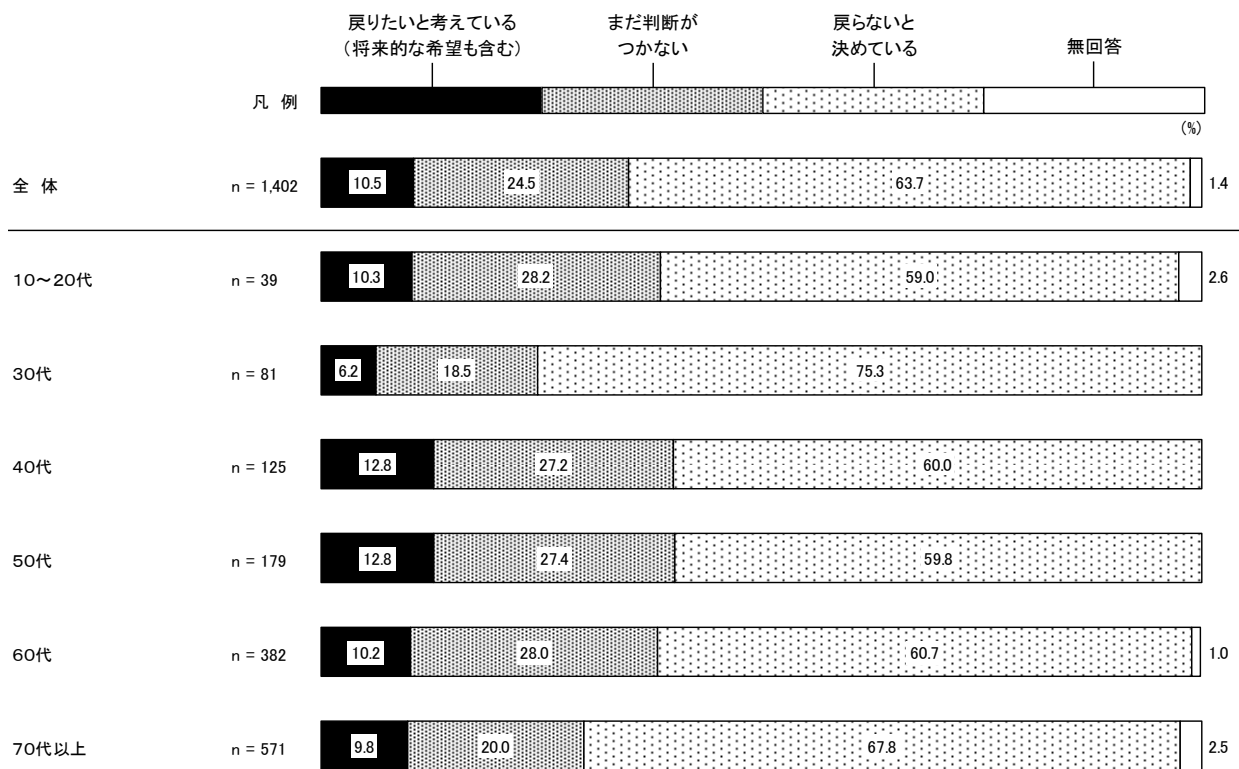
2-3 将来の意向

2-3-1 双葉町への帰還意向（問9）

双葉町への帰還意向については、全体では「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」が10.5%、「まだ判断がつかない」が24.5%、「戻らないと決めている」が63.7%となっている。

回答者の年齢別にみると、「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」は40～50代で共に12.8%と最も高くなっている。

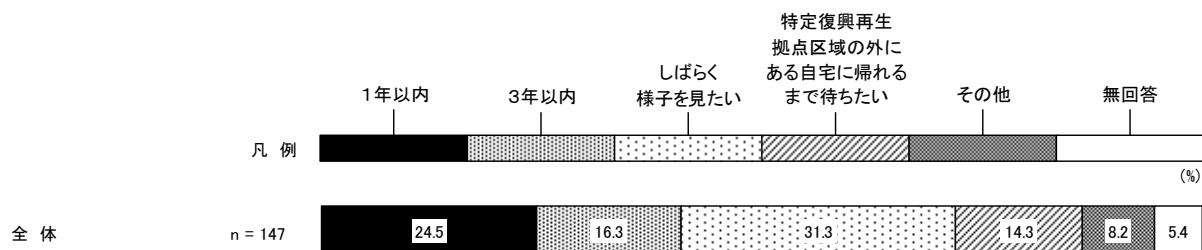
<図表2-3-1 双葉町への帰還意向（年齢別）>



2-3-2 避難指示解除後の双葉町への帰還時期（問 10-1-1）

避難指示解除後の双葉町への帰還時期については、「しばらく様子を見たい」が31.3%と最も高く、「1年以内」が24.5%、「3年以内」が16.3%、「特定復興再生拠点区域の外にある自宅に帰れるまで待ちたい」が14.3%となっている。

<図表2-3-2 避難指示解除後の双葉町への帰還時期>

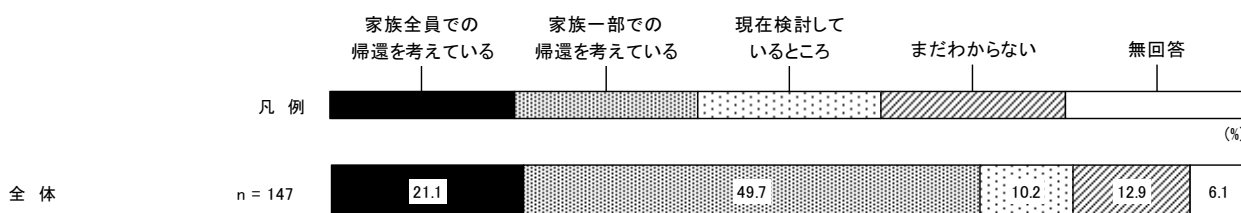


※問9で「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方のみ

2-3-3 双葉町へ帰還する場合の家族（問 10-1-2）

双葉町へ帰還する場合の家族については、「家族一部での帰還を考えている」が49.7%と最も高く、「家族全員での帰還を考えている」が21.1%、「まだわからない」が12.9%となっている。

<図表2-3-3 双葉町へ帰還する場合の家族>

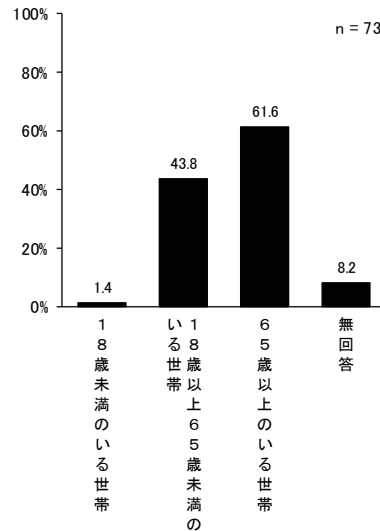


※問9で「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方のみ

2-3-4 双葉町へ帰還した場合の世帯構成（問 10-1-3）

双葉町へ帰還した場合の世帯構成については、「18歳未満のいる世帯」が1.4%、「18歳以上65歳未満のいる世帯」が43.8%、「65歳以上のいる世帯」が61.6%となっている。

<図表2-3-4 双葉町へ帰還した場合の世帯構成>



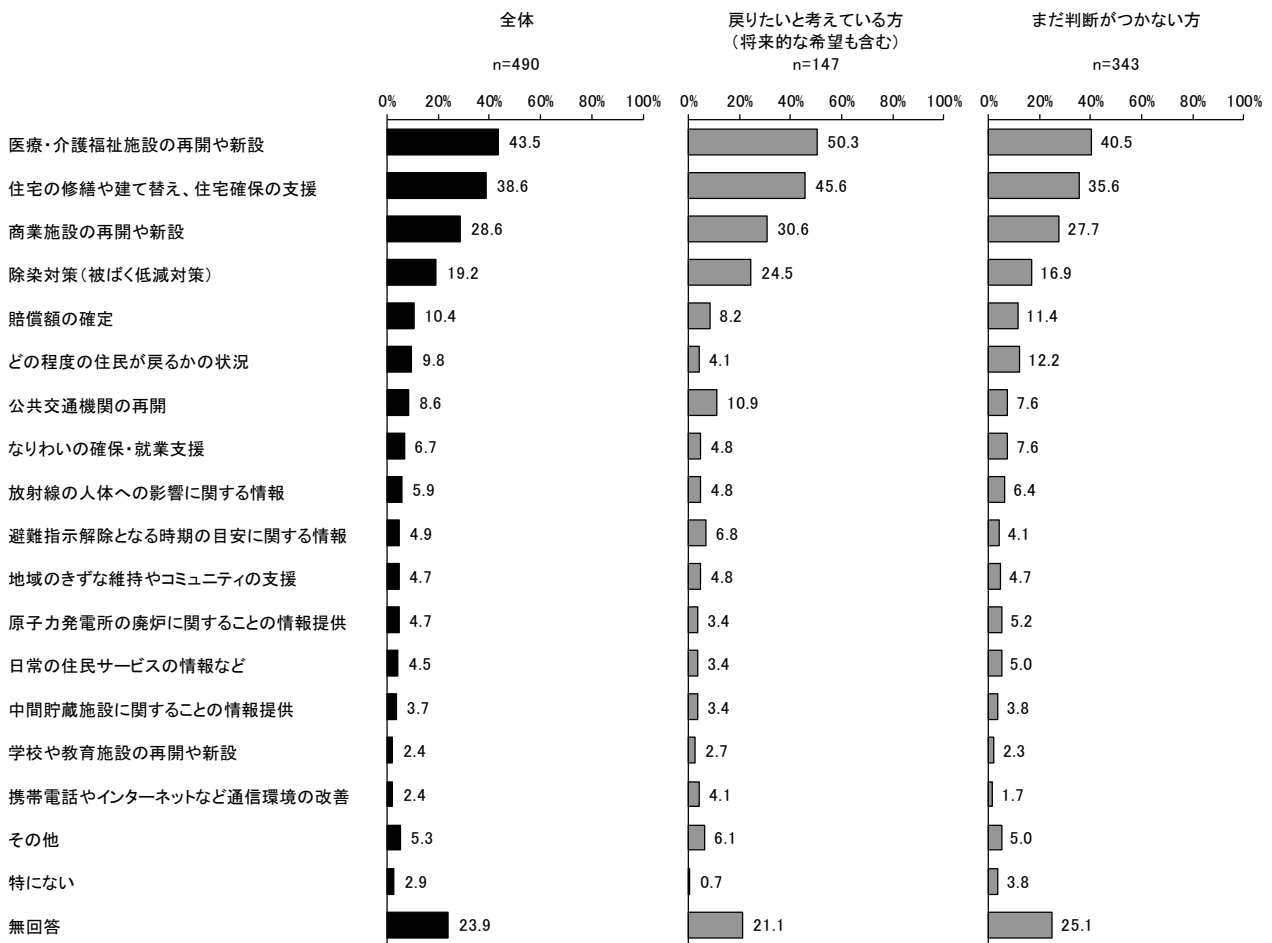
※問 10-1-2 で「家族一部での帰還を考えている」と回答した方のみ

2-3-5 双葉町への帰還を判断するために必要なこと（問 10-2）

双葉町への帰還を判断するために必要なことについては、全体では「医療・介護福祉施設の再開や新設」が43.5%と最も高く、次いで「住宅の修繕や建て替え、住宅確保への支援」が38.6%、「商業施設の再開や新設」が28.6%となっている。

帰還意向別にみると、戻りたいと考えている方、まだ判断がつかない方のいずれにおいても、全体と同じ項目が同じ順番で上位に並んでいる。

<図表2-3-5 双葉町への帰還を判断するために必要なこと>

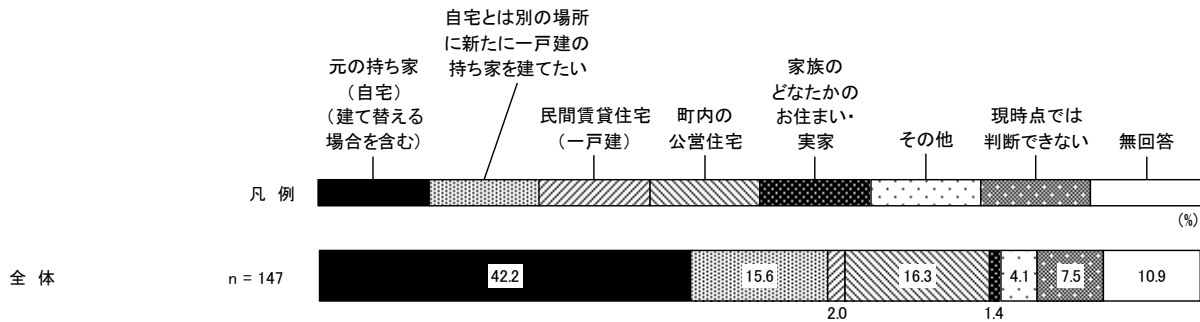


※問9で「戻りたいと考えている(将来的な希望も含む)」「まだ判断がつかない」と回答した方のみ
 ※優先順位1番目から3番目を積算して算出

2-3-6 双葉町へ帰還した場合に希望する住居形態〔戻りたいと考えている方〕
(問 10-3)

双葉町へ帰還した場合に希望する住居形態で、戻りたいと考えている方についてみると、「元の持ち家（自宅）（建て替える場合を含む）」が42.2%と最も高く、次いで「町内の公営住宅」が16.3%、「自宅とは別の場所に新たに一戸建の持ち家を建てたい」が15.6%となっている。

<図表2-3-6 双葉町へ帰還した場合に希望する住居形態〔戻りたいと考えている方〕>

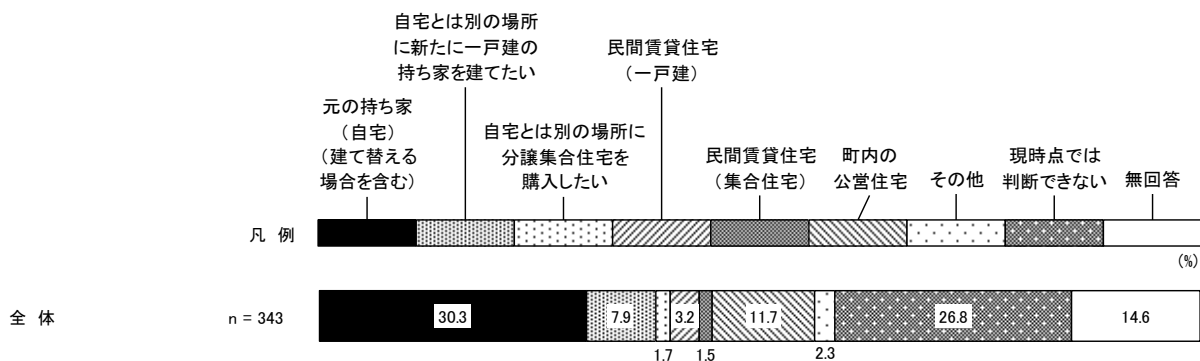


※問9で「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方のみ

2-3-7 双葉町へ帰還した場合に希望する住居形態〔まだ判断がつかない方〕
(問 10-3)

双葉町へ帰還した場合に希望する住居形態で、まだ判断がつかない方についてみると、「元の持ち家（自宅）（建て替える場合を含む）」が30.3%と最も高く、次いで「現時点では判断できない」が26.8%、「町内の公営住宅」が11.7%となっている。

<図表2-3-7 双葉町へ帰還した場合に希望する住居形態〔まだ判断がつかない方〕>



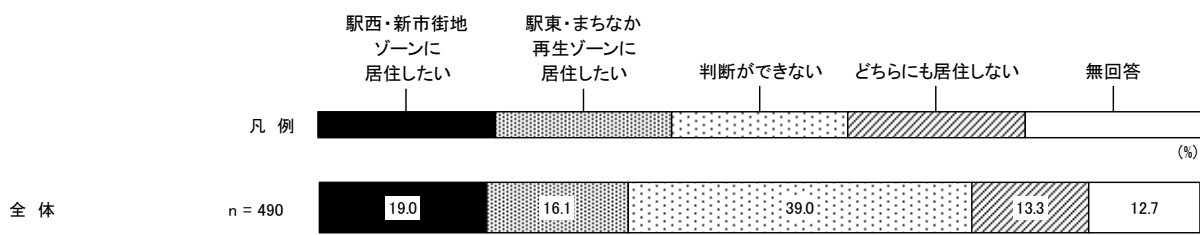
※問9で「まだ判断がつかない」と回答した方のみ

2-3-8 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」への居住意向（問 10-4）

町では、JR 双葉駅の西側の区域を「新市街地ゾーン」と位置づけ、町が主導して先行的に住宅地や生活関連施設の整備を進めることとしております。また、JR 双葉駅の東側の区域については、「まちなか再生ゾーン」と位置づけ、既成市街地の再生を目指すこととしております。

「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」への居住意向については、「駅西・新市街地ゾーンに居住したい」が 19.0%、「駅東・まちなか再生ゾーンに居住したい」が 16.1%となっている。最も高いのは「判断ができない」で 39.0%となっている。

<図表 2-3-8 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」への居住意向>

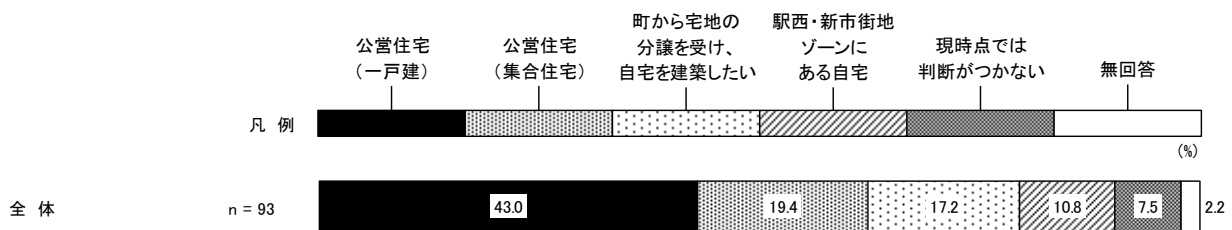


※問 9 で「戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」「まだ判断がつかない」と回答した方のみ

2-3-9 JR 双葉駅の西側に住宅地が整備された場合に希望する住居形態（問 10-5）

JR 双葉駅の西側に住宅地が整備された場合に希望する住居形態については、「公営住宅（一戸建）」が 43.0%と最も高く、次いで「公営住宅（集合住宅）」が 19.4%、「町から宅地の分譲を受け、自宅を建築したい」が 17.2%となっている。

<図表 2-3-9 JR 双葉駅の西側に住宅地が整備された場合に希望する住居形態>

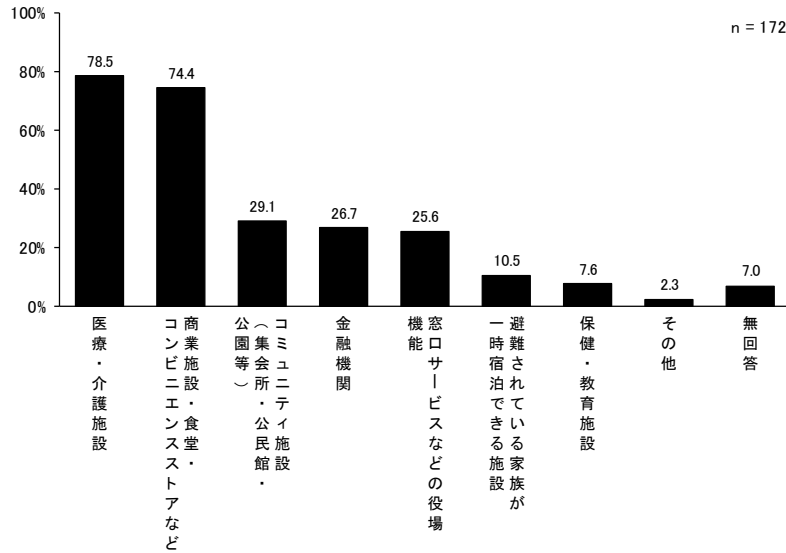


※問 10-4 で「駅西・新市街地ゾーンに居住したい」と回答した方のみ

2-3-10 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に必要な生活関連施設
(問 10-6-1)

「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に必要な生活関連施設については、「医療・介護施設」が78.5%と最も高く、次いで「商業施設・食堂・コンビニエンスストアなど」が74.4%、「コミュニティ施設（集会所・公民館・公園等）」が29.1%となっている。

<図表2-3-10 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に必要な生活関連施設>



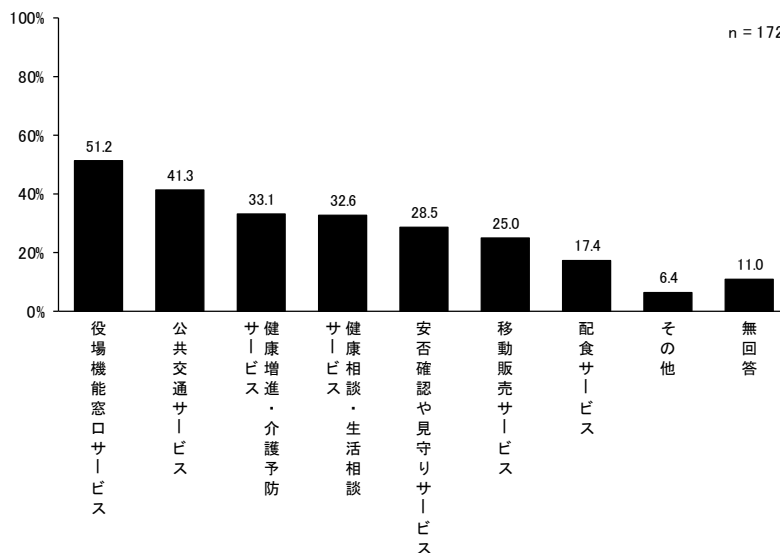
※問 10-4 で「駅西・新市街地ゾーンに居住したい」「駅東・まちなか再生ゾーンに居住したい」と回答した方のみ

※回答は3つまで

2-3-11 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に必要な生活関連サービス
(問 10-6-2)

「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に必要な生活関連サービスについては、「役場機能窓口サービス」が51.2%と最も高く、次いで「公共交通サービス」が41.3%、「健康増進・介護予防サービス」が33.1%となっている。

<図表2-3-11 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に必要な生活関連サービス>

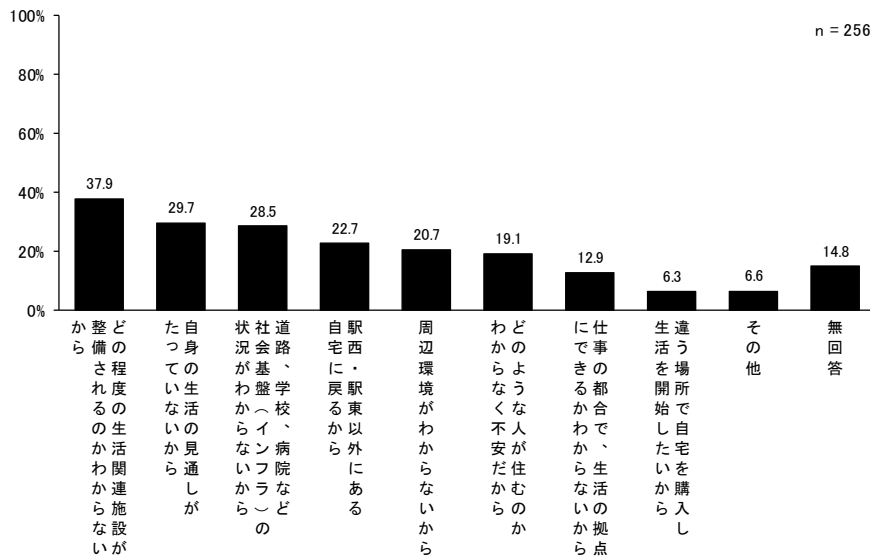


※問 10-4 で「駅西・新市街地ゾーンに居住したい」「駅東・まちなか再生ゾーンに居住したい」と回答した方のみ
※回答は3つまで

2-3-12 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」への居住を判断できない理由・居住しない理由（問 10-7）

「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」への居住を判断できない理由・居住しない理由については、「どの程度の生活関連施設が整備されるのかわからないから」が37.9%と最も高く、次いで「自身の生活の見通しがたっていないから」が29.7%、「道路、学校、病院など社会基盤（インフラ）の状況がわからないから」が28.5%となっている。

<図表2-3-12 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」への居住を判断できない理由・居住しない理由>

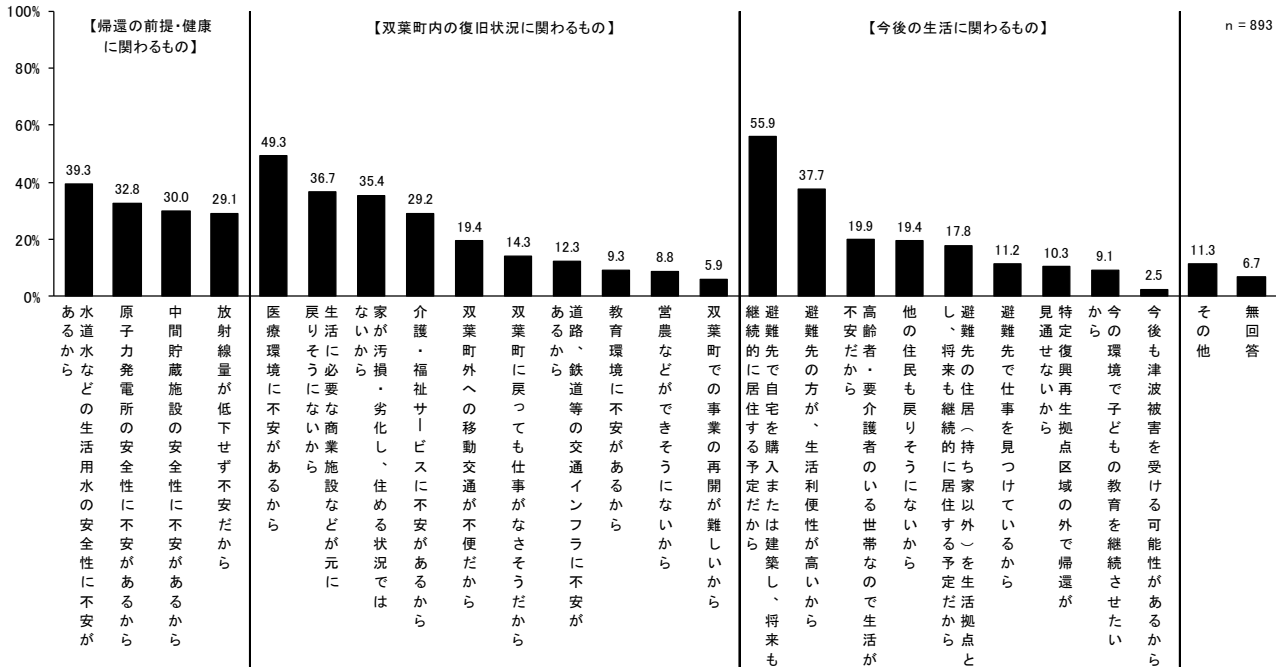


※問 10-4 で「判断ができない」「どちらにも居住しない」と回答した方のみ
 ※複数回答可

2-3-13 双葉町に戻らないと決めている理由（問 13-1）

双葉町に戻らないと決めている理由については、「避難先で自宅を購入または建築し、将来も継続的に居住する予定だから」が55.9%と最も高く、次いで「医療環境に不安があるから」が49.3%、「水道水などの生活用水の安全性に不安があるから」が39.3%となっている。

<図表2-3-13 双葉町に戻らないと決めている理由>

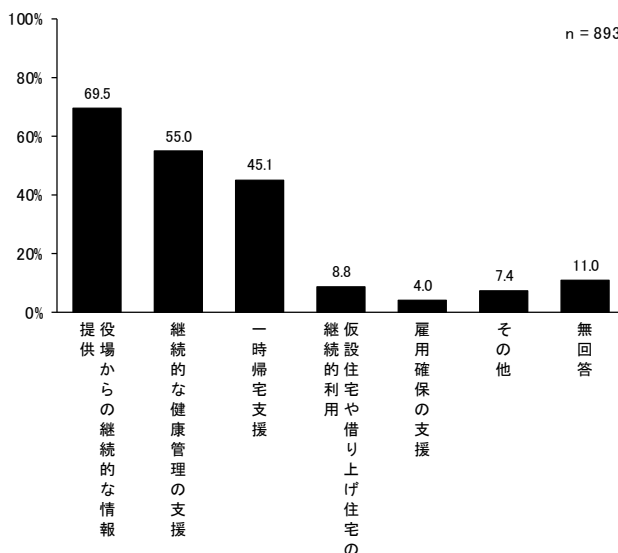


※問9で「戻らないと決めている」と回答した方のみ
 ※複数回答可

2-3-14 双葉町に帰還しない場合に今後の生活において必要な支援（問 13-2）

双葉町に帰還しない場合に今後の生活において必要な支援については、「役場からの継続的な情報提供」が69.5%と最も高く、次いで「継続的な健康管理の支援」が55.0%、「一時帰宅支援」が45.1%となっている。

<図表2-3-14 双葉町に帰還しない場合に今後の生活において必要な支援>

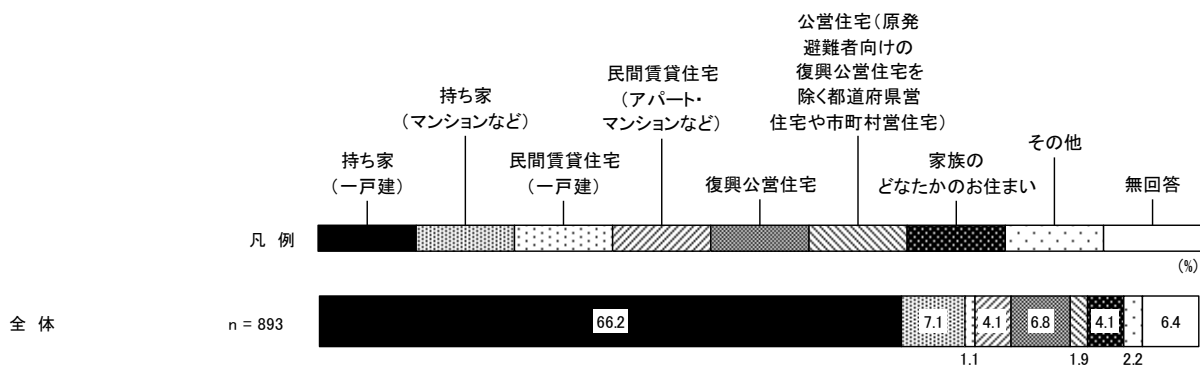


※問9で「戻らないと決めている」と回答した方のみ
 ※複数回答可

2-3-15 双葉町に帰還しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態（問 13-3）

双葉町に帰還しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態については、「持ち家（一戸建）」が66.2%と最も高く、次いで「持ち家（マンションなど）」が7.1%、「復興公営住宅」が6.8%となっている。

<図表2-3-15 双葉町に帰還しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態>

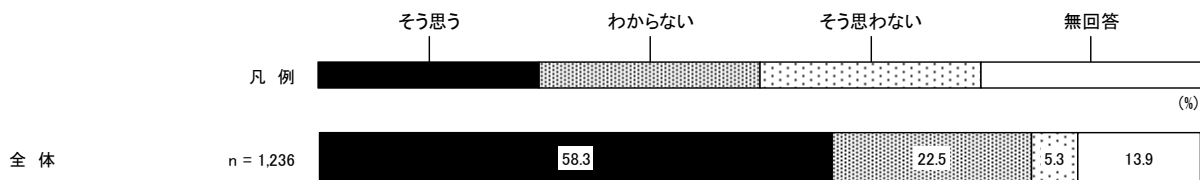


※問9で「戻らないと決めている」と回答した方のみ

2-3-16 双葉町との「つながり」を保ちたいか（問 11-1）

双葉町との「つながり」を保ちたいかについては、「そう思う」が58.3%、「わからない」が22.5%、「そう思わない」が5.3%となっている。

<図表2-3-16 双葉町との「つながり」を保ちたいか>

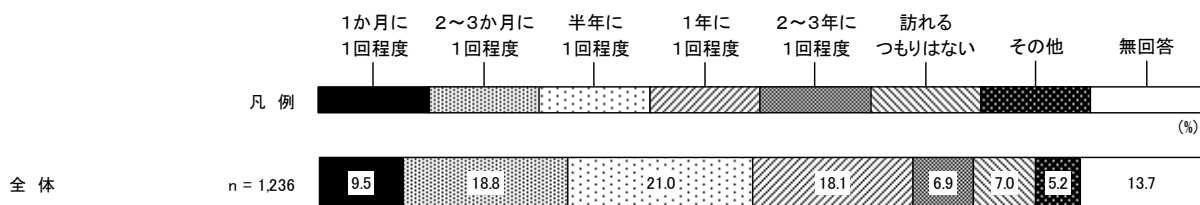


※問9で「まだ判断がつかない」「戻らないと決めている」と回答した方のみ

2-3-17 双葉町を訪れたい頻度（問 11-2）

双葉町を訪れたい頻度については、「半年に1回程度」が21.0%と最も高く、次いで「2~3か月に1回程度」が18.8%、「1年に1回程度」が18.1%となっている。

<図表2-3-17 双葉町を訪れたい頻度>

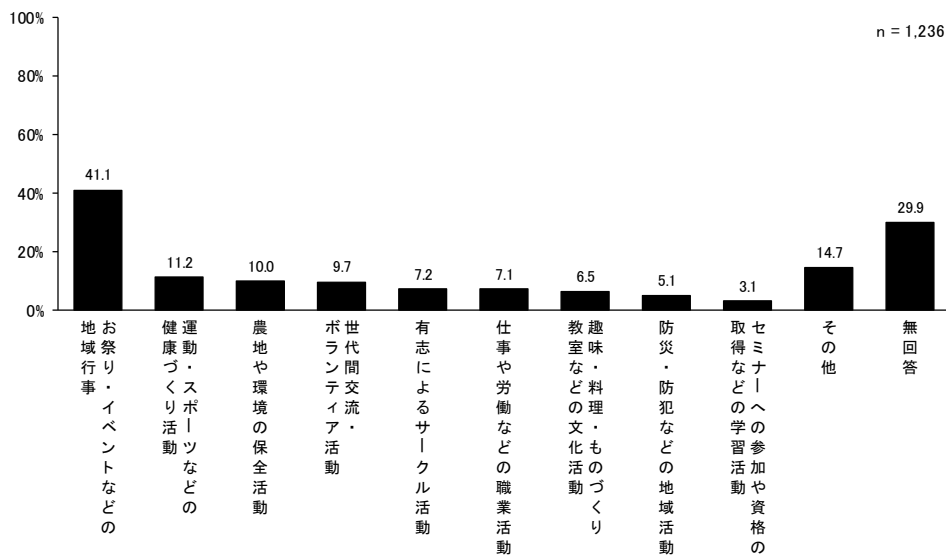


※問9で「まだ判断がつかない」「戻らないと決めている」と回答した方のみ

2-3-18 双葉町を訪れたくなる取り組み・行事・イベント（問 11-3）

双葉町を訪れたくなる取り組み・行事・イベントについては、「お祭り・イベントなどの地域行事」が41.1%と最も高く、次いで「運動・スポーツなどの健康づくり活動」が11.2%、「農地や環境の保全活動」が10.0%となっている。

<図表2-3-18 双葉町を訪れたくなる取り組み・行事・イベント>



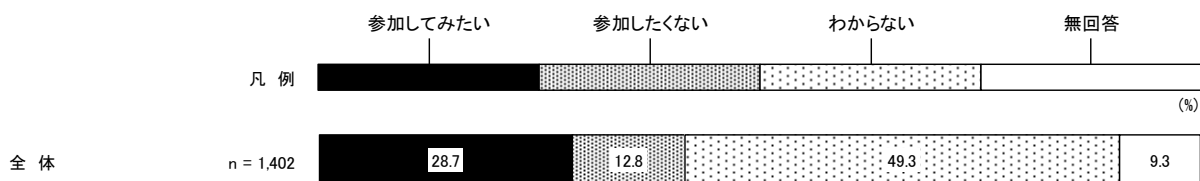
※問9で「まだ判断がつかない」「戻らないと決めている」と回答した方のみ
※複数回答可

2-3-19 双葉町でイベントが開催された場合の参加意向（問 12）

今年度末には、JR常磐線が全面開通し、JR双葉駅が営業再開します。また、令和2年7月ごろには、中野地区において、飲食店が入居する産業交流センターがオープンする予定のほか、震災の記憶と教訓を伝承するアーカイブ拠点施設や、復興祈念公園の一部などが開園する予定で、それらに合わせてイベントの開催も検討しています。

双葉町でイベントが開催された場合の参加意向については、「参加してみたい」が28.7%、「参加したくない」が12.8%、「わからない」が49.3%となっている。

<図表2-3-19 双葉町でイベントが開催された場合の参加意向>

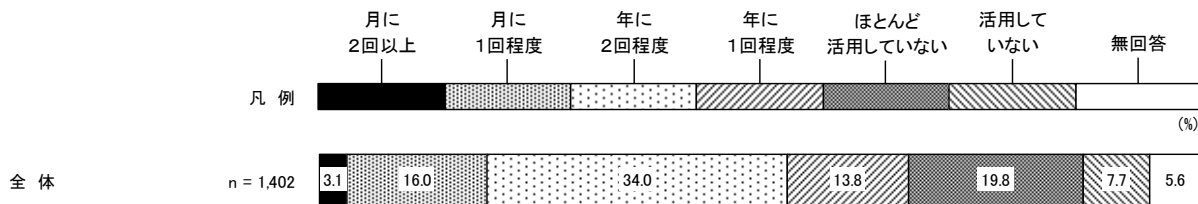


2-4 町内への立ち入り・避難指示解除に向けた取り組み

2-4-1 双葉町への一時立ち入りの活用頻度（問 14-1）

双葉町への一時立ち入りの活用頻度については、「年に2回程度」が34.0%と最も高く、次いで「ほとんど活用していない」が19.8%、「月に1回程度」が16.0%となっている。

＜図表2-4-1 双葉町への一時立ち入りの活用頻度＞

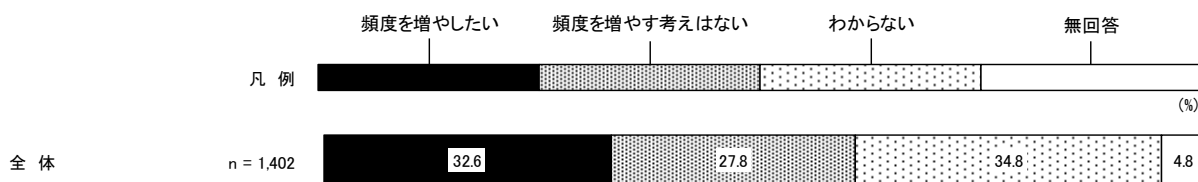


2-4-2 立入規制緩和後の双葉町内への立ち入り頻度の意向（問 15）

今年度末には、常磐自動車道の常磐双葉インターチェンジの開業、JR常磐線の全線開通およびJR双葉駅の再開が予定されており、双葉町内へのアクセスが格段に向上します。それらに合わせ、JR双葉駅周辺を中心とする特定復興再生拠点区域内については、バリケードを撤去し、事前の立ち入り手続きを不要とすることとしております。

立入規制緩和後の双葉町内への立ち入り頻度の意向については、「頻度を増やしたい」が32.6%、「頻度を増やす考えはない」が27.8%、「わからない」が34.8%となっている。

＜図表2-4-2 立入規制緩和後の双葉町内への立ち入り頻度の意向＞

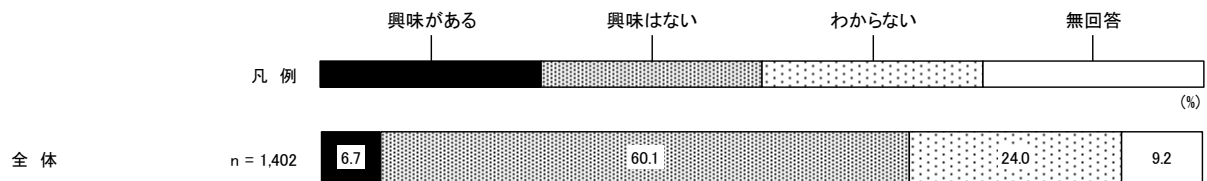


2-5 双葉町内での就業意向

2-5-1 中野地区復興産業拠点での就業意向（問17）

中野地区復興産業拠点での就業意向については、「興味がある」が6.7%、「興味はない」が60.1%、「わからない」が24.0%となっている。

<図表2-5-1 中野地区復興産業拠点での就業意向>

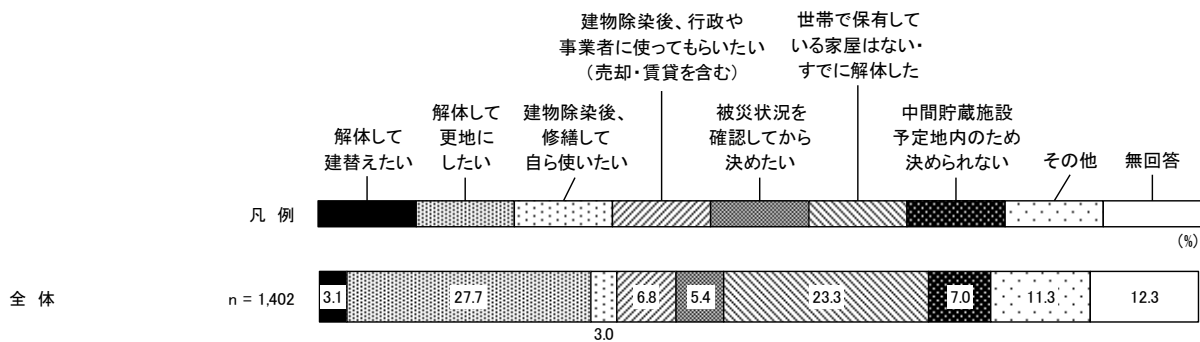


2-6 不動産の取り扱い

2-6-1 双葉町内に保有する家屋の利用意向（問 18）

双葉町内に保有する家屋の利用意向については、「解体して更地にしたい」が27.7%と最も高く、次いで「世帯で保有している家屋はない・すでに解体した」が23.3%、「中間貯蔵施設予定地内のため決められない」が7.0%となっている。

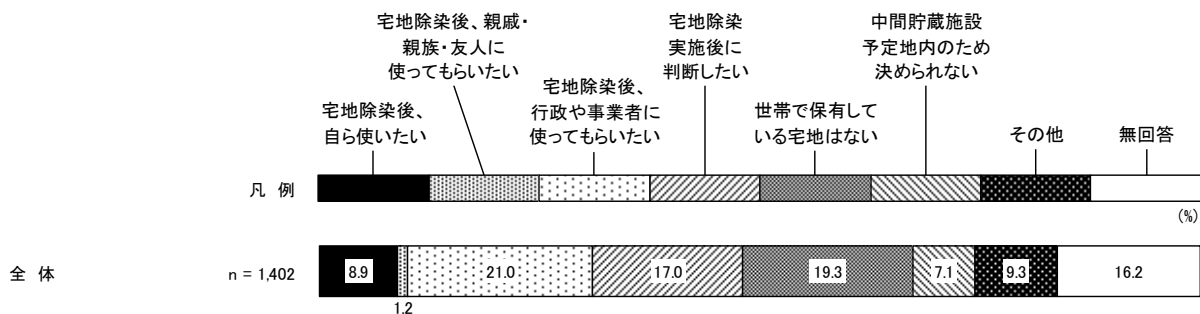
<図表2-6-1 双葉町内に保有する家屋の利用意向>



2-6-2 双葉町内に保有する宅地の利用意向（問 19-1）

双葉町内に保有する宅地の利用意向については、「宅地除染後、行政や事業者に使ってほしい」が21.0%と最も高く、次いで「世帯で保有している宅地はない」が19.3%、「宅地除染実施後に判断したい」が17.0%となっている。

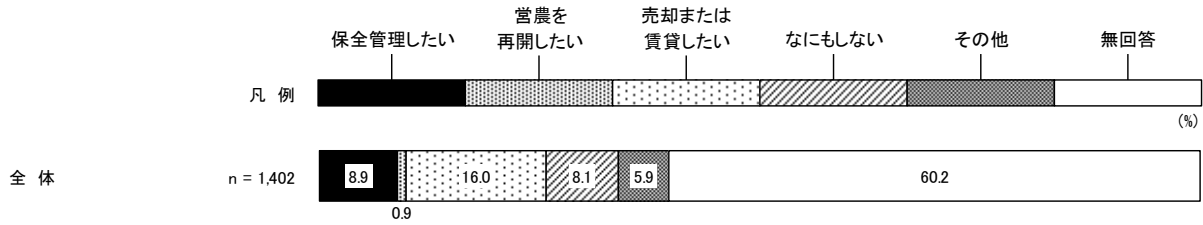
<図表2-6-2 双葉町内に保有する宅地の利用意向>



2-6-3 双葉町内に保有する農地の利用意向（問 20-1）

双葉町内に保有する農地の利用意向については、「売却または賃貸したい」が 16.0%と最も高く、次いで「保全管理したい」が 8.9%、「なにもしない」が 8.1%となっている。

<図表 2-6-3 双葉町内に保有する農地の利用意向>

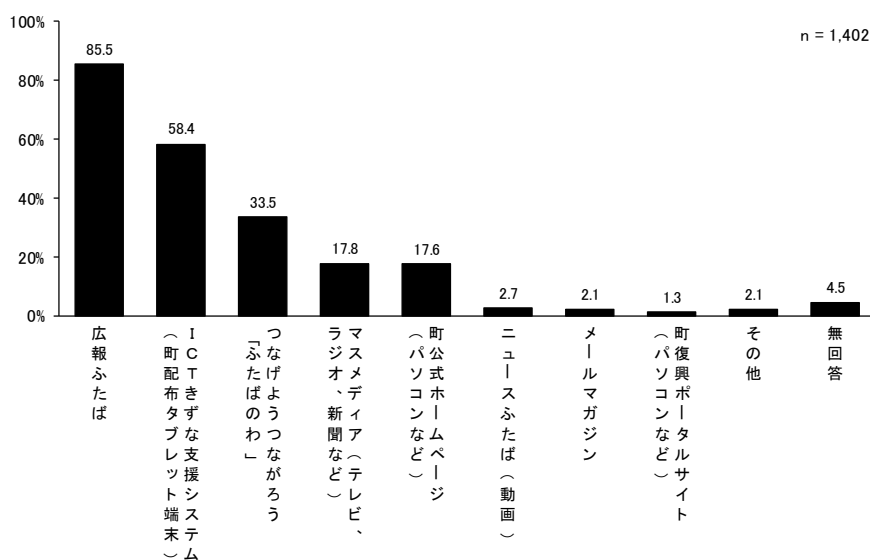


2-7 情報入手・コミュニケーション

2-7-1 双葉町からの情報入手経路（問21-1）

双葉町からの情報入手経路については、「広報ふたば」が85.5%と最も高く、次いで「ICTきずな支援システム（町配布タブレット端末）」が58.4%、「つなげようつながろう「ふたばのわ」」が33.5%となっている。

<図表2-7-1 双葉町からの情報入手経路>

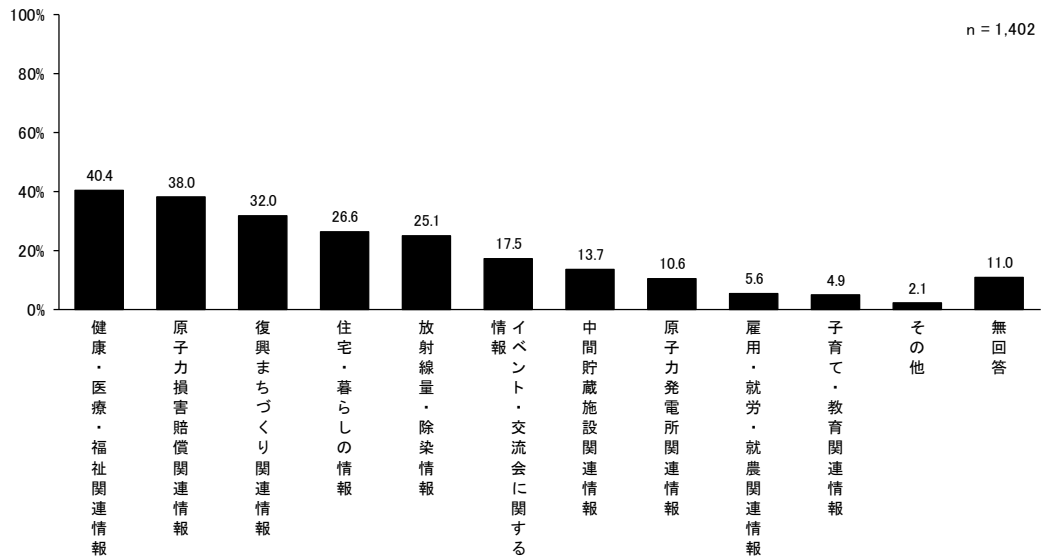


※回答は3つまで

2-7-2 特に知りたい、関心のある情報（問 23）

特に知りたい、関心のある情報については、「健康・医療・福祉関連情報」が40.4%と最も高く、次いで「原子力損害賠償関連情報」が38.0%、「復興まちづくり関連情報」が32.0%となっている。

<図表2-7-2 特に知りたい、関心のある情報>



※回答は3つまで

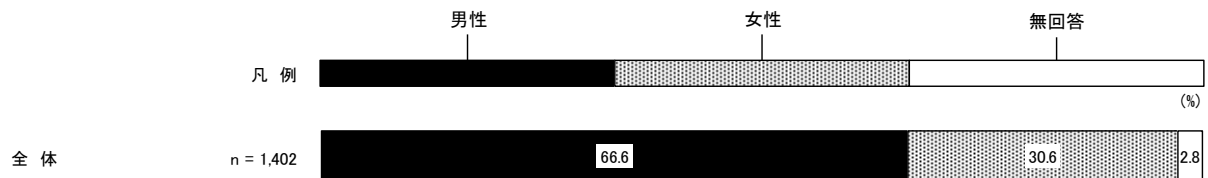
III 調査結果

3-1 回答者の属性

3-1-1 性別

問1 現在のあなたの性別と年齢を教えてください。
 (1) 性別 (○は1つ)

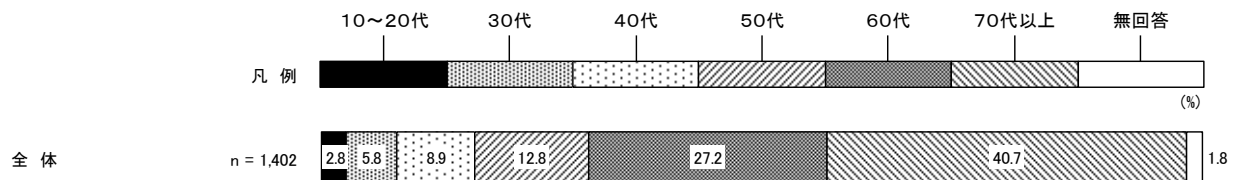
<図表3-1-1 性別>



3-1-2 年齢

問1 現在のあなたの性別と年齢を教えてください。
 (2) 年齢 (○は1つ)

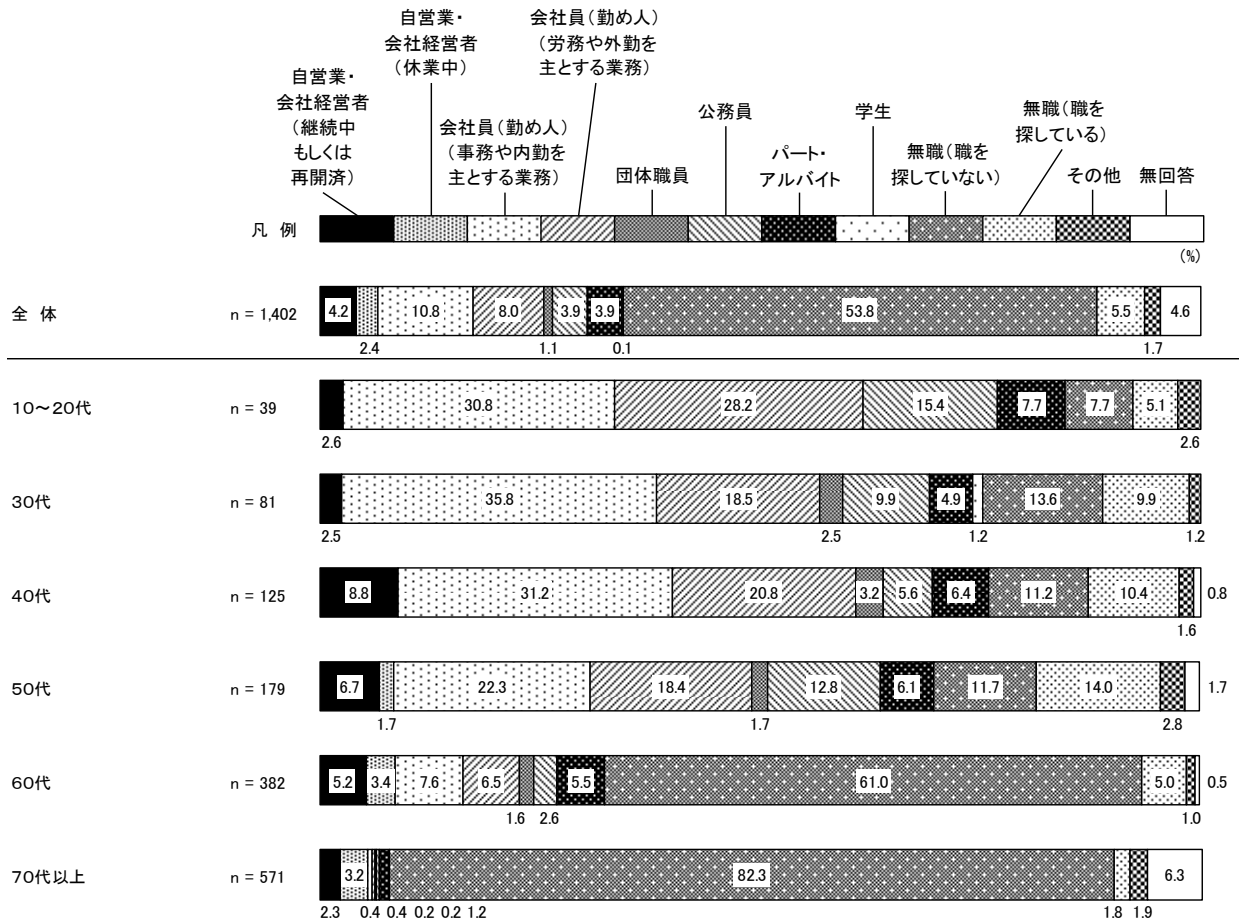
<図表3-1-2 年齢>



3-1-3 現在の職業（就業形態）

問2 現在のあなたの職業を教えてください。
 仕事に就いている方は、業種も教えてください。なお、2つ以上の職業を持っている場合は、主な収入源になっている職業を教えてください。
 (1) 職業（就業形態）(○は1つ)

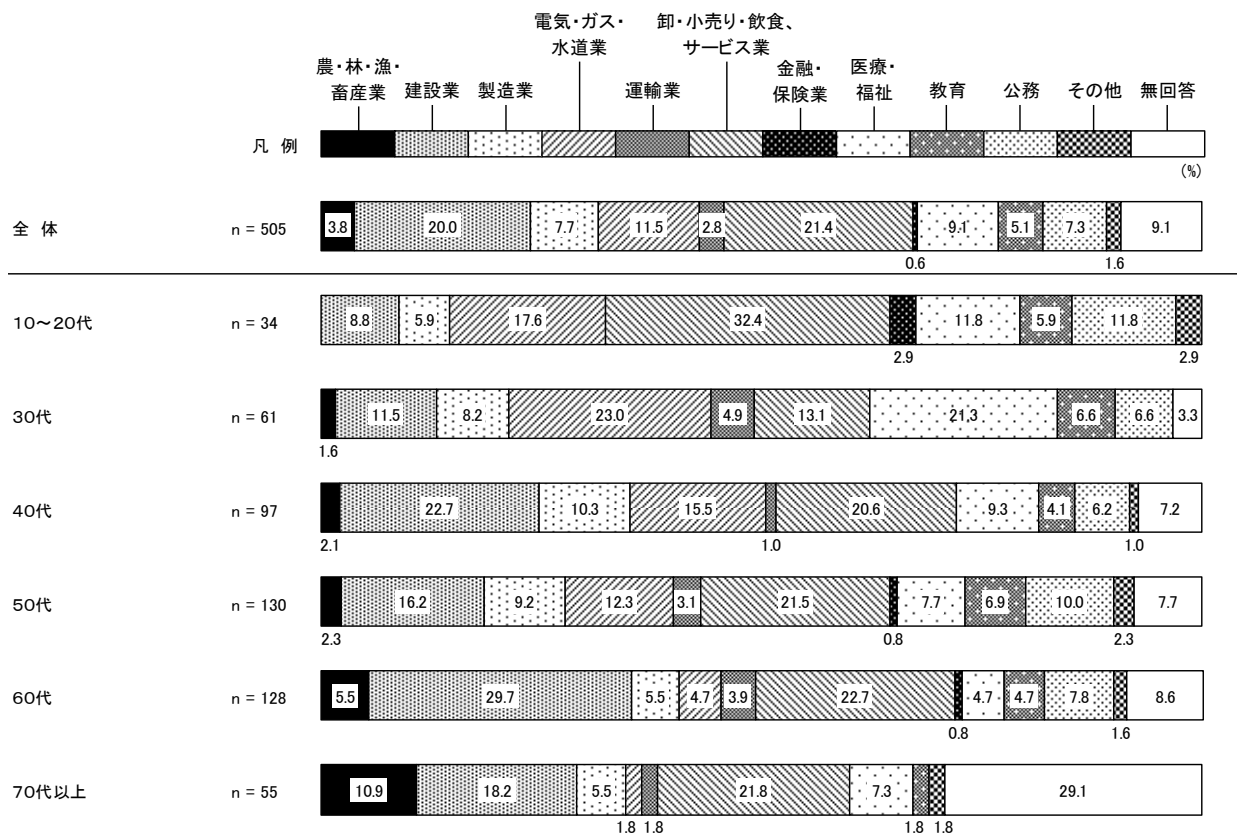
<図表3-1-3 現在の職業（就業形態）（年齢別）>



3-1-4 現在の業種

【仕事に就いている方（問2（1）で「1」から「7」、「11」と回答した方）にうかがいます。】
 問2 現在のあなたの職業を教えてください。
 仕事に就いている方は、業種も教えてください。なお、2つ以上の職業を持っている場合は、主な収入源になっている職業を教えてください。
 (2) 業種（〇は1つ）

<図表3-1-4 現在の業種（年齢別）>

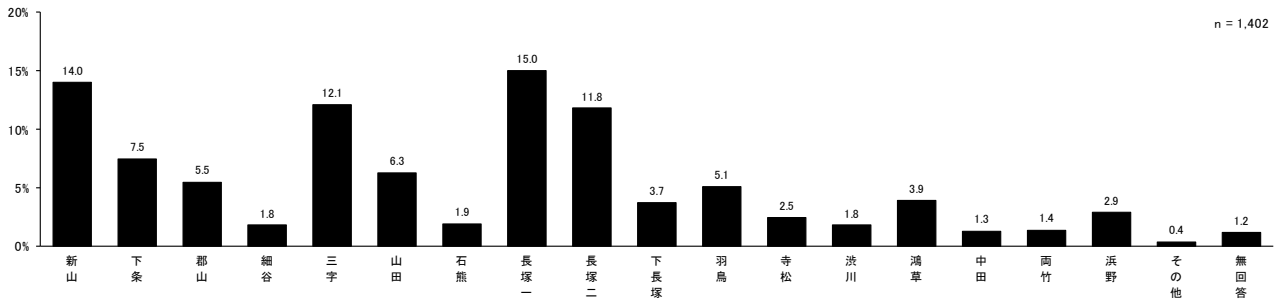


3-2 東日本大震災発生時の状況

3-2-1 震災発生当時の住まいの行政区

問3-1 震災発生当時にお住まいだった行政区を教えてください。(〇は1つ)

<図表3-2-1 震災発生当時の住まいの行政区>

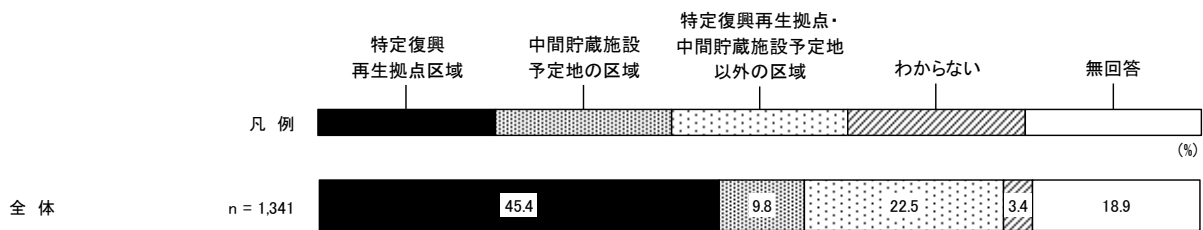


3-2-2 震災発生当時の住まいの区域

【問3-1で「16. 両竹」「17. 浜野」以外を回答した方に伺います。】
 問3-2 震災発生当時のお住まいは、以下の各区域のどこに該当するかを教えてください。(〇は1つ)

<図表3-2-2 震災発生当時の住まいの区域>

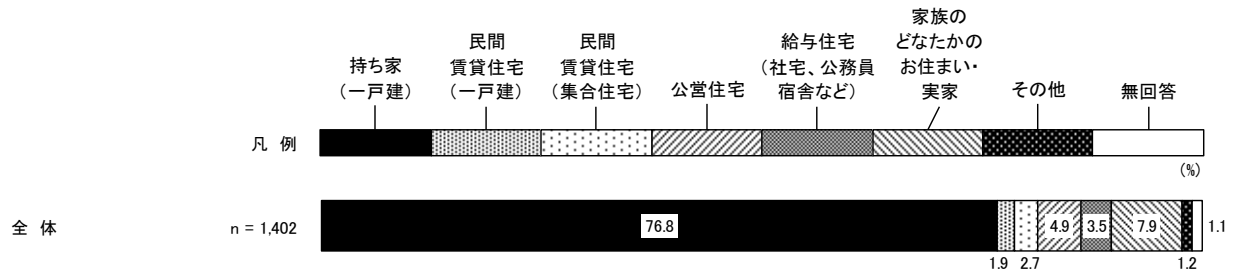
+31



3-2-3 震災発生当時の住居形態

問4 震災発生当時にお住まいだった住宅は、どのような形態でしたか。(〇は1つ)

<図表3-2-3 震災発生当時の住居形態>



〔その他の内訳〕

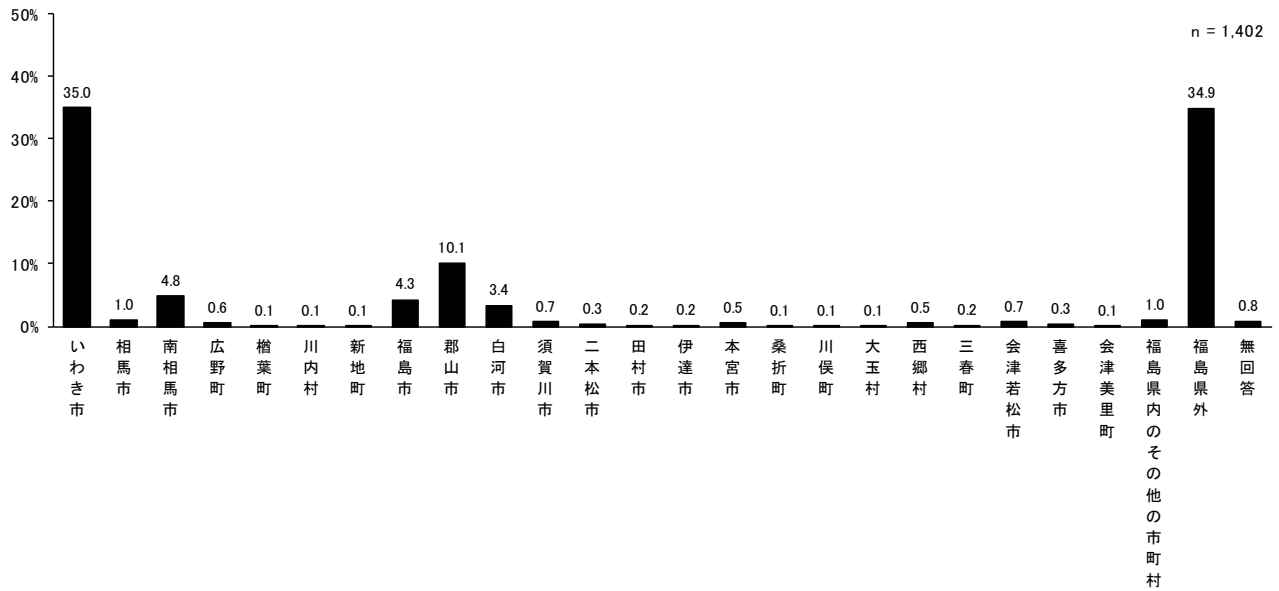
持ち家 (集合住宅)	0.2%
親戚・知人宅	0.5%
その他	0.5%

3-3 避難状況

3-3-1 現在の避難先自治体

問5 あなたが現在避難されている自治体を教えてください。(〇は1つ)

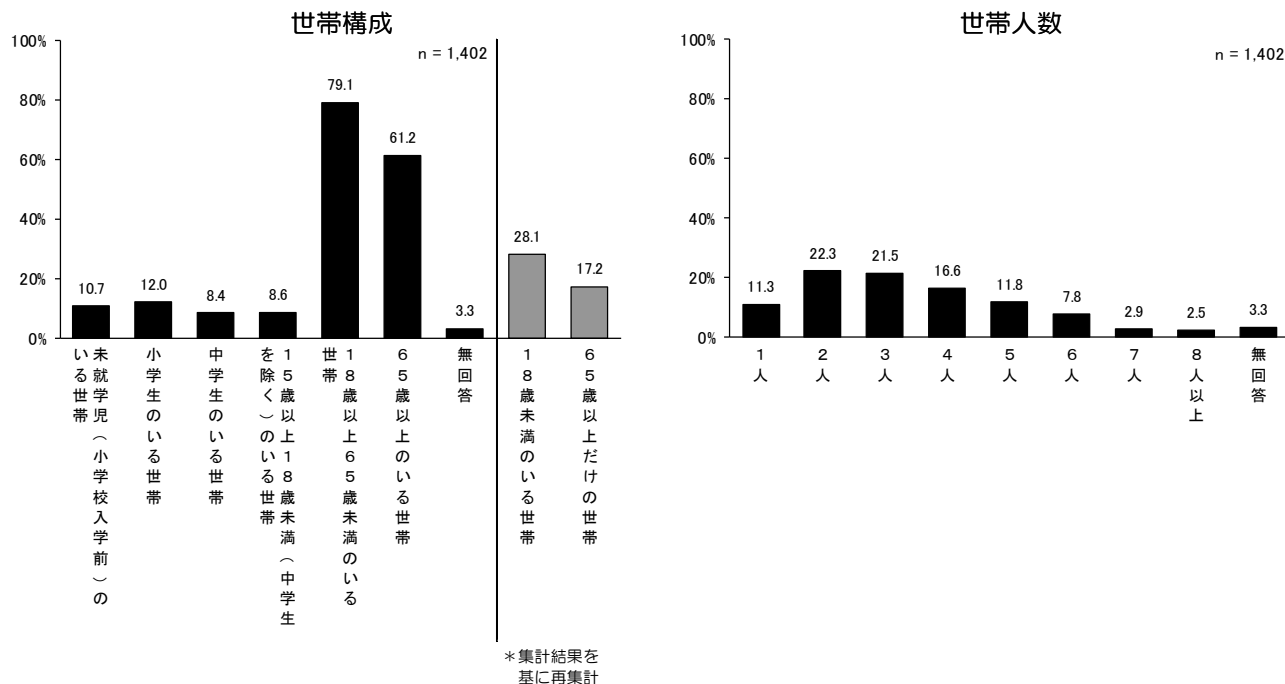
<図表3-3-1 現在の避難先自治体>



3-3-2 震災発生当時の世帯構成・人数

問6 震災発生当時と現在の世帯構成についてうかがいます。
 (1)「震災発生当時」に、あなたを含めて一緒に住んでいた方の人数を教えてください。
 あなた自身を含めて、「当時の」年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

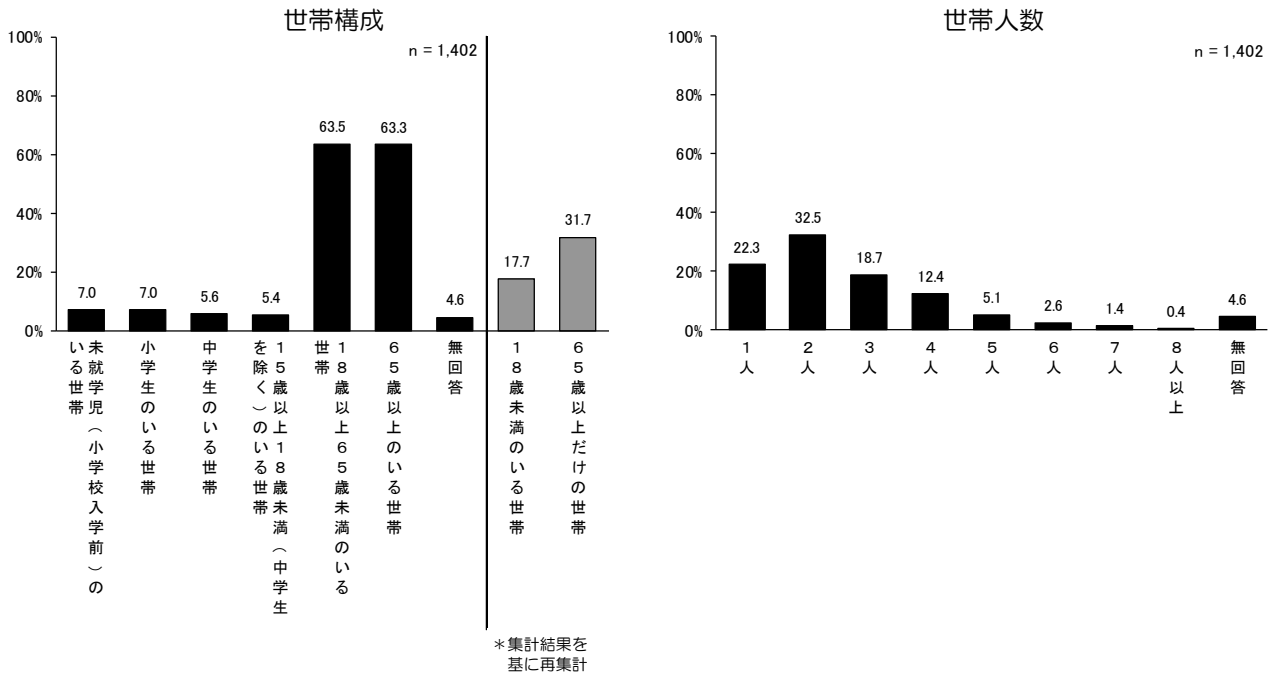
<図表3-3-2 震災発生当時の世帯構成・人数>



3-3-3 現在の世帯構成・人数

問6 震災発生当時と現在の世帯構成についてうかがいます。
 (2)「現在」、あなたを含めて一緒に住んでいる方の人数を教えてください。
 あなた自身を含めて、「現在の」年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

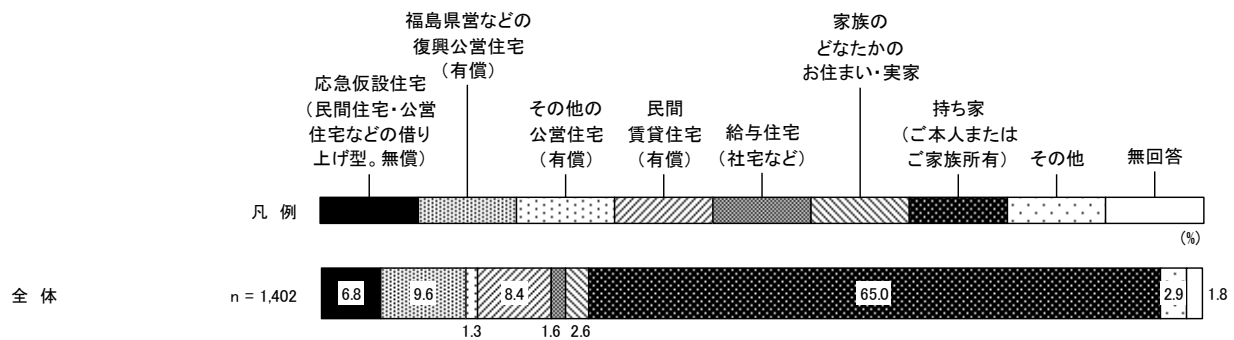
<図表3-3-3 現在の世帯構成・人数>



3-3-4 現在の住居形態

問7-1 現在お住まいになっている住宅はどのような住居形態ですか。(〇は1つ)

<図表3-3-4 現在の住居形態>



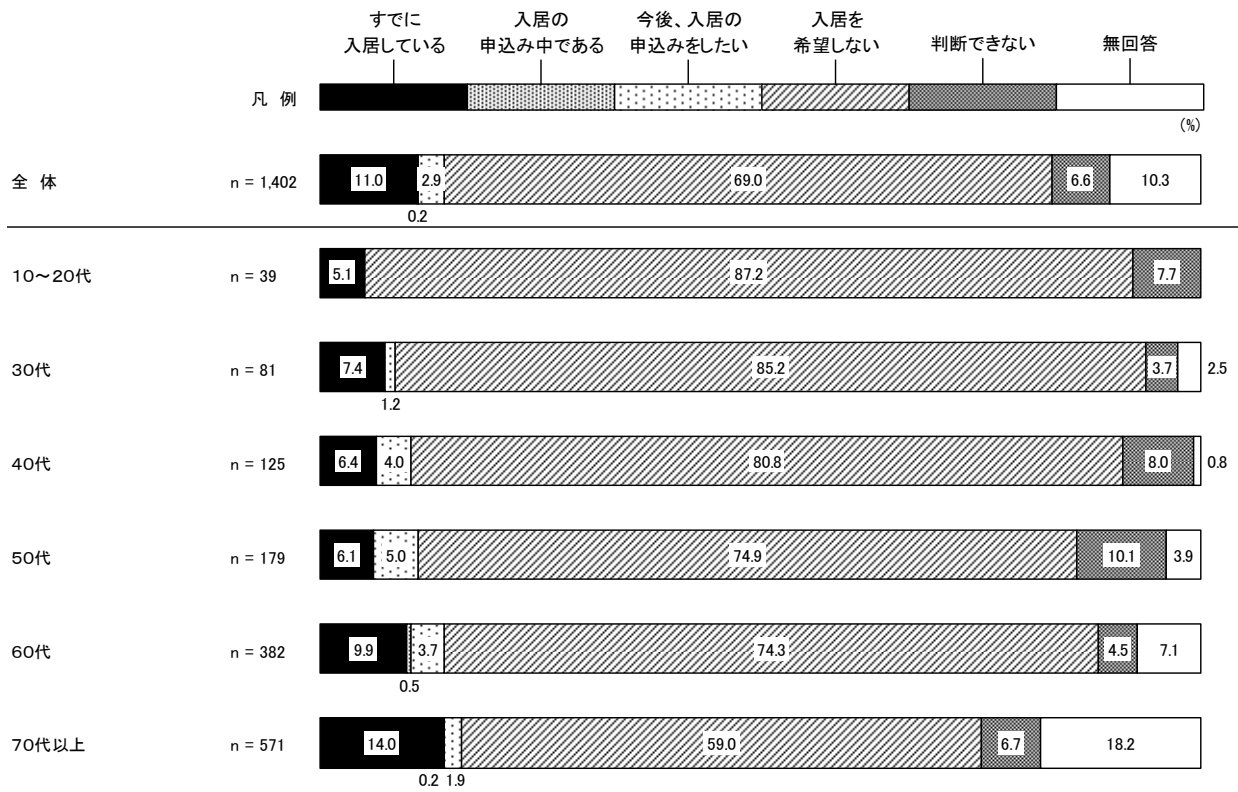
〔その他の内訳〕

応急仮設住宅（プレハブ型。無償）	0.3%
親戚・知人宅	0.6%
その他	1.9%

3-3-5 福島県営の復興公営住宅への入居意向

問 7-2 福島県営の復興公営住宅への入居意向について教えてください（〇は1つ）

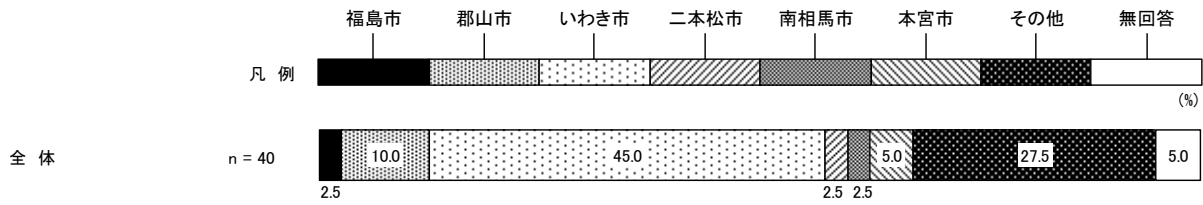
<図表3-3-5 福島県営の復興公営住宅への入居意向（年齢別）>



3-3-6 入居を希望する復興公営住宅の立地市町村

【問7-2で「3. 今後、入居の申込みをしたい」と回答した方にうかがいます。
 問7-3 入居を希望する市町村について教えてください。(〇は1つ)

<図表3-3-6 入居を希望する復興公営住宅の立地市町村>

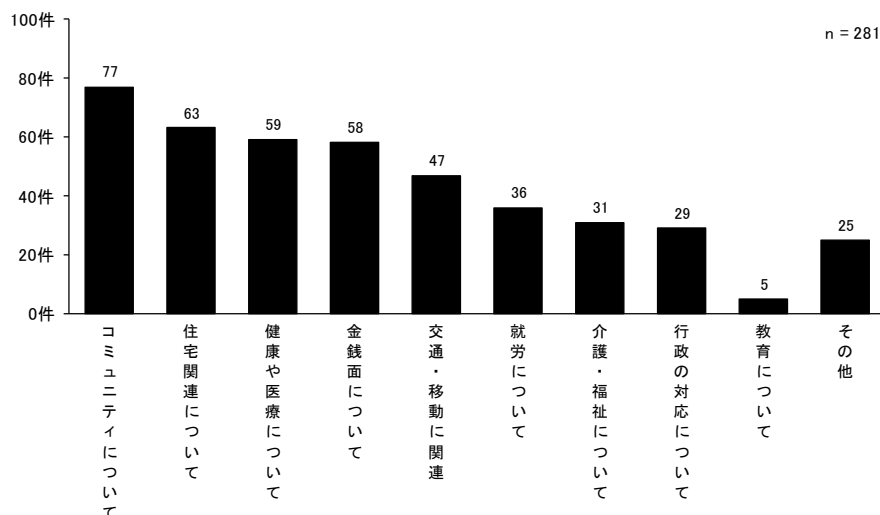


〔その他の内訳〕
 会津若松市 -
 白河市 -
 田村市 -
 その他 27.5%

3-3-7 避難期間中の生活で困っていること・改善を求めること

問8 避難期間中の住宅や、生活において困っていること、改善を求めること等があれば、お書きください。
(医療、教育、介護・福祉、就労、コミュニティなど)。

<図表3-3-7 避難期間中の生活で困っていること・改善を求めること>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【コミュニティについて】

- 震災前は双葉町及び近隣市町村に親類も多く居住しており、また親と同居していたため、何か相談事（冠婚葬祭や生活全般）が起きた時、気軽に家まで出掛けて相談できていた。現在は親とも別居し、また親類も他県、遠方に避難してしまった為、生活やしきたり、墓の再建や法事のことなど、相談しづらくなり、今後の付き合い事等、円滑にできるか不安。（40代）
- 双葉町に住んでいた時の友人・知人になかなか会えなくなったこと。（50代）
- 月に一度自治会（双葉町）に参加しているが、それ以外の知人はほとんどいないのでコミュニティがない。情報はタブレットや月に1回来る広報だけです。（60代）
- 居住近隣方々へ、原発事故避難者である事実を公に出来ず、したがって、コミュニケーション不足となる。（60代）
- 福島市に避難しておりますが、避難している人達が集まって活動する場所を確保して欲しい。（70代以上）
- 復興公営住宅なのでほとんどの高齢者は外に出ないでいる。集会場でのイベントはあるが、常時オープンのサロンみたいのがあると良いかも（もちろん住宅の中心地が近くに！）。（70代以上）
- 姉の介護をしているので、今の所、どこにも行くこと出来ません。友人、知人とも疎遠になっております。（70代以上）

〔住宅関連について〕

- 県営の復興公営住宅に住んでいるのに家賃支援の上限金額が変動することに困っている。(30代)
- 避難元と避難先の距離が遠いため、なかなか一時立入できないが、昨年と今年に、母屋、物置共に猪に扉を破られ、屋内を荒らされた。応急的にその部分を塞いだが、雨や風でも大丈夫かどうか心配。(40代)
- 公営住宅の家賃等について不安がある。収入にばらつきがあるため不安。(40代)
- 避難期間が長期化しているため、家族がばらばらになり、本来の生活の形と違う家族構成のため、家を建てる事になると、金銭的に厳しい。就労面でも、以前とは年齢面でも前よりも稼げる事はあり得ない。先行が不安。(40代)
- 父母が2人住まいであったが、2年前に母が亡くなり、父が1人住まいとなっている。同居スペースがなく、新たに土地を探しているが見つからず、苦慮している。(60代)
- 町外に避難先を定めたが、結果的に職場が遠隔地になり、単身でアパートを借り住む等、依然として家族がバラバラになっている。(60代)
- 年金生活であり、借り上げ住宅(無償)がなくなってしまうたら、まず、住む場所がなくなるので心配。(70代以上)
- 高齢者になると、お金があってもマンション、アパートの入居が困難になります。若くしっかりした身元引受人がいなければ断られることがあります。(70代以上)

〔健康や医療について〕

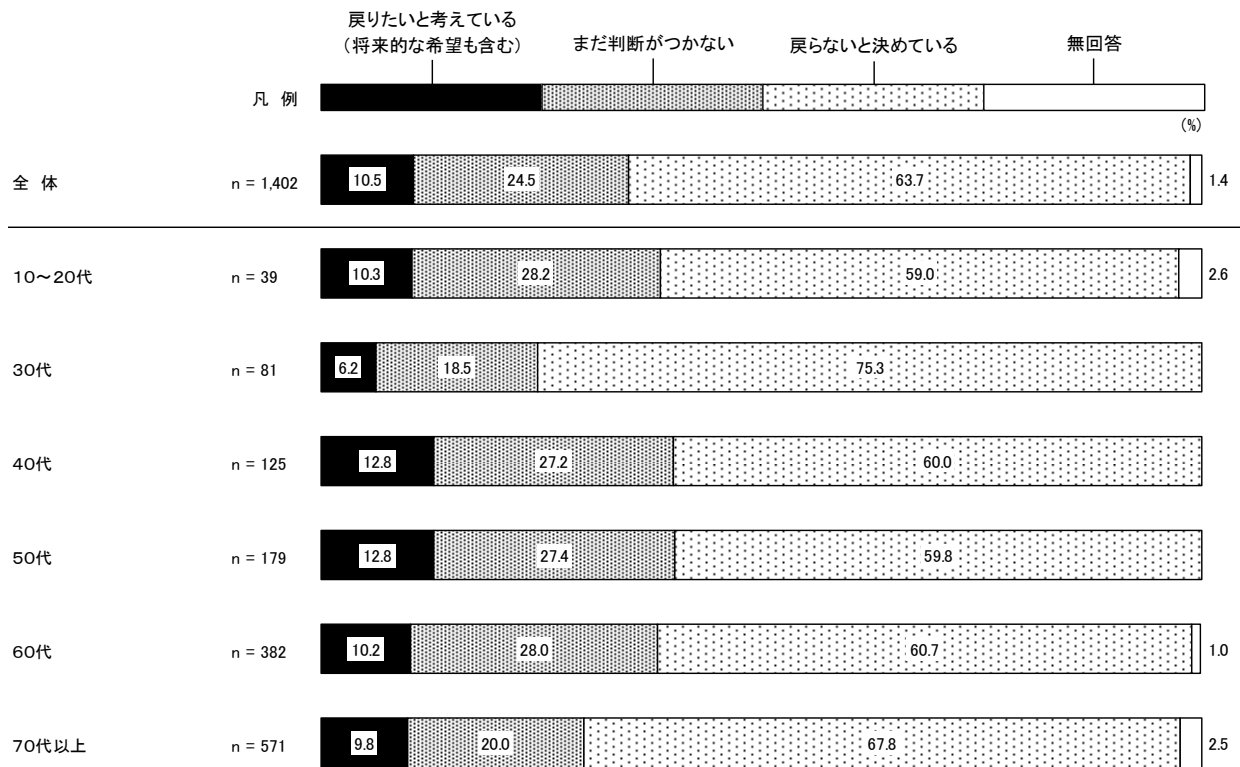
- 甲状腺の検査をもう少しうけやすくしてほしい。(10~20代)
- 教育、子育て関係で毎年インフルエンザの助成金など、予防接種などの返信用の封筒、また連絡しなくても送付して頂けると助かります。(30代)
- 県外にいる人間にとって医療費負担の免除、高速道路の一部費用免除は絶対に必要なので継続してほしい。(40代)
- 医療費の無料措置を継続して欲しい。事故後、ストレスから様々な病気にかかり、先月も大学病院に入院しやっと退院してきたばかり…。月に10回程、通院しています。ストレスからこんなに病気になるとは思いませんでした。車イス代もきついです、ずっと医療費の無料措置を継続して欲しいです。ひばく手帳を作り、データを後世の人に残し役立てて欲しいです。(40代)
- 避難した体育館での食事で、糖尿病になったため、今後の医療費が不安です。高齢にもなったので介護とか、福祉の面で不安です。(50代)
- 避難先が海から遠くなり、孫守りの合間を見て海釣りに行くのができなくなった。これから先も中々行けないので、ストレスが溜ってしまい病気にならないかが心配だ。(60代)
- 私達夫婦にはこれから医療、介護、福祉等にお世話になると考えているが、それらが考えている通りにいか不安がある。(70代以上)
- 現在は医療費が免除になっているが、それがいつまで続けてもらえるのか不安に思っている。(70代以上)

3-4 将来の意向

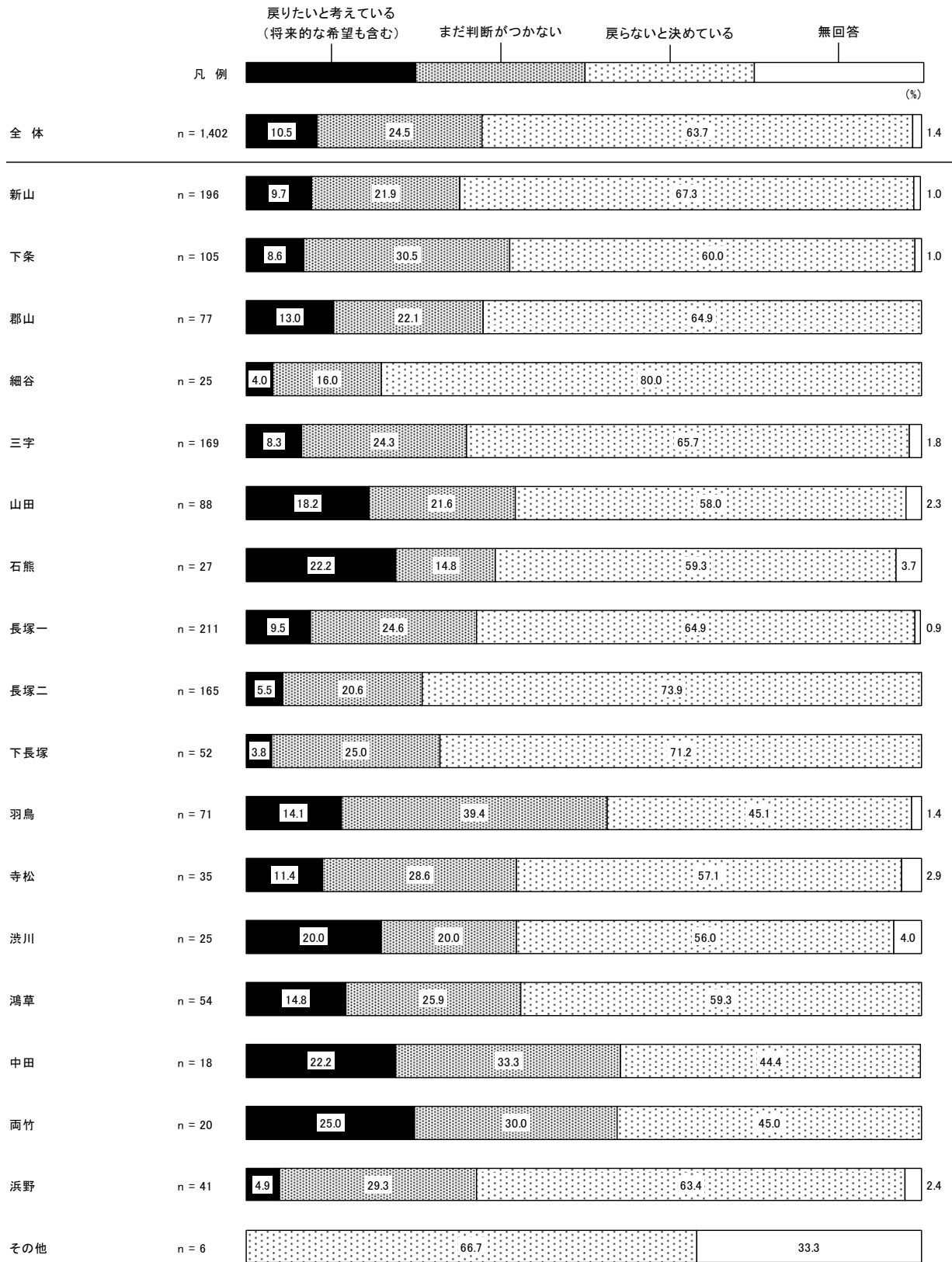
3-4-1 双葉町への帰還意向

問9 今後、避難指示が解除された後の双葉町への帰還について、現時点でどのようにお考えですか。(〇は1つ)

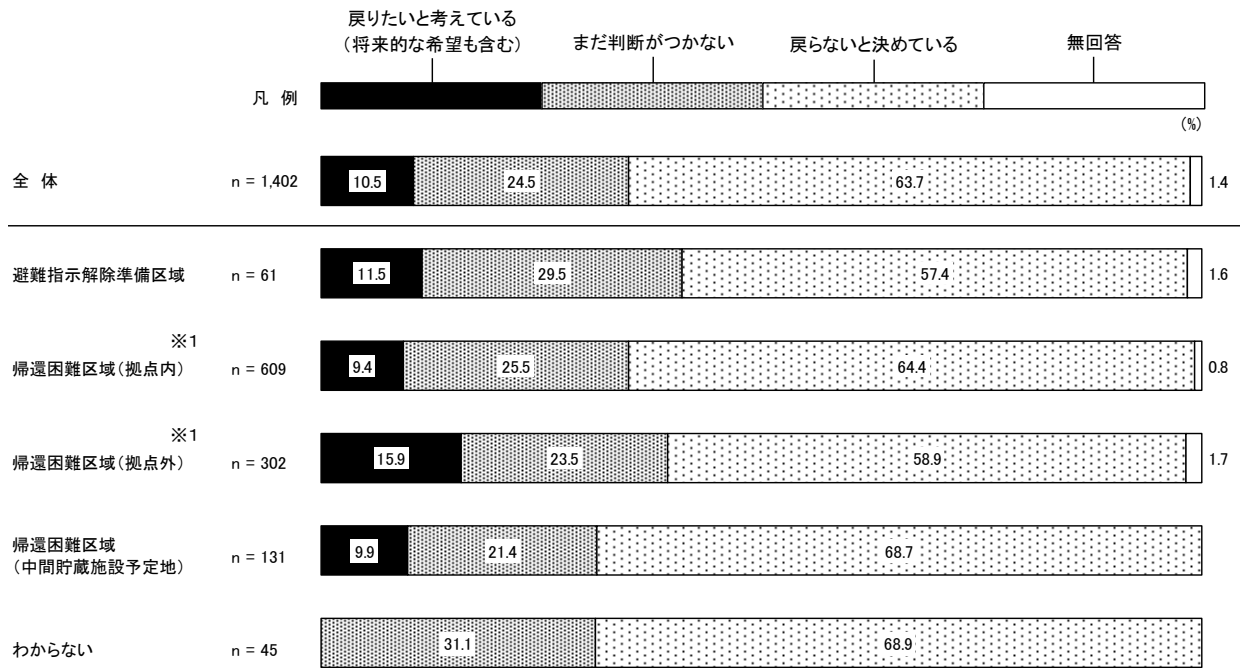
<図表3-4-1-1 双葉町への帰還意向(年齢別)>



<図表3-4-1-2 双葉町への帰還意向（震災発生当時の住まいの行政区別）>



<図表3-4-1-3 双葉町への帰還意向（避難指示区域別）>

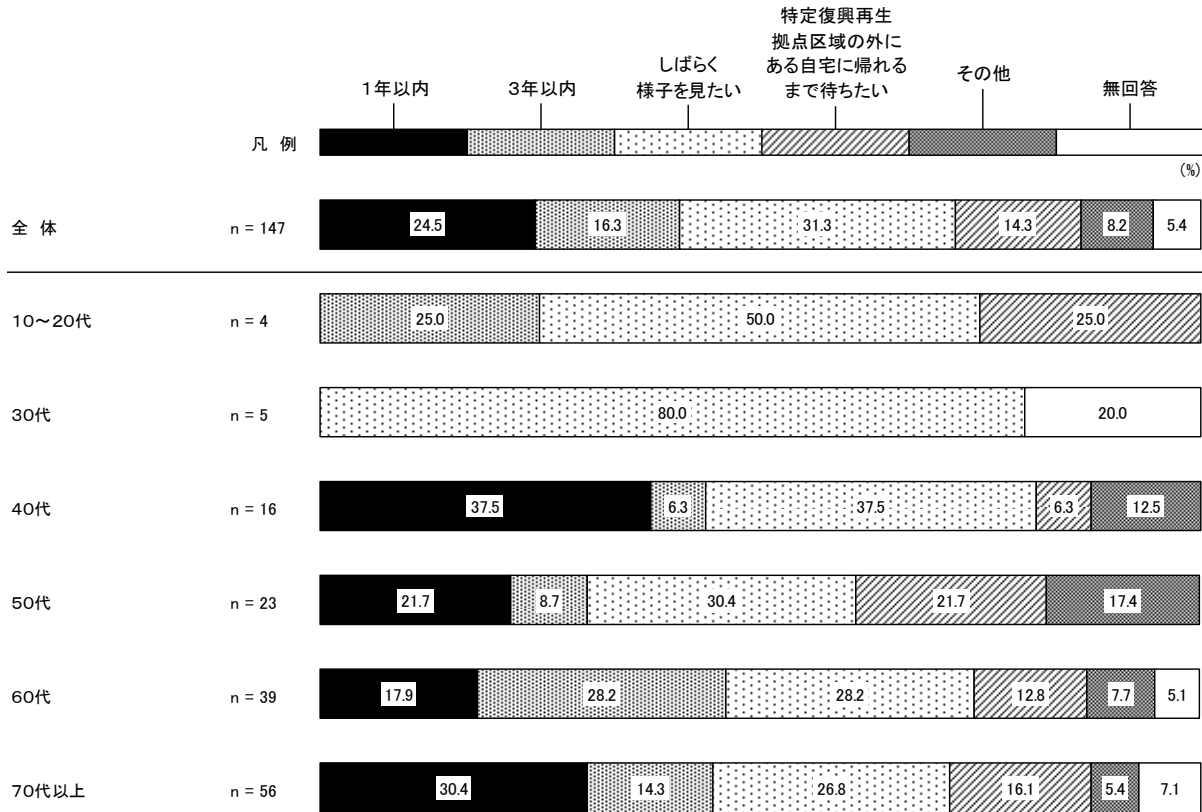


※1 「拠点」とは特定復興再生拠点のこと

3-4-2 避難指示解除後の双葉町への帰還時期

【問9で「1. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方にうかがいます。
 問10-1-1 避難指示が解除されてから、何年以内に戻りたいと考えていますか。（〇は1つ）

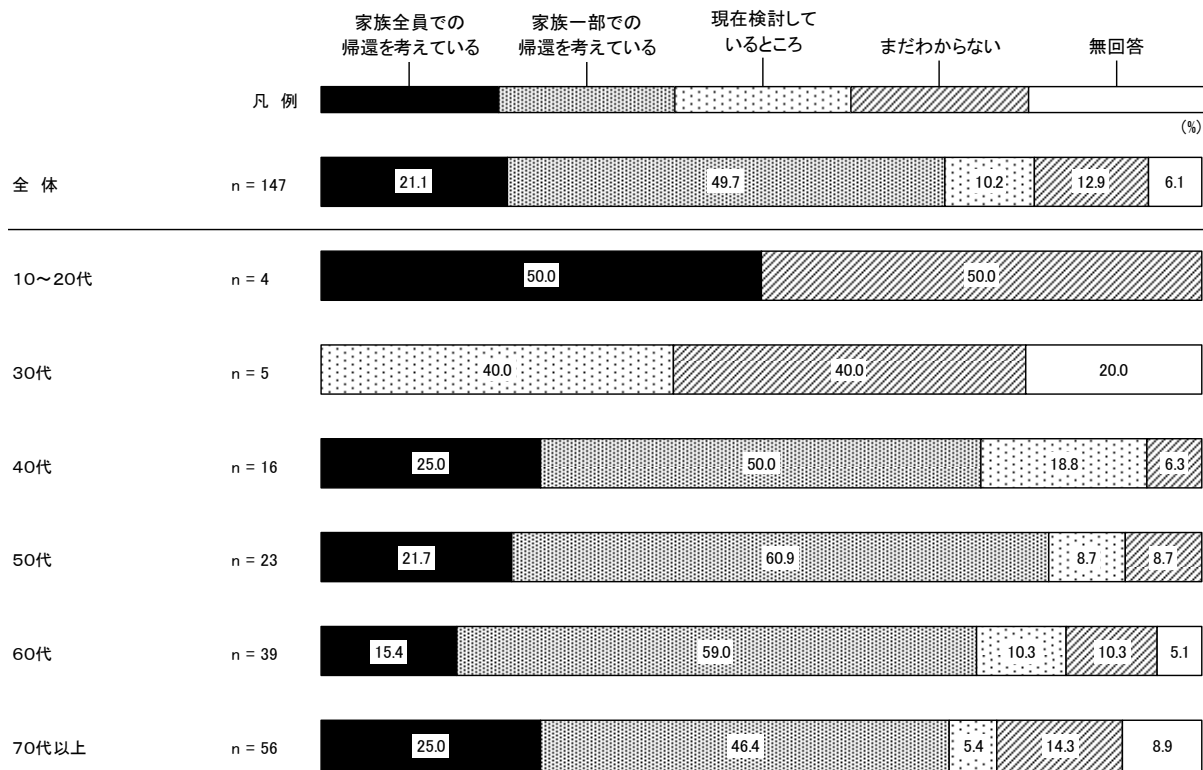
<図表3-4-2 避難指示解除後の双葉町への帰還時期（年齢別）>



3-4-3 双葉町へ帰還する場合の家族

【問9で「1. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」と回答した方にうかがいます。
 問10-1-2 戻る場合に家族の全員か一部かについて教えてください。（〇は1つ）

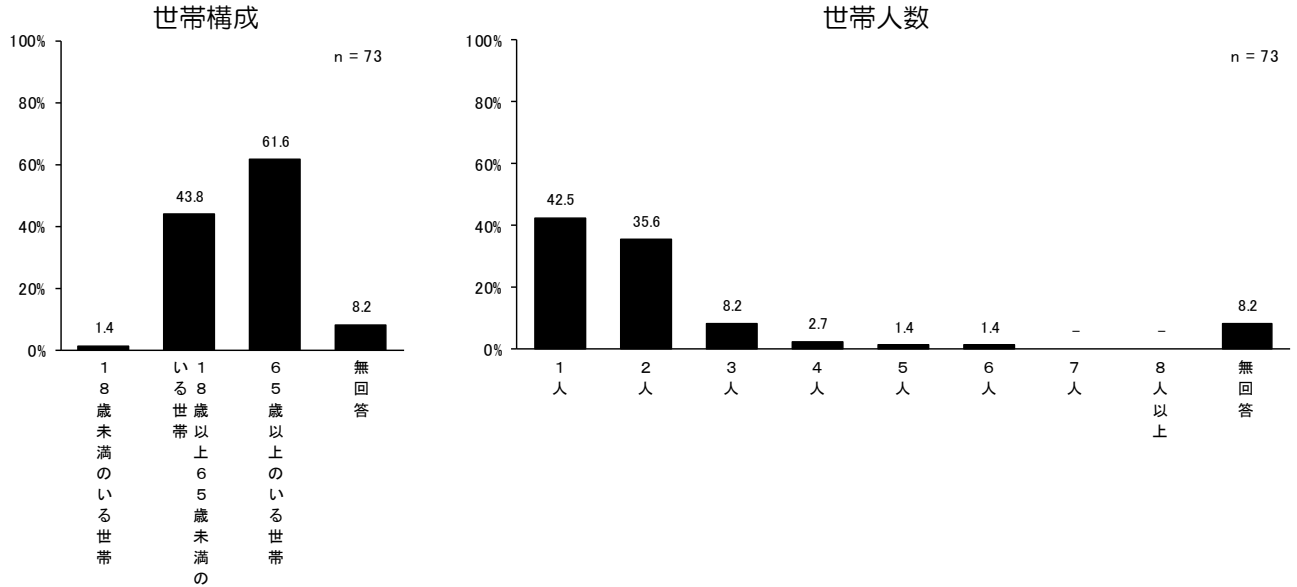
<図表3-4-3 双葉町へ帰還する場合の家族（年齢別）>



3-4-4 双葉町へ家族一部で帰還した場合の世帯構成・人数
〔家族の一部での帰還を考えている方〕

【問 10-1-2 で「2. 家族一部での帰還を考えている」と回答した方にかがいます。】
問 10-1-3 帰還した場合にはどのような家族構成になると考えていますか。あなた自身を含めて、「現在の」年齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

<図表3-4-4 双葉町へ家族一部で帰還した場合の世帯構成・人数>

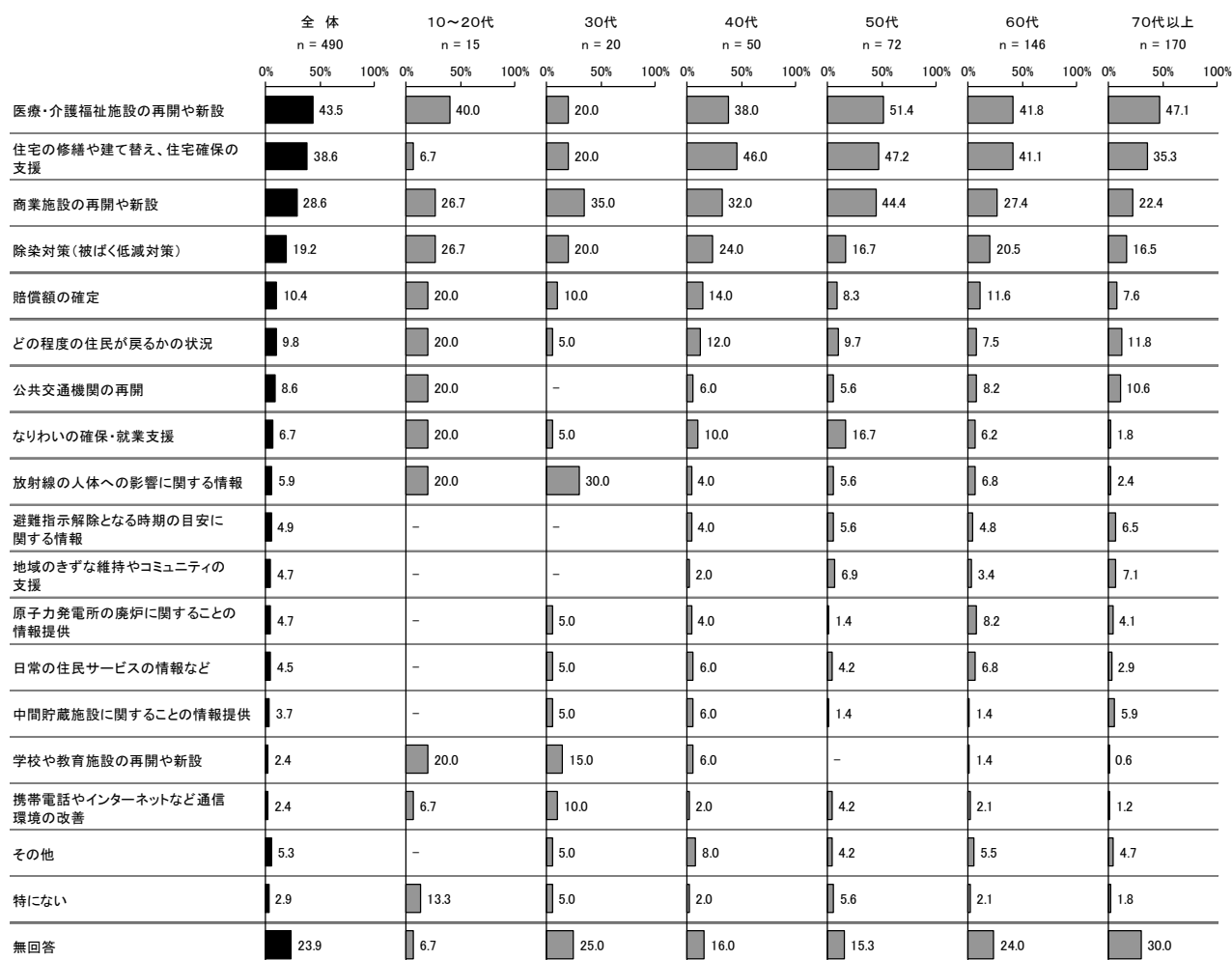


3-4-5 双葉町への帰還を判断するために必要なこと

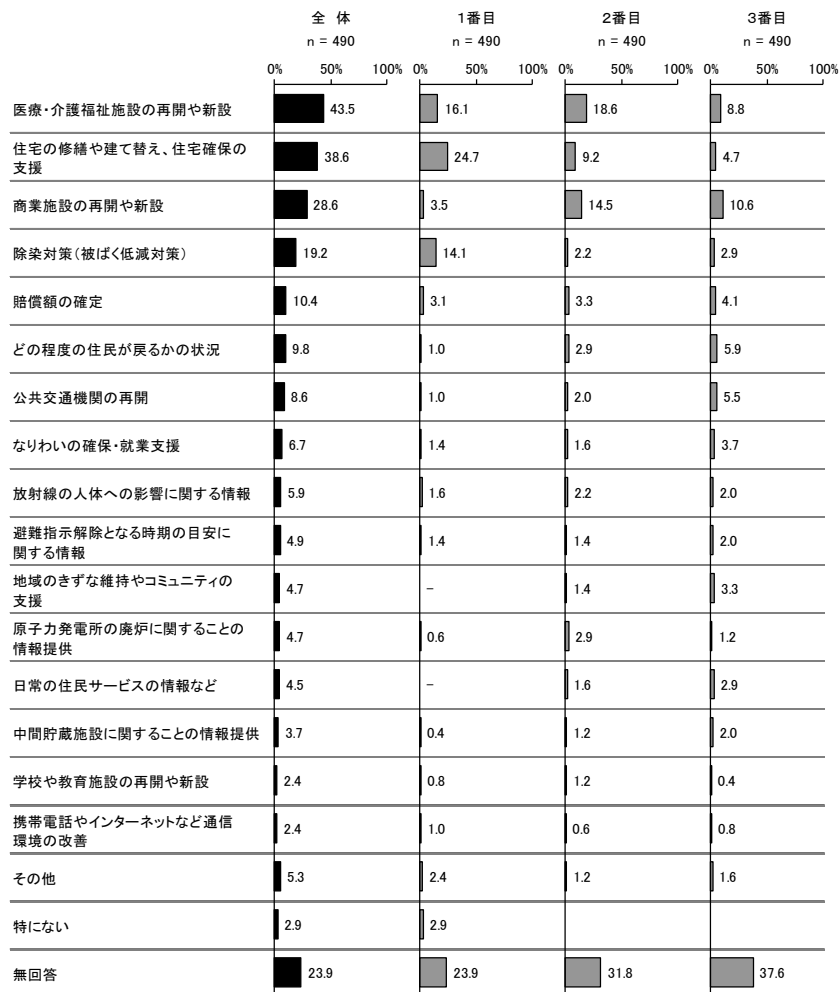
【問9で「1. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」「2. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】

問10-2 帰還する場合、または双葉町へ戻ることが判断するためにどのような支援や情報が必要と考えますか。重視したいものから順に選択肢番号欄に3つまで選び、具体的な内容欄に支援や情報内容をご記入ください。

<図表3-4-5-1 双葉町への帰還を判断するために必要なこと（年齢別）>



<図表3-4-5-2 双葉町への帰還を判断するために必要なこと（優先順位別）>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【医療や介護福祉施設の再開や新設】

- 双葉厚生病院の再開。（４０代）
- 内科や歯科の受診のできる病院。（５０代）
- 介護福祉施設の新設。（６０代）
- 老人ホームなどの新設。（７０代以上）

【住宅の修繕や建て替え、住宅確保の支援】

- 建て替え費用の補助。（４０代）
- 住宅が汚染されているので新築する為の建築費。（５０代）
- 水回りを含め、屋内のリフォーム費。（６０代）
- 修繕や住宅確保の支援はどこまで出来るのか。（７０代以上）

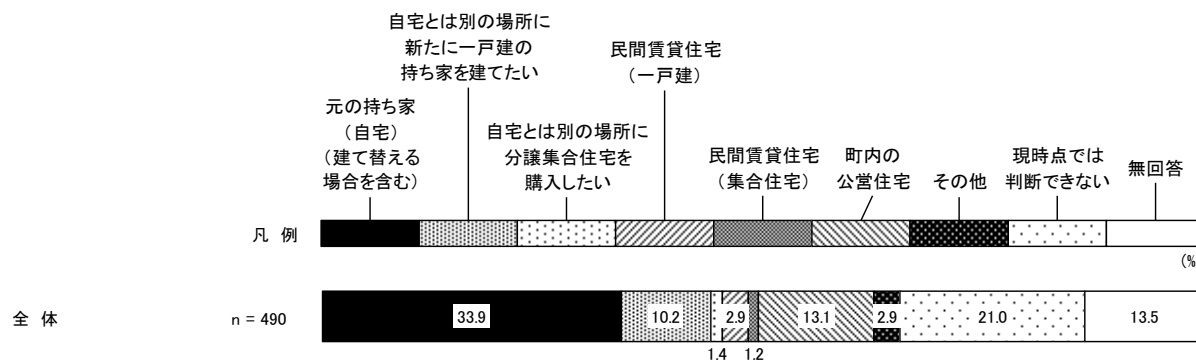
【商業施設の再開や新設】

- スーパー等の新設。（１０～２０代）
- 買物等生活必需品の調達方法。（３０代）
- 複合施設の新設。（５０代）
- 隣町まで行かなくても生活必需品が買える店。（６０代）

3-4-6 双葉町へ帰還した場合に希望する住居形態

【問9で「1. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」「2. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】
 問10-3 帰還した場合のお住まいは、第一希望としてどのような形態を希望されますか。（〇は1つ）

<図表3-4-6 双葉町へ帰還した場合に希望する住居形態>



〔その他の内訳〕

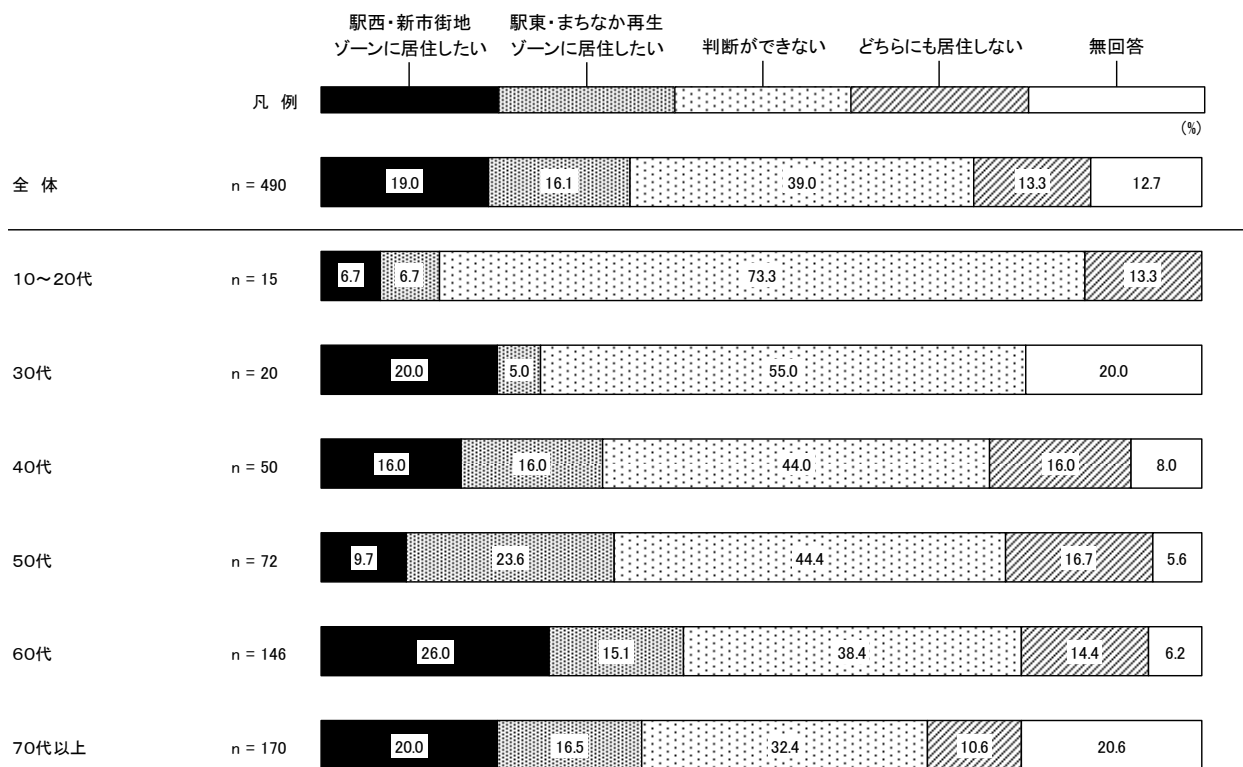
給与住宅（社宅など）	0.2%
家族のどなたかのお住まい・実家	0.6%
親戚・知人宅	-
その他	2.0%

3-4-7 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」への居住意向

【問9で「1. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」「2. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】

問 10-4 町では、JR 双葉駅の西側の区域を「新市街地ゾーン」と位置づけ、町が主導して先行的に住宅地や生活関連施設の整備を進めることとしております。また、JR 双葉駅の東側の区域については、「まちなか再生ゾーン」と位置づけ、既成市街地の再生を目指すこととしております。「駅西・新市街地ゾーン」や「駅東・まちなか再生ゾーン」への居住に関する意向について、もっとも近いものはどれですか。（〇は1つ）
 ※震災発生当時に駅西地区及び駅東地区にお住まいの方もお答えください。

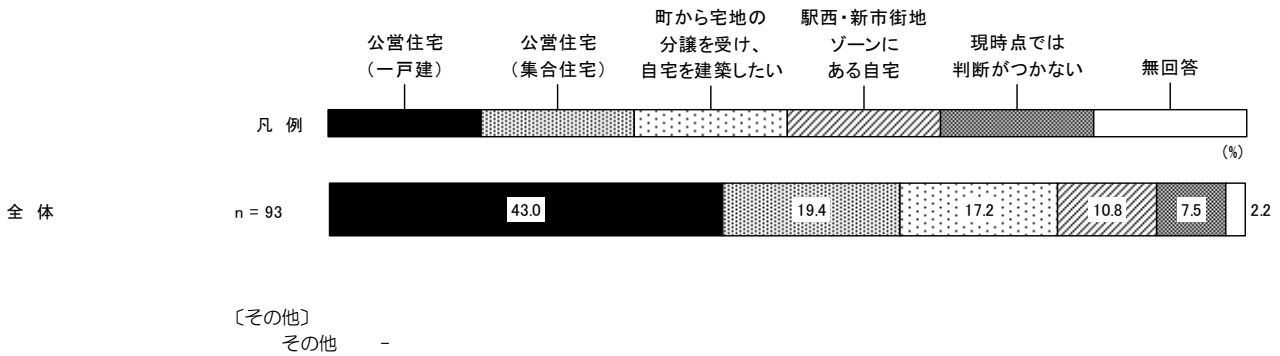
＜図表3-4-7 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」への居住意向（年齢別）＞



3-4-8 「新市街地ゾーン」に居住した場合に希望する住居形態

【問 10-4 で「1. 駅西・新市街地ゾーンに居住したい」と回答した方にうかがいます。】
 問 10-5 町により、JR 双葉駅の西側に住宅地が整備された場合のお住まいは、どのような形態を希望されますか。
 (〇は1つ)

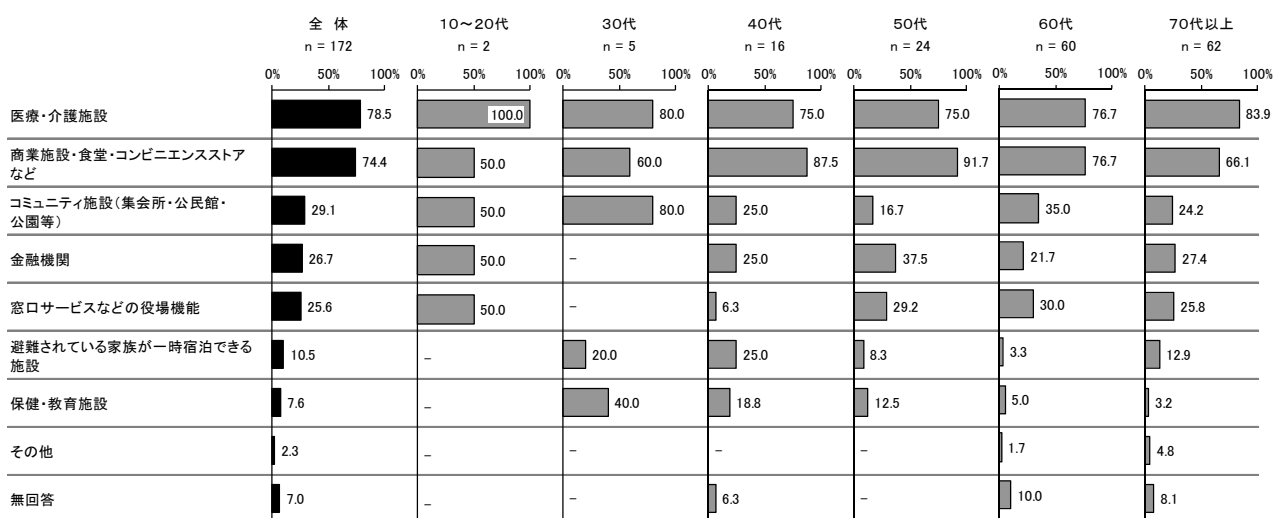
<図表3-4-8 「新市街地ゾーン」に居住した場合に希望する住居形態>



3-4-9 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に必要な生活関連施設

【問 10-4 で「1. 駅西・新市街地ゾーンに居住したい」「2. 駅東・まちなか再生ゾーンに居住したい」と回答した方にうかがいます。】
 問 10-6-1 「駅西・新市街地ゾーン」及び「駅東・まちなか再生ゾーン」に、特に必要と考える、生活関連施設を教えてください。(〇は3つまで)

<図表3-4-9 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に必要な生活関連施設 (年齢別)>

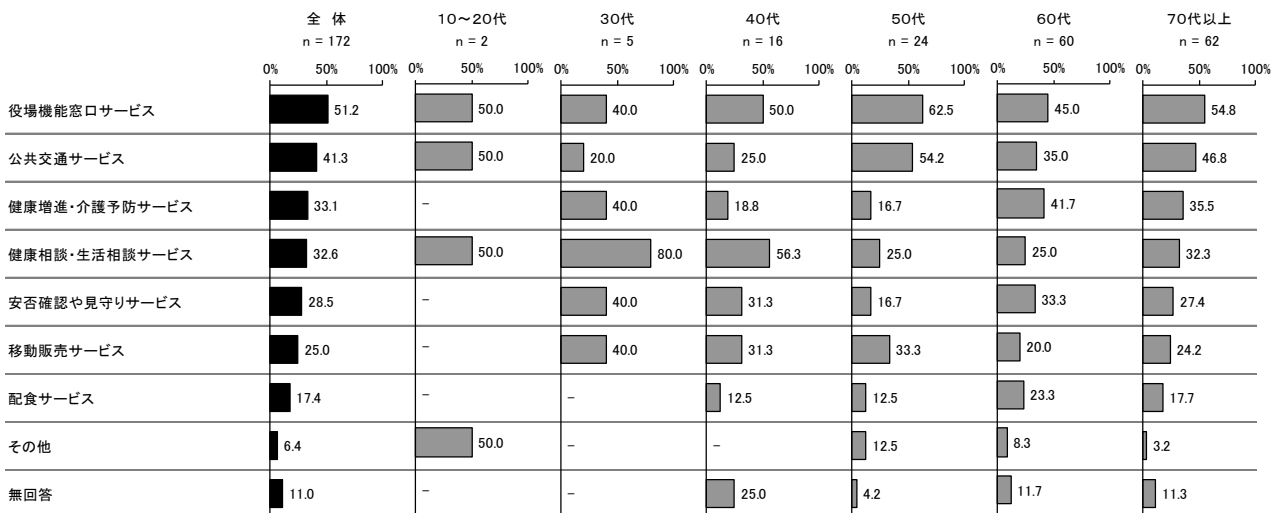


3-4-10 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に必要な生活関連サービス

【問 10-4 で「1. 駅西・新市街地ゾーンに居住したい」「2. 駅東・まちなか再生ゾーンに居住したい」と回答した方にうかがいます。】

問 10-6-2 「駅西・新市街地ゾーン」及び「駅東・まちなか再生ゾーン」に、特に必要と考える、生活関連サービスを教えてください。(〇は3つまで)

<図表3-4-10 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」に必要な生活関連サービス(年齢別)>

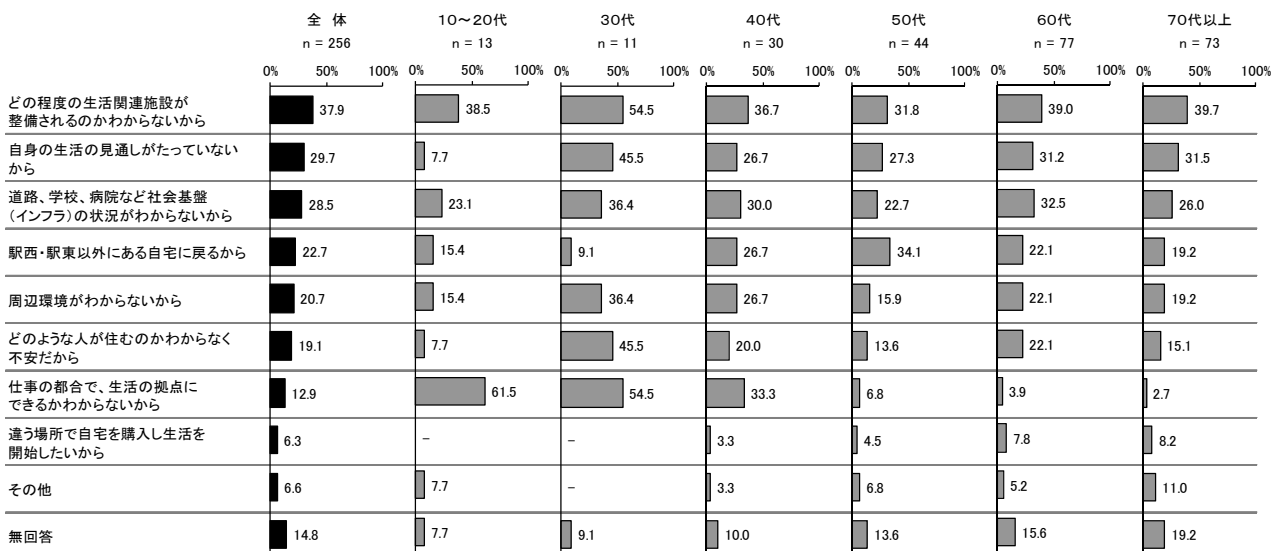


3-4-11 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」への居住を判断できない理由・居住しない理由

【問 10-4 で「3. 判断ができない」「4. どちらにも居住しない」と回答した方にうかがいます。】

問 10-7 「駅西・新市街地ゾーン」及び「駅東・まちなか再生ゾーン」への居住について、現時点で判断ができない、居住しない理由はどのようなことからですか。(〇はいくつでも)

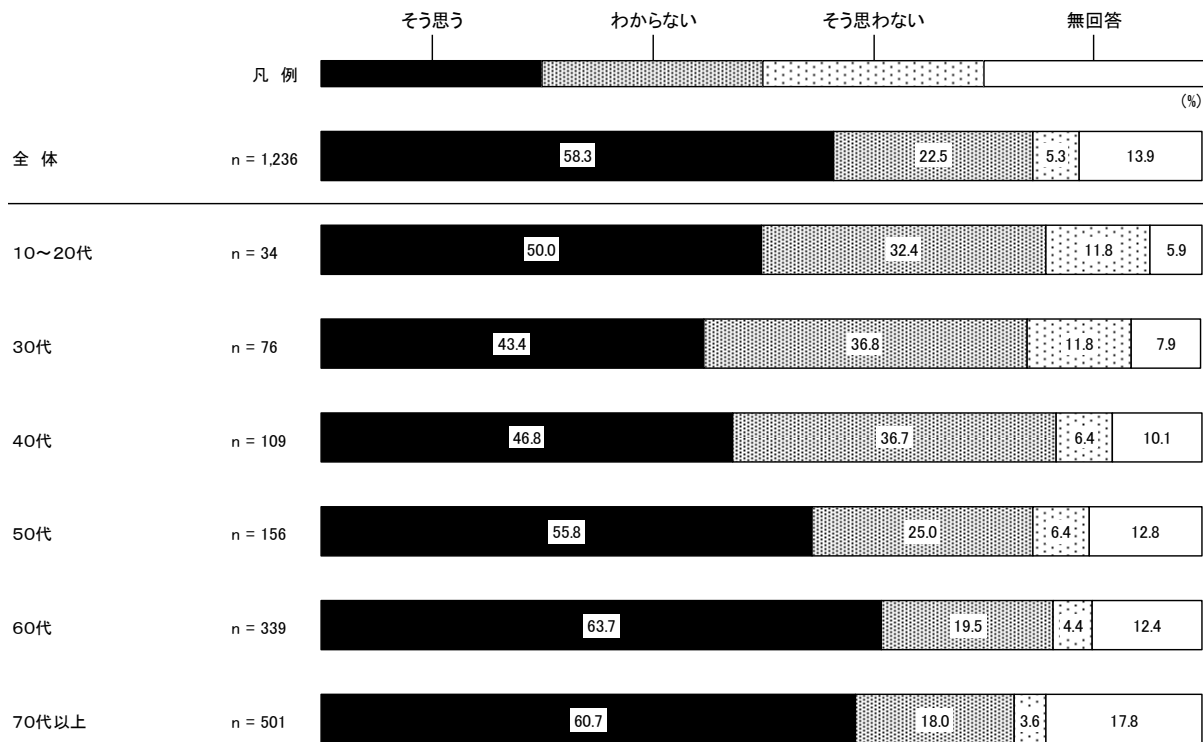
<図表3-4-11 「新市街地ゾーン」「まちなか再生ゾーン」への居住を判断できない理由・居住しない理由(年齢別)>



3-4-12 双葉町との「つながり」を保ちたいか

【問9で「2. まだ判断がつかない」「3. 戻らないと決めている」と回答した方にかかっています。】
 問11-1 双葉町との「つながり」を保ちたいと思いますか。(〇は1つ)

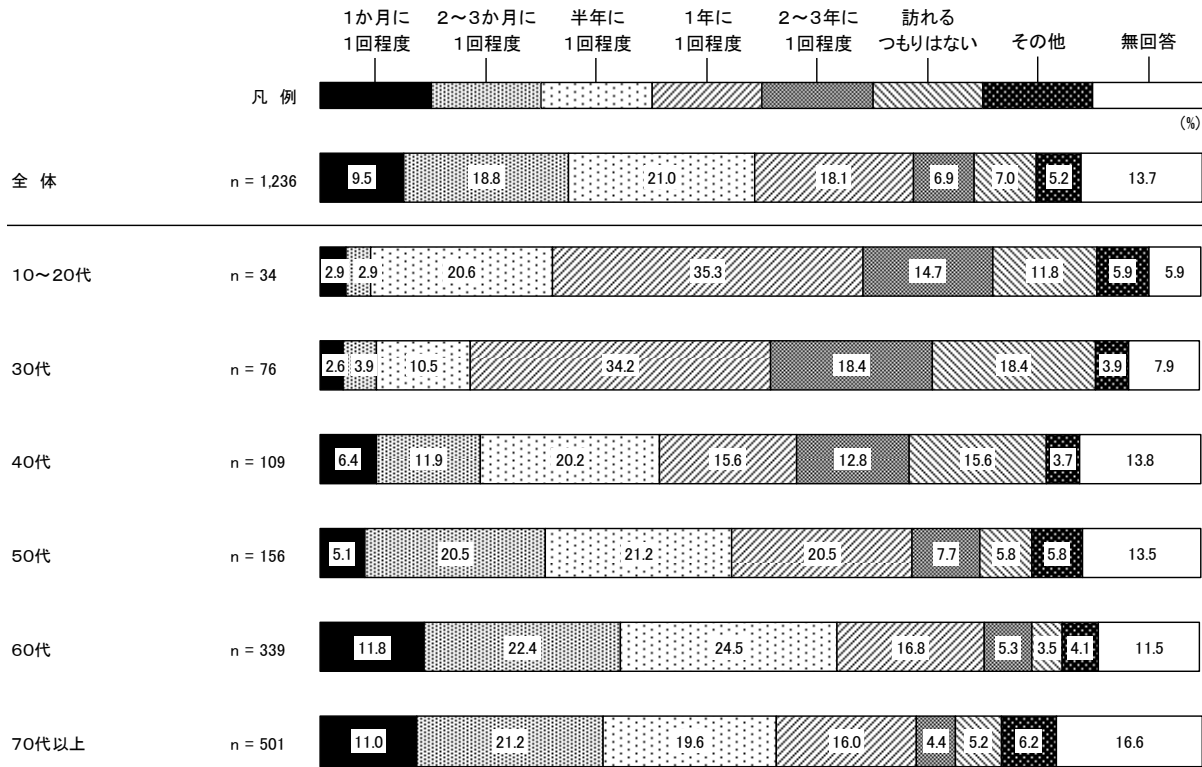
<図表3-4-12 双葉町との「つながり」を保ちたいか(年齢別)>



3-4-13 双葉町を訪れたい頻度

【問9で「2. まだ判断がつかない」「3. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。
 問11-2 双葉町をどのくらいの頻度で訪れたいと思いますか。(〇は1つ)

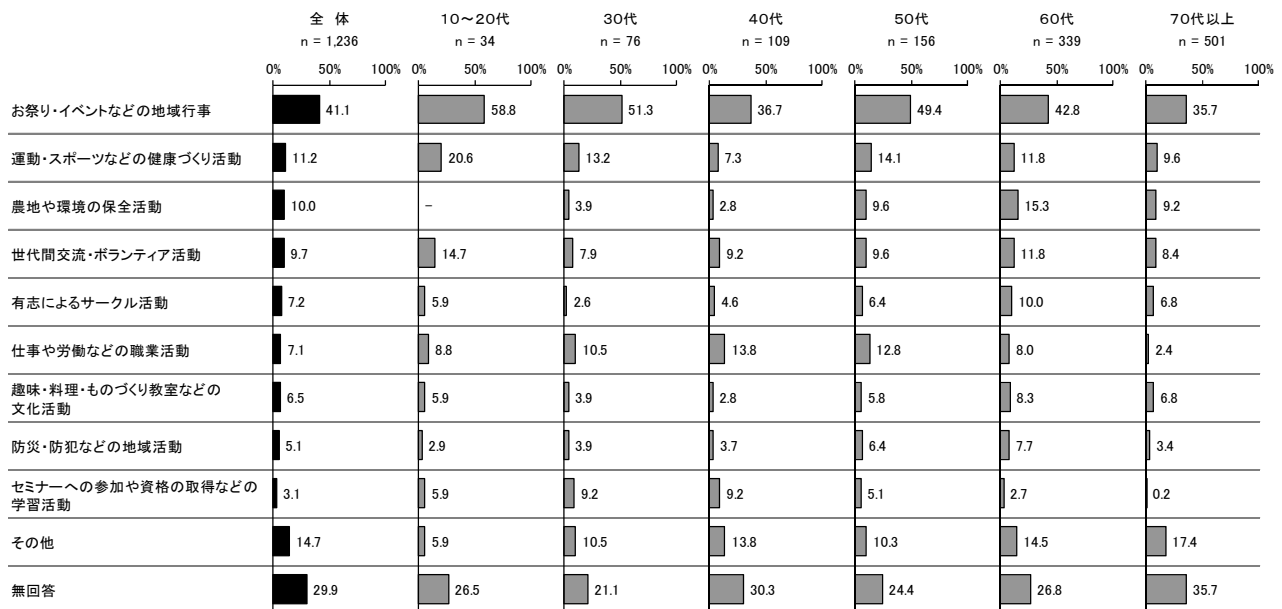
<図表3-4-13 双葉町を訪れたい頻度(年齢別)>



3-4-14 双葉町を訪れたくなる取り組み・行事・イベント

【問9で「2. まだ判断がつかない」「3. 戻らないと決めている」と回答した方にかがいます。】
 問11-3 どのような取り組みや行事、イベントなどがあれば、双葉町を訪れたいと思いますか。(〇はいくつでも)

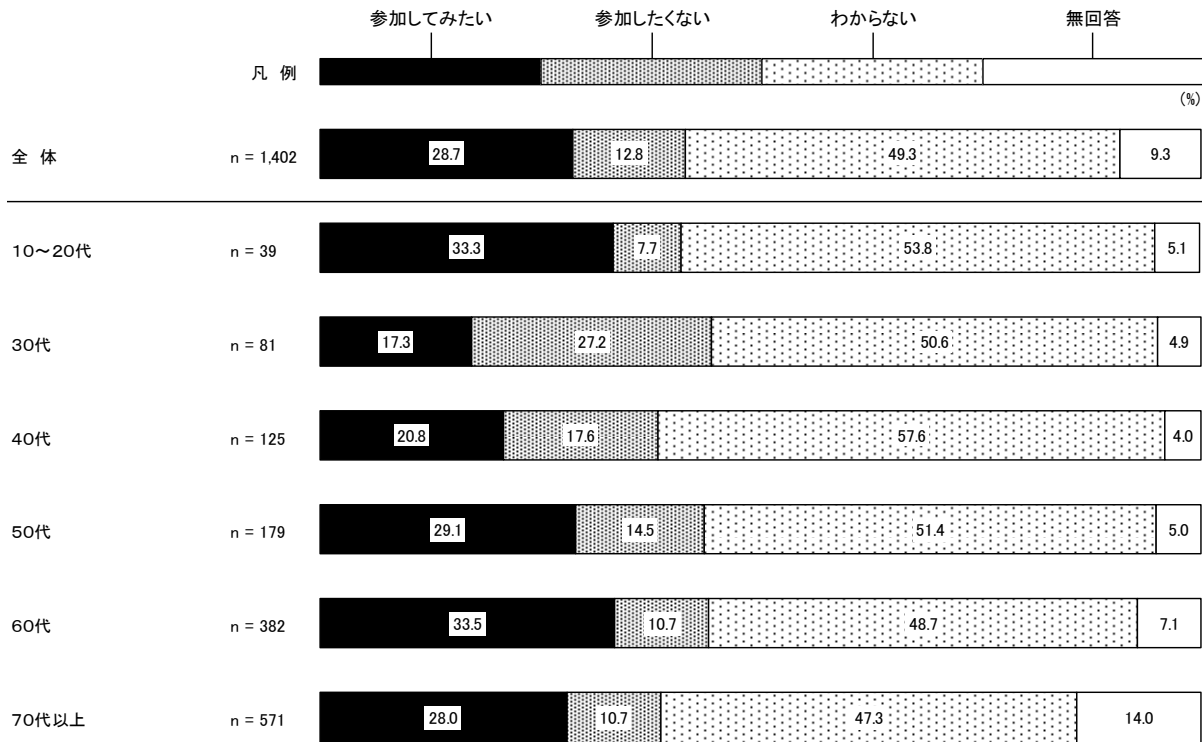
<図表3-4-14 双葉町を訪れたくなる取り組み・行事・イベント(年齢別)>



3-4-15 双葉町でイベントが開催された場合の参加意向

問 12 今年度末には、JR常磐線が全面開通し、JR双葉駅が営業再開します。また、令和2年7月ごろには、中野地区において、飲食店が入居する産業交流センターがオープンする予定のほか、震災の記憶と教訓を伝承するアーカイブ拠点施設や、復興祈念公園の一部などが開園する予定で、それらに合わせてイベントの開催も検討しています。イベントが開催された場合、参加してみたいですか。(〇は1つ)

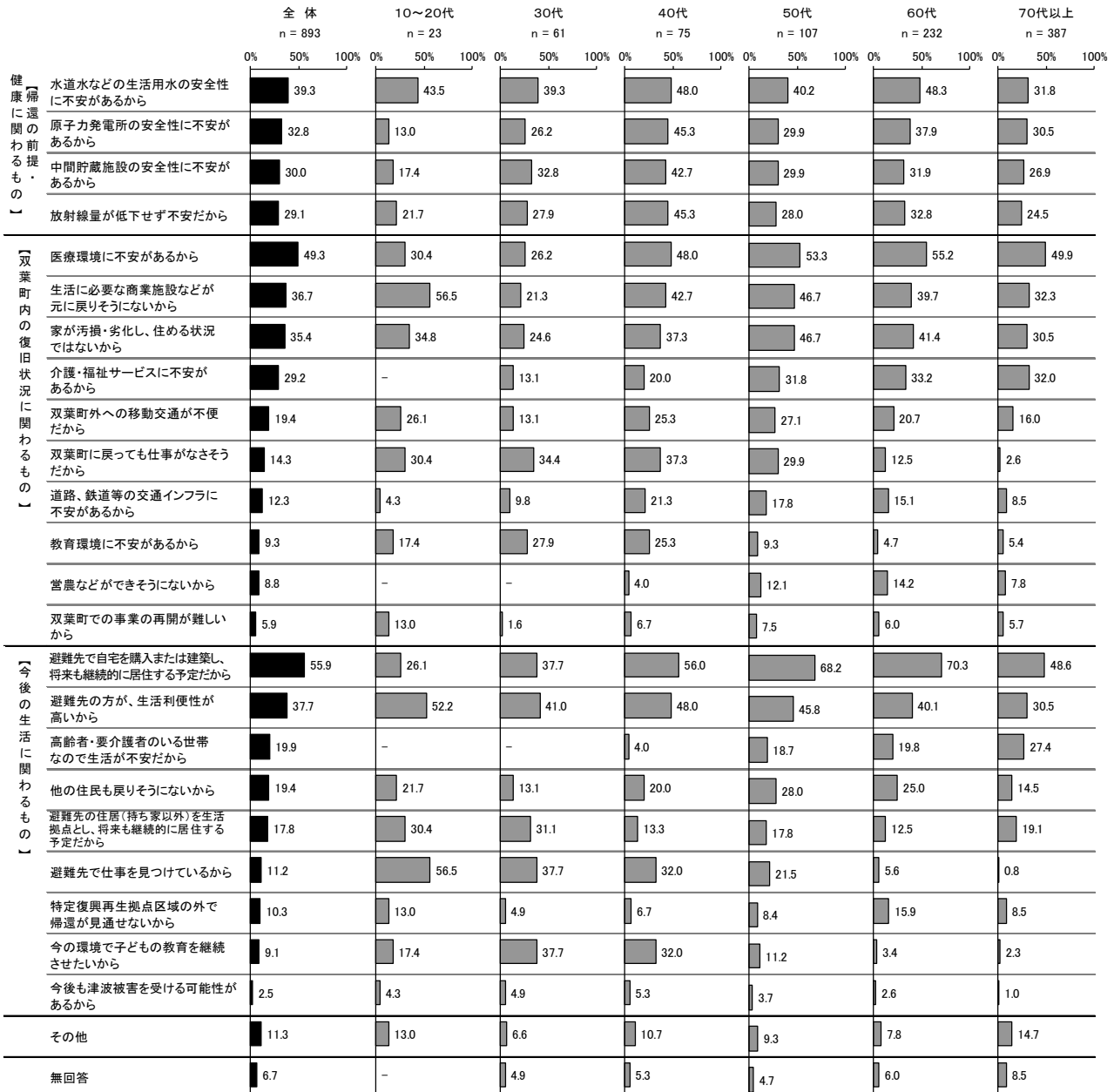
<図表3-4-15 双葉町でイベントが開催された場合の参加意向(年齢別)>



3-4-16 双葉町に帰還しない理由

【問9で「3. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】
 問13-1 現時点で戻らないと決めている理由はどのようなことですか。(〇はいくつでも)

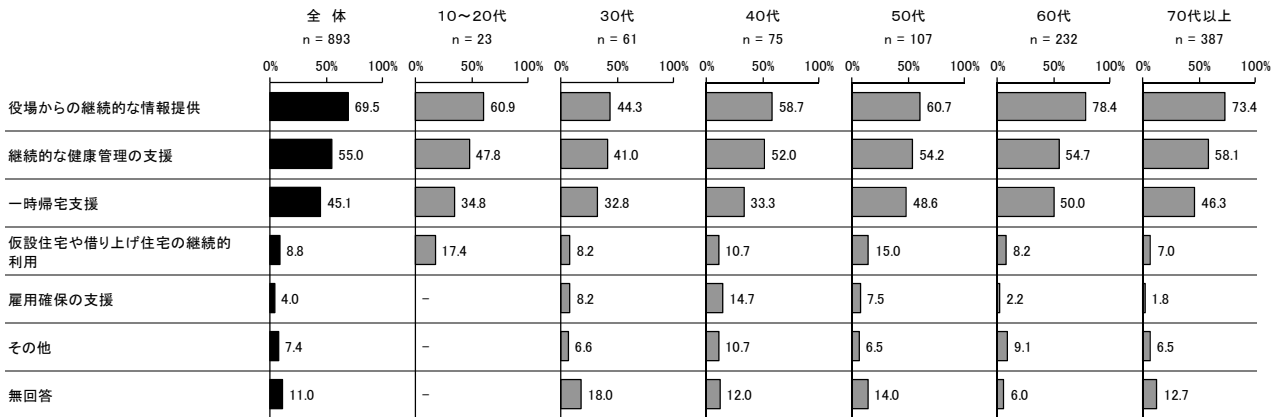
<図表3-4-16 双葉町に帰還しない理由(年齢別)>



3-4-17 双葉町に帰還しない場合に今後の生活において必要な支援

【問9で「3. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】
 問 13-2 帰還しない場合に、今後の生活においてどのような支援を求めますか。(〇はいくつでも)

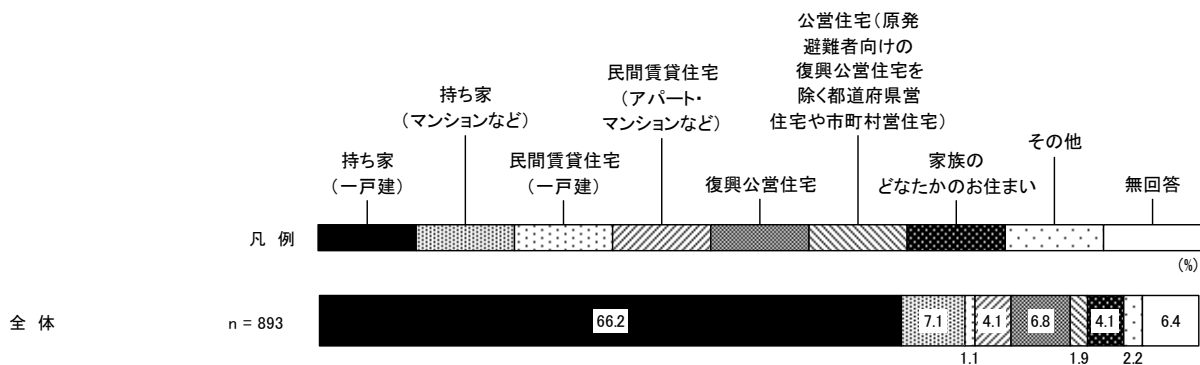
<図表3-4-17 双葉町に帰還しない場合に今後の生活において必要な支援(年齢別)>



3-4-18 双葉町に帰還しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態

【問9で「3. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】
 問 13-3 帰還しない場合に、今後のお住まいとして希望する(既に居住している場合を含む)住宅は、どのような形態ですか。(〇は1つ)

<図表3-4-18 双葉町に帰還しない場合に今後の住まいとして希望する住居形態>



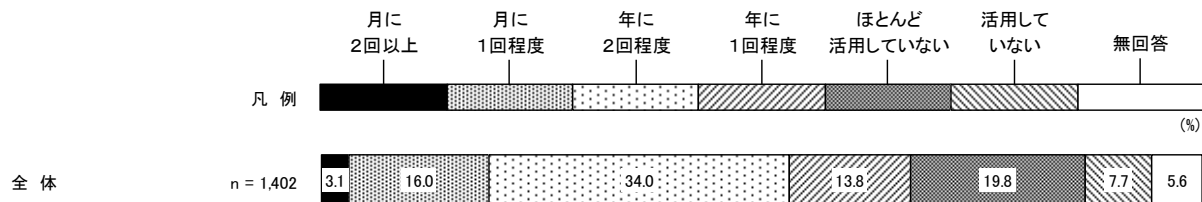
〔その他の内訳〕
 給与住宅(社宅など) 0.3%
 親戚・知人宅 0.4%
 その他 1.5%

3-5 町内への一時立ち入り・避難指示解除に向けた取り組み

3-5-1 双葉町内への一時立ち入りの活用頻度

問 14-1 町内への一時立ち入りはどの程度の頻度で活用していますか。(〇は1つ)

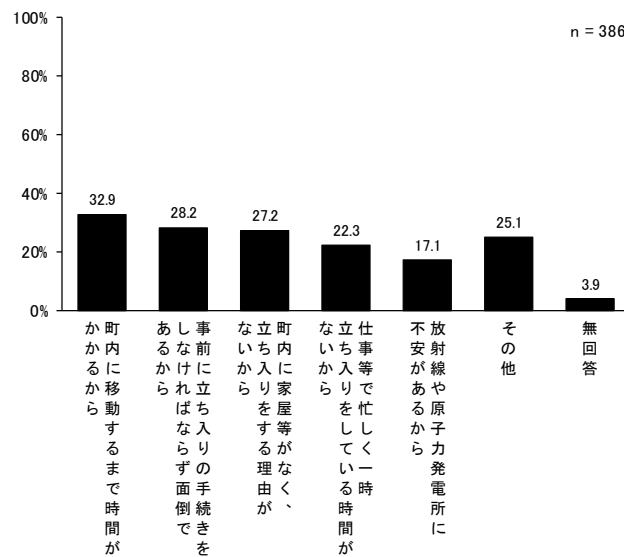
<図表3-5-1 双葉町内への一時立ち入りの活用頻度>



3-5-2 双葉町内への一時立ち入りを活用しない理由

【問 14-1 で「5. ほとんど活用していない」「6. 活用していない」と回答した方にお伺いします。】
 問 14-2 活用していない理由を教えてください。(〇はいくつでも)

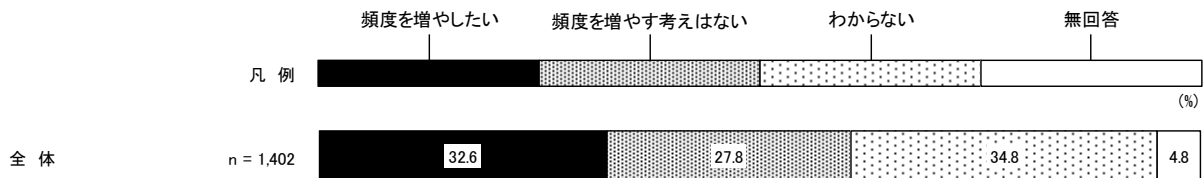
<図表3-5-2 双葉町内への一時立ち入りを活用しない理由>



3-5-3 訪れやすくなった場合の双葉町内への立ち入り頻度

問 15 今年度末には、常磐自動車道の常磐双葉インターチェンジの開業、JR常磐線の全線開通およびJR双葉駅の再開が予定されており、双葉町内へのアクセスが格段に向上します。それらに合わせ、JR双葉駅周辺を中心とする特定復興再生拠点区域内については、バリケードを撤去し、事前の立ち入り手続きを不要とすることとしております。訪れやすくなった双葉町内への立ち入り頻度を、増やしてみたいですか。(〇は1つ)

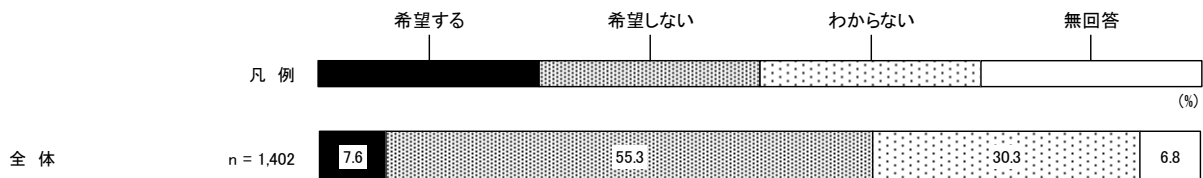
<図表3-5-3 訪れやすくなった場合の双葉町内への立ち入り頻度>



3-5-4 準備宿泊の意向

問 16-1 町では、令和4年春に特定復興再生拠点区域全域の避難指示解除を目指しています。解除に先立って、ご自宅などで特例的に宿泊できる「準備宿泊」に参加することができますが、ご希望されますか。(〇は1つ)

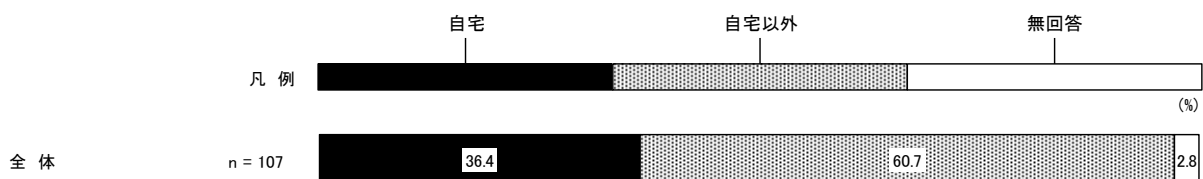
<図表3-5-4 準備宿泊の意向>



3-5-5 準備宿泊を希望する場所

【問 16-1 で「1. 希望する」と回答した方に伺います。】
 問 16-2 町で準備宿泊を希望される場所をご自宅ですか。(〇は1つ)

<図表3-5-5 準備宿泊を希望する場所>

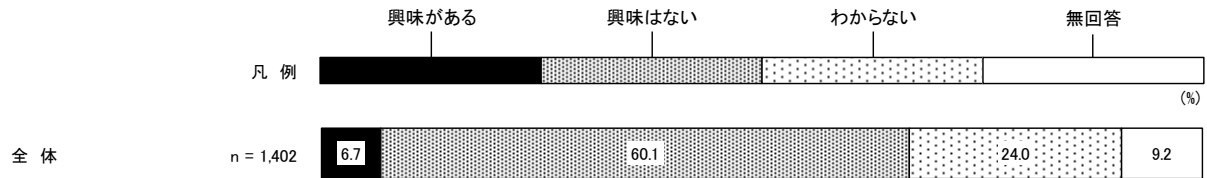


3-6 双葉町内での就業意向

3-6-1 中野地区復興産業拠点での就業意向

問 17 中野地区復興産業拠点において、地元を含む多くの企業の立地が決定しています。それらの企業で、働くことに興味はありますか。(〇は1つ)

<図表3-6-1 中野地区復興産業拠点での就業意向>

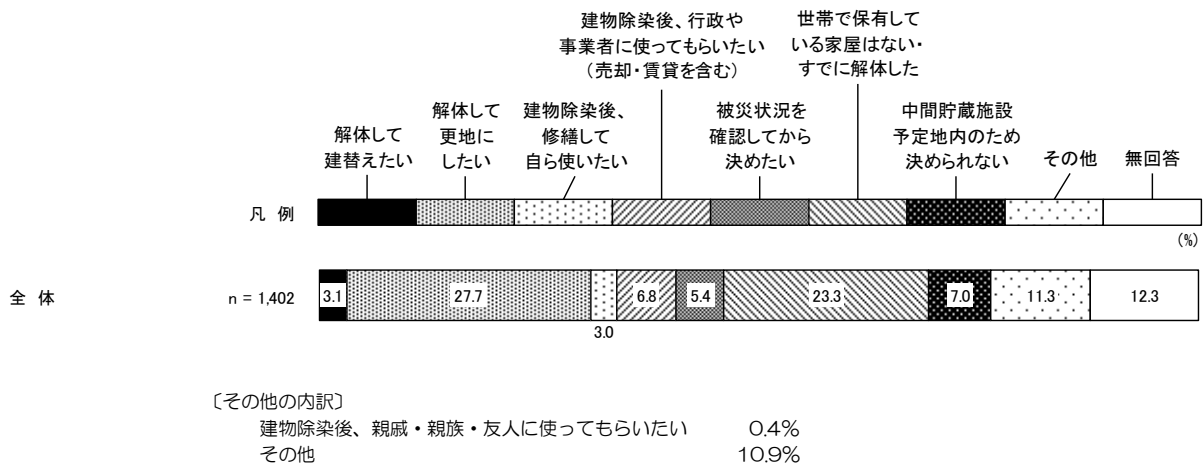


3-7 不動産の取り扱い

3-7-1 双葉町内に保有する家屋の利用意向

問 18 町内に保有している家屋の利用意向についてうかがいます。
現時点でのご意向に関して、もっとも近いものはどれですか。(〇は1つ)

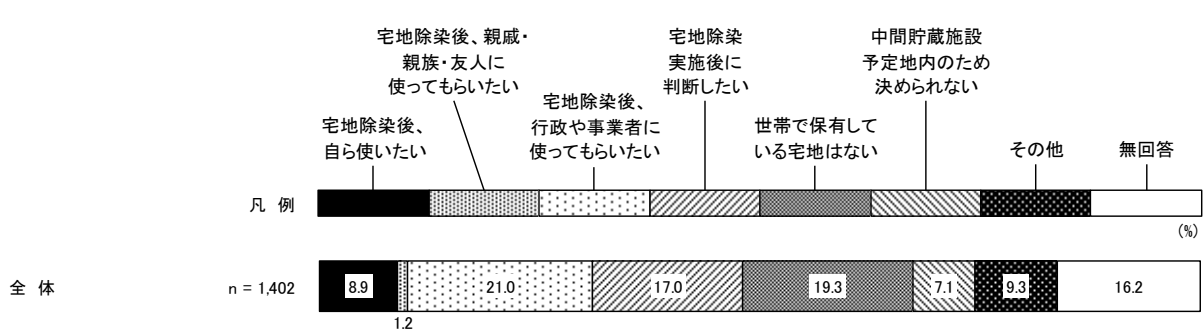
<図表3-7-1 双葉町内に保有する家屋の利用意向>



3-7-2 双葉町内に保有する宅地の利用意向

問 19-1 町内に保有している宅地の利用意向についてうかがいます。
現時点でのご意向に関して、もっとも近いものはどれですか。(〇は1つ)

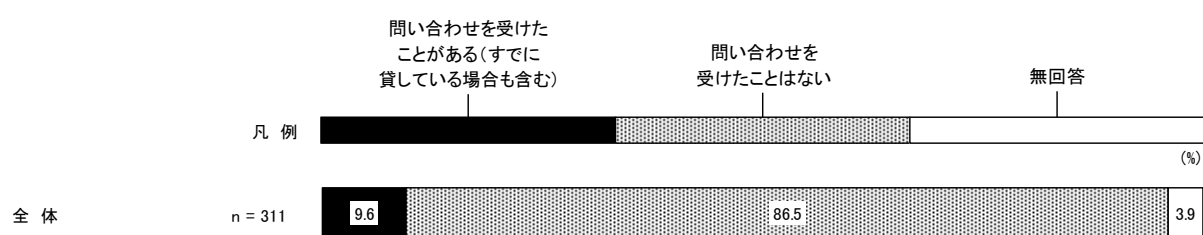
<図表3-7-2 双葉町内に保有する宅地の利用意向>



3-7-3 「空地バンク」からの問い合わせ

問 19-2 町では現在、空き地の活用に向け、売却や賃借を希望する空き地の情報を紹介する「空き地バンク」の運用開始を予定しています。それに関連し、保有している宅地について、民間企業などの第三者から宅地貸し出しなどの利活用についての問い合わせを受けたことはありますか。(〇は1つ)

<図表3-7-3 「空地バンク」からの問い合わせ>

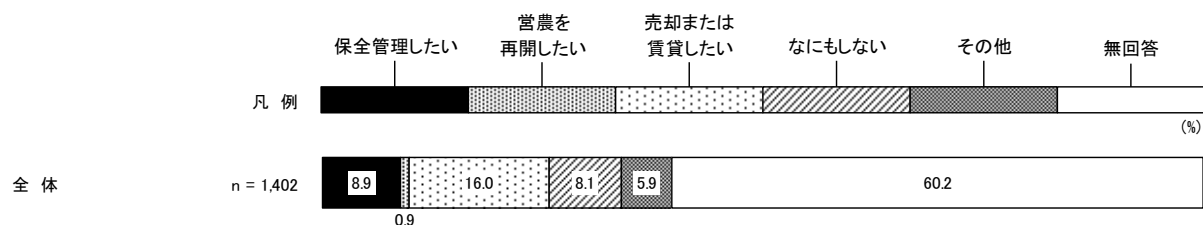


3-7-4 双葉町内に保有する農地の利用意向

【町内に農地を保有している方にうかがいます。】

問 20-1 所有している農地を今後どのように利用されますか。現時点でのお考えをお聞かせください。(〇は1つ)

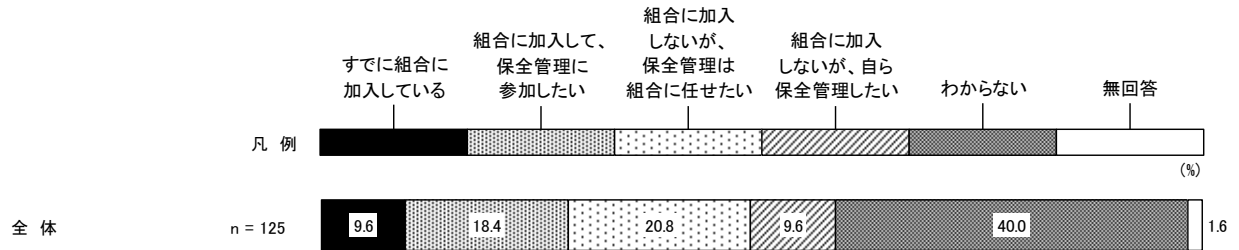
<図表3-7-4 双葉町内に保有する農地の利用意向>



3-7-5 農地保全を目的とする組合への加入意向

【問 20-1 で「1. 保全管理したい」と回答した方にうかがいます。】
 問 20-2 町では、両竹地区の農地の保全を目的とする組合を昨年5月に設立しました。今後、拠点内の農地も組合等組織により保全管理を行う予定です。このような組合への加入について、現時点でのお考えをお聞かせください。(〇は1つ)

<図表3-7-5 農地保全を目的とする組合への加入意向>

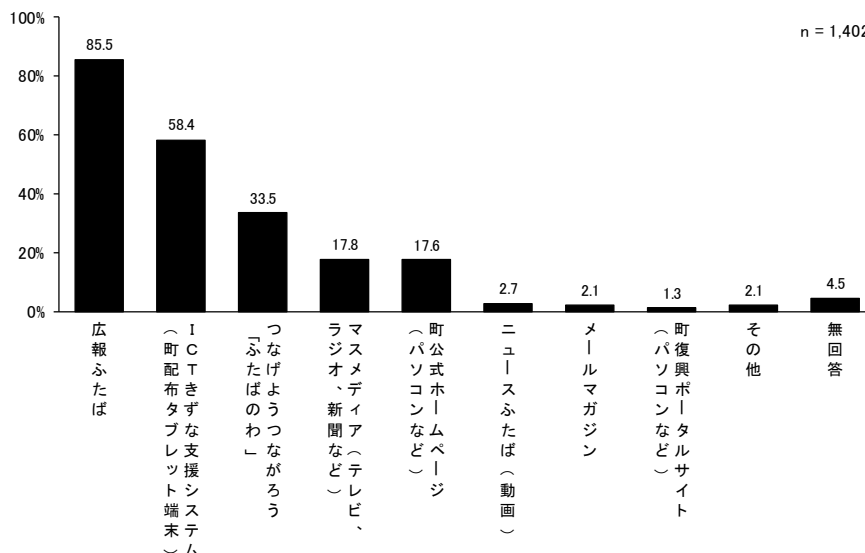


3-8 情報入手・コミュニケーション

3-8-1 双葉町からの情報の入手経路

問 21-1 あなたは町からの情報を主にどのような方法で入手していますか。(〇は3つまで)

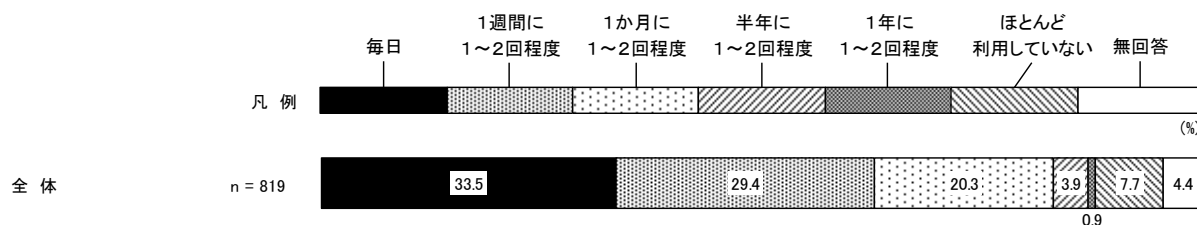
<図表3-8-1 双葉町からの情報の入手経路>



3-8-2 「ICTきずな支援システム」の利用頻度

【問 21-1 で「3. ICTきずな支援システム (町配布タブレット端末)」と回答した方にうかがいます。】
 問 21-2 町が無料配付している「ICTきずな支援システム (タブレット端末)」は、どれくらいの頻度で利用していますか。(〇は1つ)

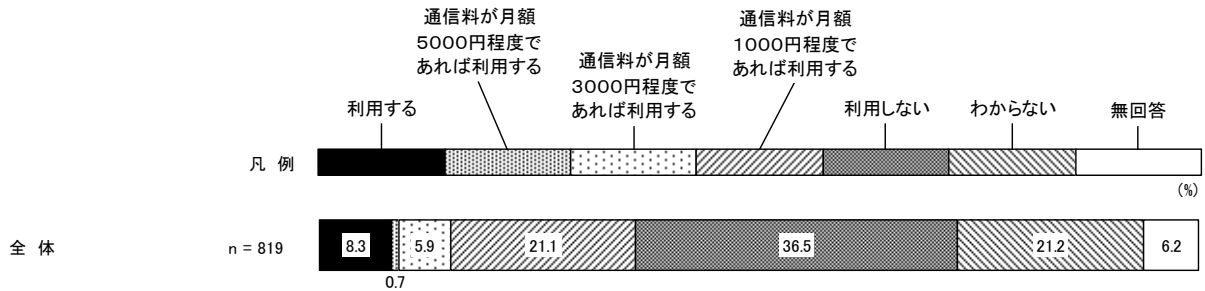
<図表3-8-2 「ICTきずな支援システム」の利用頻度>



3-8-3 「ICTきずな支援システム」が有料になった場合の利用意向

【問21-1で「3. ICTきずな支援システム（町配布タブレット端末）」と回答した方にうかがいます。】
 問21-3 「ICTきずな支援システム（タブレット端末）」の通信料が、自己負担となっても利用されますか。
 (〇は1つ)

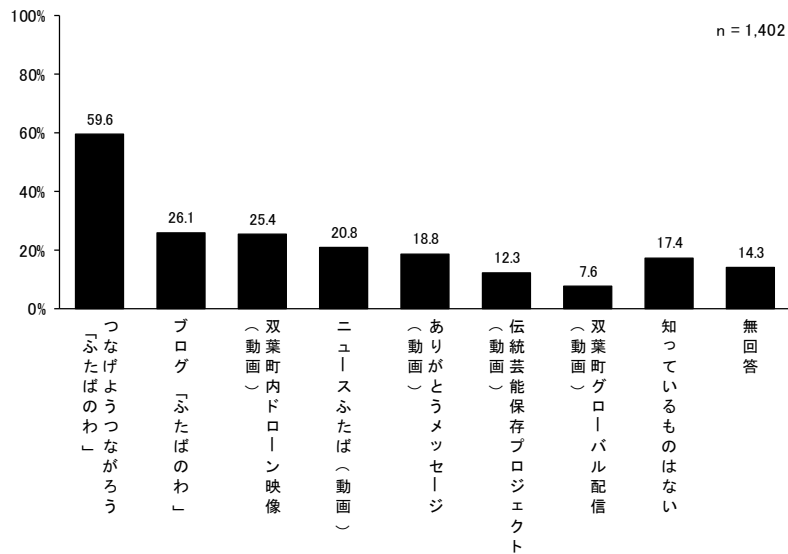
<図表3-8-3 「ICTきずな支援システム」が有料になった場合の利用意向>



3-8-4 双葉町復興支援員の製作物の認知状況

問22-1 双葉町復興支援員が製作している物について知っているものがありますか。(〇はいくつでも)
 ※双葉町復興支援員（通称：ONE福島、ふたさぼ）とは、国の復興支援員制度を活用し、避難先における町民のコミュニティの維持発展を図るため、コミュニティ支援、広報支援、映像等制作支援の活動を行っています。

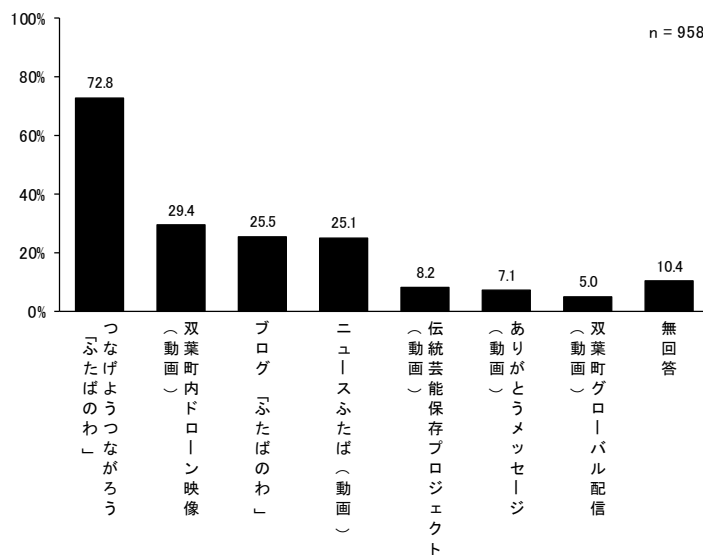
<図表3-8-4 双葉町復興支援員の製作物の認知状況>



3-8-5 双葉町復興支援員の製作物で継続してほしいもの

【問 22-1 で「1」から「7」のいずれかを回答した方にうかがいます。】
 問 22-2 双葉町復興支援員が製作している物について、今後も継続してほしいものを教えてください。
 (〇は3つまで)

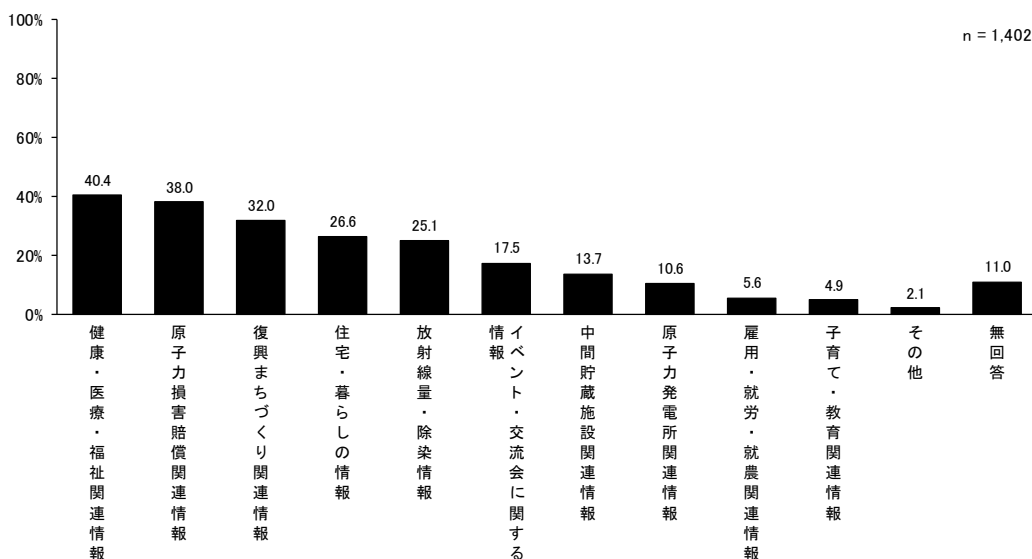
<図表3-8-5 双葉町復興支援員の製作物で継続してほしいもの>



3-8-6 特に知りたい、関心のある情報

問 23 あなたが特に知りたい、関心がある情報は何ですか。(〇は3つまで)

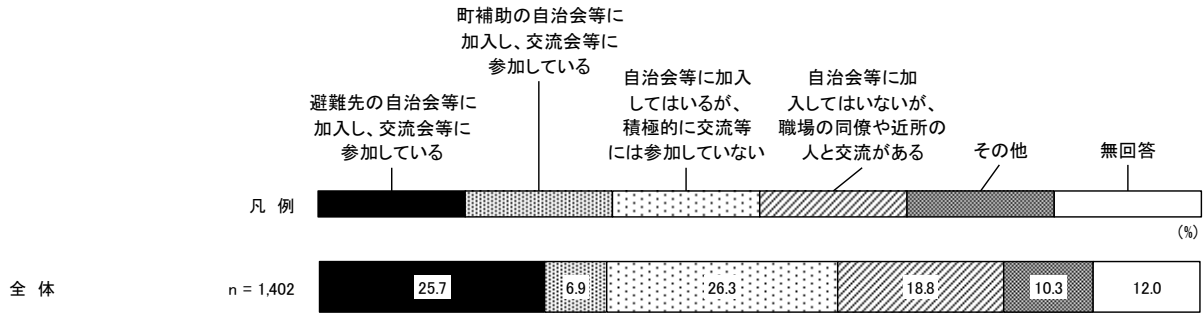
<図表3-8-6 特に知りたい、関心のある情報>



3-8-7 避難先での自治会などへの加入状況

問 24 あなたが避難先で加入している自治会等の組織はありますか。(〇は1つ)

<図表3-8-7 避難先での自治会などへの加入状況>

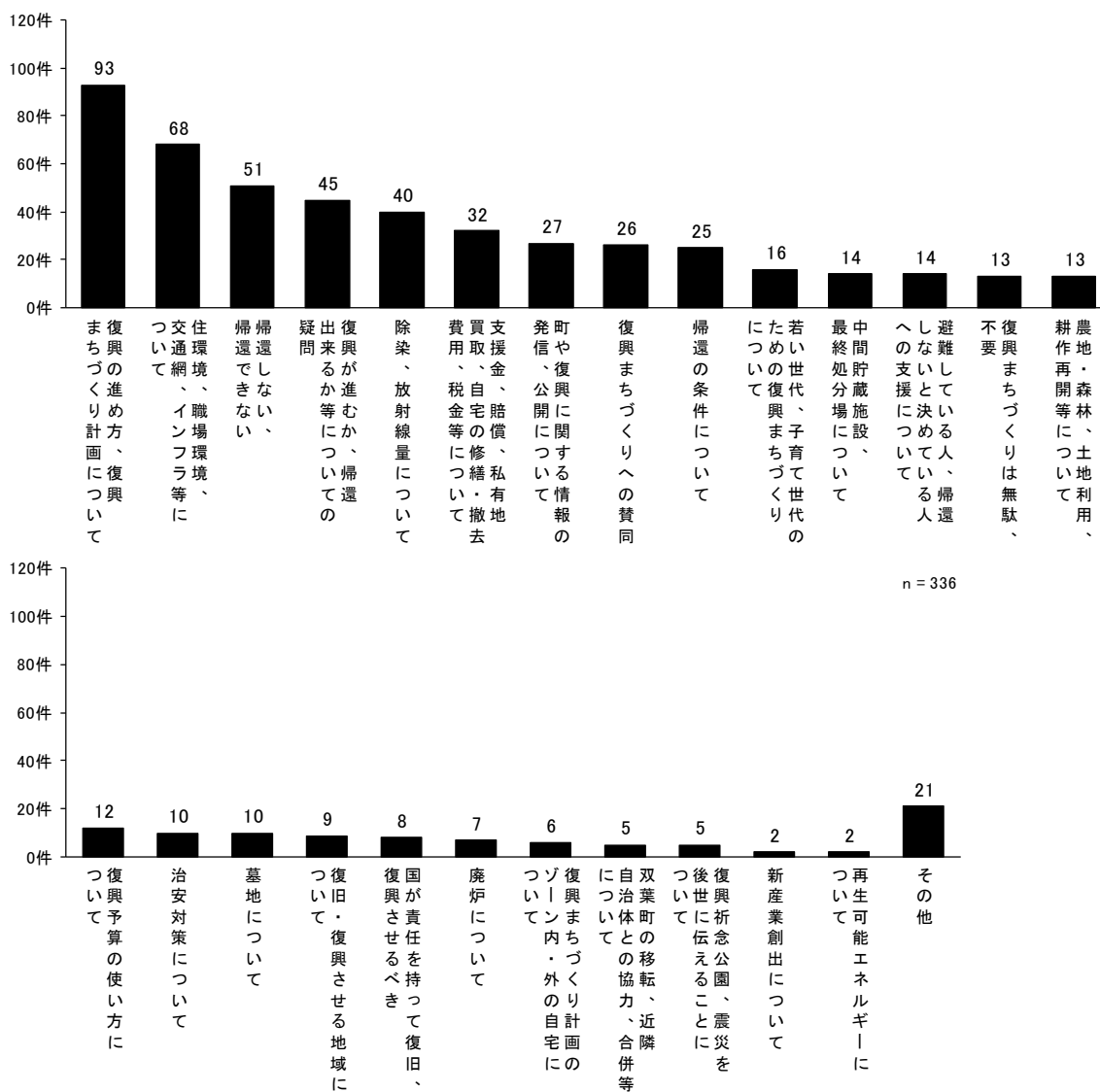


3-9 意見・要望

3-9-1 双葉町の復興を進めていくにあたっての意見・要望

問 25 今後、町が町内の復興を進めていくにあたり、あなたのご意見・ご感想など、ご自由にお書きください。

<図表3-9-1 双葉町の復興を進めていくにあたっての意見・要望>



III 調査結果

上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【復興の進め方、復興まちづくり計画について】

- 友人（同級生）が集まれる場所にしてほしい。（10～20代）
- 安全・安心が実感できることを第一に復興をお願いしたい。（30代）
- 町民や地元の友人と宿泊できる施設をつくってほしい。（同窓会などの交流が出きるような。）自宅の状況を考えると宿泊出来るような状況ではないが、自分の生まれ育ったふるさとは帰りたいと思うし、友人達と集まり交流などが出来る場所があるとうれしいです。（30代）
- 町の復興は、とても期待しているところであるが、今後拠点となる、建物の維持費などに不安を感じています。国や県から補助金がでているのであれば別だが、これから人口は減っていき、税収増が見込められない時代になってくるので、先をみすえた復興になることを願っています。（40代）
- 双葉町に行きたいと思える、仕事があるなど、生活に関する、はっきりした話がないと復興が進まないと思う。浜通りの双葉町、大熊町以外の町は、どんどん復興が進んでいる。双葉町はかなり遅すぎて悲しく思う。（40代）
- 我が家は双葉町の家屋を既に解体しているので、戻って住むということはありませんが、夫の故郷、そして息子を産み育てた地としての双葉町は、永遠に心のふるさとです。現在17才の息子は、なかなか自由に双葉町に入ることが出来ずにいます。復興が進んでアクセスもよくなったら、行ってみたいと言っています。ぜひ、また、双葉町を安心して自由に歩ける場所にしてほしいです。（50代）
- 卒直に言いますと、町内の復興とは？様々な理由をつけて拠点を作っていくということが理解出来ません。廃炉作業とそこに住むことが前提の考えは全く理解できません。町の復興は、完全に廃炉作業が完結した時、町民が100%帰ることが出来る環境が整った時で良いと思います。（60代）
- 商業、医療等の公共施設の再開は計画的に時期を明確に広報して行くことが帰る町民の助けになると思います。（60代）
- これから復興を進めていく中で双葉駅を中心とした町づくりをして行く予定だそうですが、双葉インターから町に向かって行って道添いの畑に景観植物を植えたらどうか。1つの建物の中に運動をしたり買い物や食事が出きる所があれば町民ならず、色々な人と交流できたらいいと思う。（70代以上）

【住環境、職場環境、交通網、インフラ等について】

- 他県から人が集まる、施設や、ショッピングモールを作してほしい。（30代）
- 特定復興再生拠点区域や新市街地ゾーンを決めても、そこから先の具体的な話が見えてこない。どんな商業施設をいつから始めるのか、学校、病院をいつから再会するのか具体的な時期等をきちんと説明してほしい。（40代）
- 双葉町民だけではなく、他県からの移住者や労働者が住める様な取り組み。住民の集まれる場所だけではなく、周りの町民が遊べる施設ができてほしい（公園や運動場以外）。（40代）
- 帰還を進めていくのであれば町の交通の整備が必要。帰るのは老人が多いし、住人の足を確保することが大切。これは8町村共同して進めても良いかもしれない。（50代）
- 双葉町の自宅は除染をしていただき、残すことにしましたが、中間貯蔵施設に隣接しているので、居住するには不安があります。土日もなかなか休みが取れず、家の中もまだほとんど震災時のままです。最近、以前より立ち入りする機会が増えましたが、水が出ないので、不便です。除染後、水道、下水道の整備をお願いします。（50代）
- 特定復興再生拠点まで避難指示が解除された後、拠点外の残された地域の除染の進め方について、住居が建っている道路沿いを先に進めてほしい。それと並行して田んぼに生えた雑木や雑草を取り払い、見通せる景観に早くしてほしい。（60代）
- インフラの整備は大切だと思うが、それだけでは復興といえない。震災前のような生活に近づく事が大切だと思う。だからと言って今、何をしなければならぬのかはわからない！（60代）
- 町役場の方々には、毎日町の復興のため苦勞されていることと感謝しております。町の復興のためには何としても人口が増えなければなりません。そのためには交通網、インフラ整備、医療、教育等の施設とともに生活の基盤となる働く場所の確保が必須と思います。現事点で、町からの避難者はすでに就業、就学しており、これをあえて辞め双葉町へ戻るのは困難かと推察されます。したがって企業誘致を進め、生活の安定できるような就業先を進めることが町の復興、活性化への優先課題かと思えます。（70代以上）

[帰還しない、帰還できない]

- 町に戻らないと決めた人間に対しても支援を継続してほしい。(30代)
- 子どもが少なくても成人するまでは双葉町へ連れていこうとは思わない。汚染されてしまった町は、除染をしても元に戻るわけではなく、見えない放射能が常にある。(30代)
- 子どもが小さい為、線量の関係で立ち入ることができない。今後安心して入ることができたら、行ってみたい。建物だけが復興していくのではなく、住民が安心して帰れ、住めるような環境が第一ではないかと考えます。(40代)
- 双葉町に帰れる人が何人いるでしょうか。8年も双葉町から離れて新しい所で慣れてきている。毎日毎日一生懸命生きているのに！。(50代)
- 当時住んでいた住民がいて、その交流が町であったと思う。原発事故後8年もたち、当時の住民が全国に散らばっている状況では、既に町の状況にない。町のご概念は誰も住まない土地のことをいうのか、それとも当時いた住民のことをいうのか。各地に散らばった住民は、既にそれぞれの地域で生活基盤を得ているので、その住民の福祉生活向上を図るこそ役場の役割ではないかと思ひます。若者は現状適応力が高いので、どうしても帰りたい人は高齢者やお世話になりたい人たちのみではないでしょうか。(60代)
- 現在、高齢者であり避難先で内科、歯科、眼科に通院しています。国保一部負担金等免除で非常に助かっています。いずれふるさと帰還通行カードと合わせて廃止になると思ひます。先祖代々の墓があるので年に数回は訪れるつもりですが、住民票は現在地に移動すると思ひう。近所の情報を集めましたが戻るという事が聞いたことが無かった。(60代)
- 特定復興再生拠点区域内は帰還の希望はあるが、それ以外の区域は再生するのは何年先になるのか。町に帰る気になれない。(70代以上)

3-9-2 国・福島県・双葉町への意見・要望

問 26 国や福島県、双葉町への要望などをご自由にお書きください。

国や自治体への要望、復興に対する展望や気持ちなどについて、416世帯から回答があった。ここでは、記入された回答を下記項目に分類し、代表的なものを抜粋して掲載する。

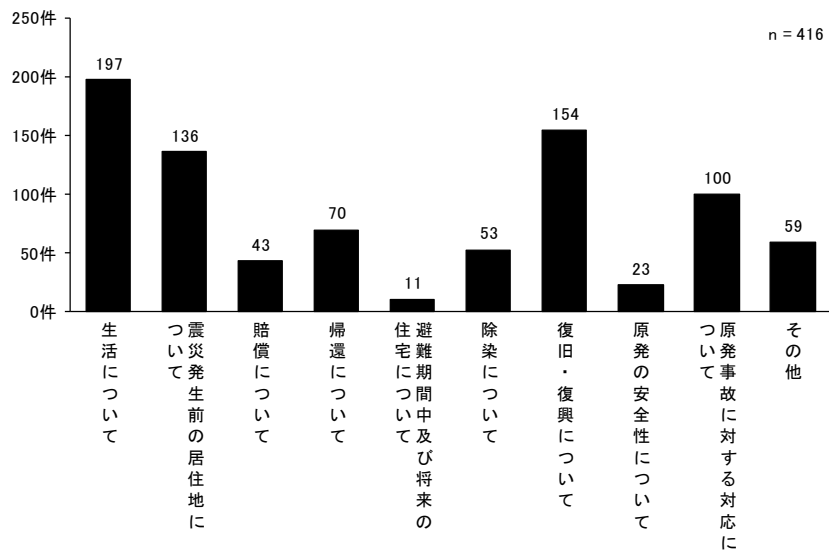
<p>●生活について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難生活の長期化への不安 ・元の生活が取り戻せるかどうかの不安 ・元の生活、安定した生活の回復 ・元の生活に戻ることにあきらめ ・現在の生活について ・現在の生活の人間関係・コミュニティについて ・現在の生活の経済的な不安について ・現在の生活の健康に関する不安について ・現在の生活全般の不安について ・将来の生活に関する考えについて ・将来の生活の経済的な不安について ・将来の生活の健康に関する不安について ・将来の生活全般の不安について ・生活（再建）支援について 	<p>●除染について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・除染作業の意識について ・除染作業の効果等について ・除染作業の実施箇所等について ・除染作業の早期・迅速・的確な実施について ・除染作業スケジュールの明確化について ・除染産廃物の処理について
<p>●震災発生前の居住地について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帰還困難区域への立入りについて ・帰還困難区域等の設定について ・所有する住まい・土地の買取りについて ・自宅の現状（被害状況）について ・自宅の再建・改築・解体について ・元の住居や土地等の管理・処分について ・元の住居や土地に対する税について ・所有する墓地の維持・管理・移転について ・その他 	<p>●復旧・復興について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復旧・復興の遅れ、長期化について ・復旧・復興のスケジュールについて ・復旧・復興の進め方（地域の開発、再編、その他）について ・町村合併について ・ライフライン・インフラの整備について ・社会福祉施設の整備について ・医療施設の復興・充実について ・商業の復興・充実について ・住民の参加・自助努力について ・早期の原状回復・復興実現について ・その他
<p>●賠償について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賠償内容・方法について ・賠償の取り組みの迅速化、方針やスケジュールの明確化について ・所有する住まい・土地に対する賠償全般について ・その他 	<p>●原発の安全性について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃炉作業の迅速な実施について ・廃炉作業全般について
<p>●帰還について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帰還への不安 ・帰還可能時期の明確化について ・帰還したい ・帰還しない ・現時点では帰還の判断ができない ・帰還に関する施策について ・帰還を望まない人への対応について ・その他 	<p>●原発事故に対する対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政や東電の対応について ・対応の長期化、遅れについて ・情報の開示・発信について ・中長期的スケジュールについて ・その他
<p>●避難期間中及び将来の住宅について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復興公営住宅に係る経済的負担について ・居住場所の確保について ・借上げ住宅について ・住宅の購入について 	<p>●その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政に対する謝意、励まし ・その他

※掲載する文章は原文を基本とするが、固有名詞が含まれている場合や長文の場合などは、一部省略している。

※一世帯の回答の内容が、複数のテーマにわたる場合は、それぞれの項目へ分類している。

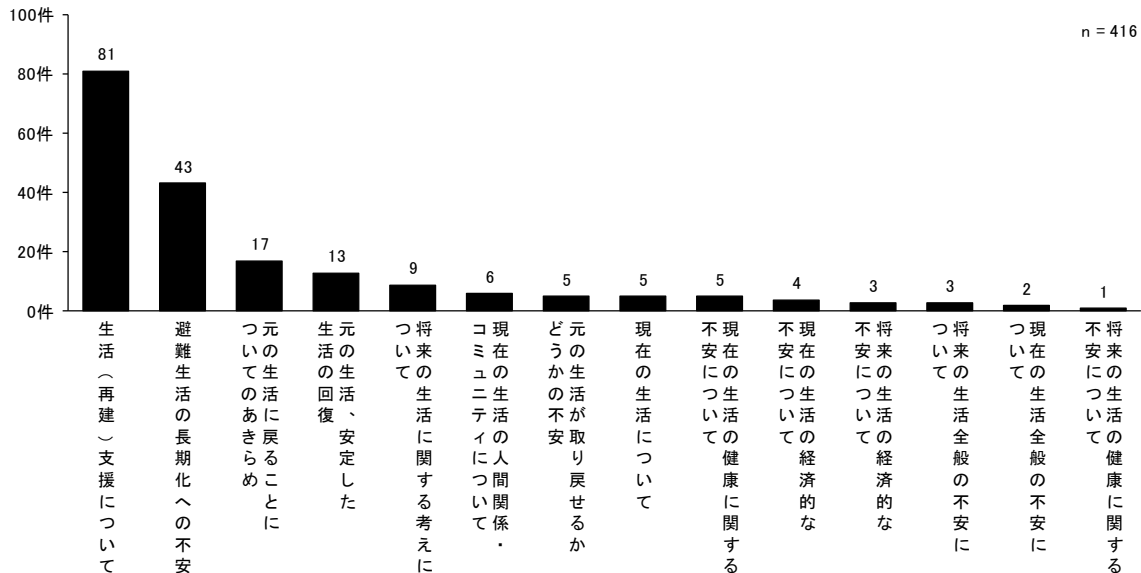
(1) 意見に係る記入内容の分類結果

<図表3-9-2-1 意見に係る記入内容の分類結果>



(2) 生活について

<図表3-9-2-2 生活についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

[生活（再建）支援について]

- 子供達への医療、教育を手厚くしてほしい。（40代）
- 医療費の一部負担免除の継続、高速道路無料化の継続、被災者生活再建支援金の支給継続。（60代）
- 賃貸の家賃の補助を長く続けて欲しい。（70代以上）

[避難生活の長期化への不安]

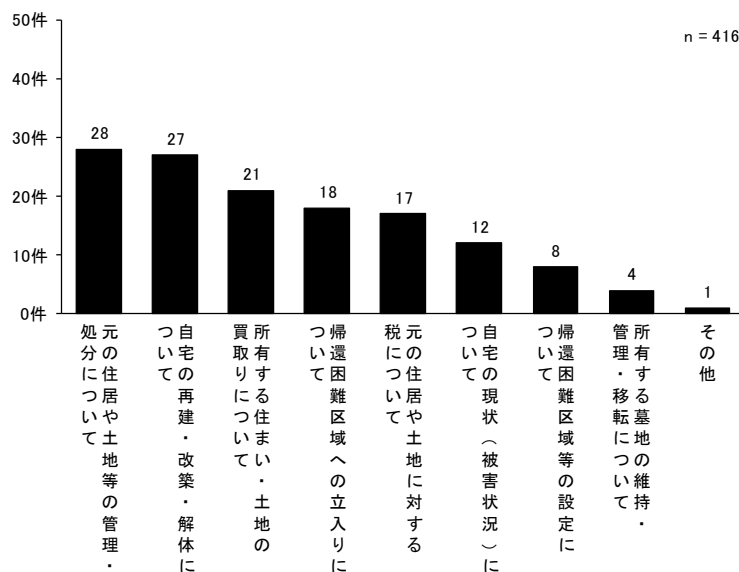
- 避難先での働き盛りの年代の低所得の苦しさを理解しているか知りたい。いまだに震災当時の所得の半額まで至っていない。頑張る意欲につながらない、将来が不安。（40代）
- 医療費免除は一生継続して欲しいです。歳は老いるばかり、年金は少なくなるし、消費税は10%…。知らない土地に避難しているので心身共に疲れました。楽しみと言えば孫の成長だけです。双葉には戻らないので双葉の宅地、国で買上げて欲しいです。祖父母が昔大変な思いで土地を手に入れたそうですので、あのまま放置するわけにしたくないです。（70代以上）
- 双葉町は、自分の好きな町でしたが、現在は年齢的に思う様には行かず、震災から8年半も過ぎて、今は、先も見えない生活です。（70代以上）

[元の生活に戻ることについてのあきらめ]

- 8年以上いわき市で生活していて、便利な所もわかっているので、戻ってその生活が出来るとは思えない。（50代）
- コミュニティそして自宅などすべてを失い、10年を迎えようとしている。今、年齢的にも将来に望みを考えてもできることは浮かびません。ふるさとを思い起こしながら新しい環境の中で、慣れないながらも孫の成長を支えに、健康に留意しつつ、静かに余生を送るしかありません。とても残念ですが。（70代以上）
- 自分自身が若くてまだ動けるのであればいくらでも戻って復興の手助けをしますが、それはこの年齢ではとても無理です。（70代以上）

(3) 震災発生前の居住地について

<図表3-9-2-3 震災発生前の居住地についての意見>



[元の住居や土地等の管理・処分について]

- 立ち入りする度に、少しずつ整備されていくのが実感できるようになっています。自宅周辺は、解体の家がほとんどで、宅地の木も大部分が伐採され更地になっています。樹木や花木のある公園や緑地ができると、ほっとできると思いますので、そちらもお願いしたいです。(50代)
- 今一番思う事は、双葉に残して来た、田、畑、山はどうなるのか心配です。これから自分で耕作、管理する事は、色々な面で大変だと思っています。出来る事なら、国、県、町等に利用して頂ければと思っています。(60代)
- 私達は高齢者なので、宅地を除染したあとに自分で管理するのは難しいです。(70代以上)

[自宅の再建・改築・解体について]

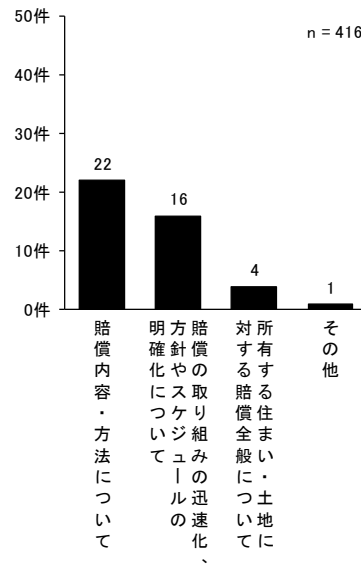
- 避難指示解除後、固定資産税などの取扱いはどうなるのか早めに明確に示して欲しい。自宅を解体するのか、除染するかの判断材料の1つにしたい。(40代)
- 止む無く家屋解体をしたが、その後更地になった宅地は草ぼうぼうの状態となっています。何らかの方法で、ある程度見栄えの良い状態に出来ないものでしょうか。このままだと、これから先荒れ放題になり、一時帰宅をする気も失せてしまいそうです。いつでも帰りたいと思える状態にしておきたいものだと思います。(60代)
- 家屋を解体すれば、固定資産税が高くなると聞いている。近くに中間貯蔵施設があり、住める状況ではない土地に税金がかかるのは納得がいかない。(70代以上)

[所有する住まい・土地の買取りについて]

- 農地や宅地の売却希望者に対して行政で支援してほしい。(50代)
- 双葉の宅地の処分について、どうしたら良いのか悩んでいる状況です。できればそれ相当の金額で補償(買取り)していただきたく、ご要望したいと思います。2000年に100坪ほどの土地を購入し、持ち家にしたのですが、あの震災後の東電の土地の補償額が、なんと半額以下!!せめて2000年購入額同額は補償いただけないと…と思ひ悩み、憤慨している次第です!(60代)
- 子供達が双葉町に戻らないと言っており、土地がどうにもならないので、国、福島県、双葉町で買い上げて頂けると難がたいのですけど。出来るだけお願いします。(70代以上)

(4) 賠償について

<図表3-9-2-4 賠償についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【賠償内容・方法について】

- 賠償に納得していないです。元の生活ができるようになるまでは賠償してもらいたい。(10～20代)
- 双葉町に平成10年より居住していたが、賠償が一般の方と同じように頂けない。納得がいかず悩んでいる状況。東京電力は、合意するまで誠意ある対応をお願いしたい。(30代)
- 中間貯蔵施設の土地や、原発の賠償を受けた家族は高齢者が多く、相続税等が心配。当たり前税金が掛かってくると聞いた。私たちの意志で住めなくなった訳でもない。やすを得ず協力している。今は、避勤先で会社勤めをしており、家族とは別々に暮らしている。相続税を払えるほどの給与でもない。町内の方でも同じ問題をかかえている人はいるはず。国として考えてほしい。(40代)

【賠償の取り組みの迅速化、方針やスケジュールの明確化について】

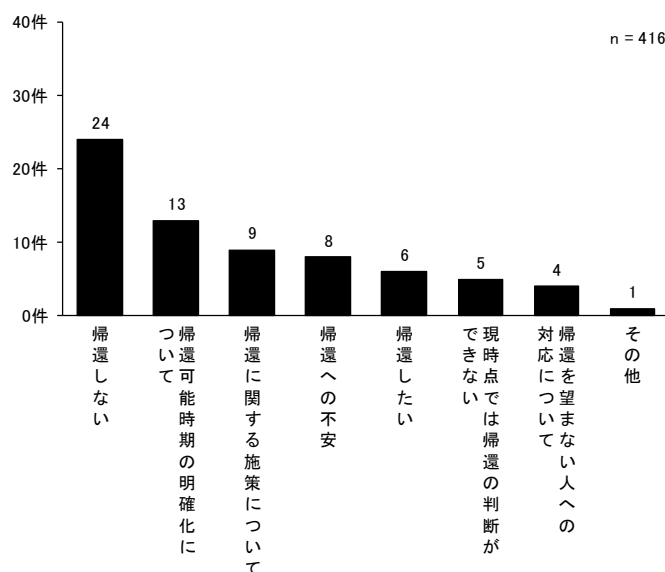
- 最終的な賠償金を早く決めてほしい。生活苦なので。(30代)
- 東電はなぜ賠償金を定期的に支払わないのか。被災者が死ぬのを待っているのか。死んでから支払われても何の意味もない。双葉にいれば、畑で自給自足も可能なのに町や国はこの状態をなぜ静観しているのか。(60代)
- 国は、もう10年になろうとしているのに、今後の損害賠償どうするつもりかきちんと決めて欲しい。(70代以上)

【所有する住まい・土地に対する賠償全般について】

- 避難解除された町とされない町が同一補償なのが納得いかない。(60代)
- 他の町と双葉町の賠償額は同じなんですか。(60代)
- 私達の生活の場として暮らしていた所は、中間貯蔵施設となり、周りは黒いフレコンと、ぽかどかい建物で、昔の風景はどこに行ってしまったのかと、行くたびに空しくなります。嫁いで50年、カー杯守って来た大地。借しているのだから、早く返して。健在であるうちに返してもらいたい。返す時はもう少し金額アップ、国に要望します。(70代以上)

(5) 帰還について

<図表3-9-2-5 帰還についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

[帰還しない]

- ようやく安定した生活を双葉町以外の新しい土地で始めました。今後は「戻る」という選択はなく、この場所ですべて生活をしていこうと考えています。(30代)
- 双葉に帰りたいたいと言っている人は何人位いるのですか？あと10年、20年したら町には何人の人が住んでいるのですか？若い人はいますか。若い子育て世代で帰る人かいるのですか？復興必要ですか？今の老人が死んだら次の世代はどのくらいいるのですか。小4、中3の子供は町のことを覚えていない。帰えるなんて親のエゴであって子供はもっと広い世界をみたほうが良い。(40代)
- 90才で1人暮らしの為、双葉へはもう戻れないとは思っています。ただ、気持ちの上ではなつかしく、いつも双葉の事を思い、寂しく思っています。双葉が事故前の様に戻ることを願っています。(70代以上)

[帰還可能時期の明確化について]

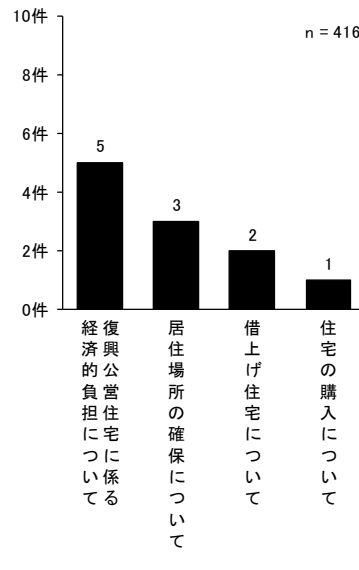
- いつまでに帰還困難区域を解除し、人間が生活出来るようにするのか。20年、30年先なのか、国にはつきりしてもらいたい。将来の展望が図られない。(60代)
- 帰還困難区域の今後の展開を知りたい(避難指示の解除)。(70代以上)
- 出来るかぎり早い内に除染等おこない帰還出来る所から帰すべきだと思います。(70代以上)

[帰還に関する施策について]

- 子供が出来てからの支援が周辺の町より劣っていると思う。2人目からならもっとお金を上げるべきだと思う。今住んでる市の方がもらえる額が上!!これでは、双葉町に帰ってきて、子育てしようとは思わない。子育て支援、ケアできるのかが今後のポイントになると思いました。(10~20代)
- 自主避難や、避難解除となっても帰還しないを選択した場合は様々な補助、見守をしていくべきだと思う。帰還した人達へも補助やサービスを充実していったほうが良い。(30代)
- 宅地内の庭木等も相当伸び、ひどいものである。当然、手入れもできないのが大きな原因ですが、空き巣による被害も後を絶たない今日です。(県警警ら隊によるパトロール等には感謝しております) 国はこうした状況を踏まえ、伐採対策を強く望むものであります。現況を見る限り、ふるさとに戻る意欲も薄らいでいきます。何とか解消を図っていただきたいと思います。(60代)

(6) 避難期間中及び将来の住宅について

<図表3-9-2-6 避難期間中及び将来の住宅についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【復興公営住宅に係る経済的負担について】

- 双葉町を通して復興公営住宅に入ったが、復興公営住宅とは言いがたい。仕事をすると家賃が上がるので、この住宅から抜け出せなくなっている。町にも相談した事はあるが、もういちど復興公営住宅の実態、実情を把握してほしい。(30代)
- 福島県家賃支援の仕方を改善してほしい。(1) 復興公営住宅の家賃が銀行引落しになっているにもかかわらず、引落とし実績の確認書類が必要。(2) 東電の賠償が終了時点(東電へ申請)の東電請求分しか助成されない。現在入っている家賃が高ければ東電請求が上限。低ければ現在の家賃(3) 30年2月に仮設住宅を退去して4月に復興公営住宅に入居した場合、一円も助成されない。(4) 現在の復興公営住宅の家賃に対する助成に変更してほしい。(60代)
- 復興公営住宅の家賃をこれ以上高くしないでほしい。これから先、買い物や病院に行く時に何人が集まって行けるように車でも出してもらいたい。たとえばグルリンコのようなもの。(70代以上)

【居住場所の確保について】

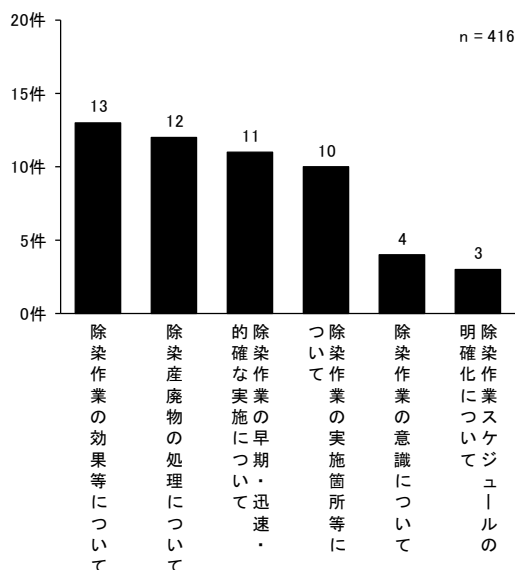
- このままずっと住宅貸り上げ住宅や仮設住宅など延長してほしいです。住めば都と言う様に8年以上も同じ所で生活していると、病院、スーパーなど顔なじみも出来ました。本当に、延長してほしいです。お願いします。(60代)

【借上げ住宅について】

- 借り上げ住宅、みなし住宅の一年更新はやめたほうがいいと思います。物置代わりにしている人がおります。新しい家に古い家財道具は持ち込みしないで一年更新しています。「タダ」のものは、追い出されるまで「置く」8年にもなって、気持ちを切り替えて、今災害で困っている人の事を考えてほしい。(70代以上)

(7) 除染について

<図表3-9-2-7 除染についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【除染作業の効果等について】

- 本当に人体への害はないのか、未だに不安があります。何かあってからではもう遅いので完全ではない事にふみきる気持ちにはまだなれません。(40代)
- 線量が今高くなっているといわれています。なぜなのか説明する必要があると思うが。(60代)
- お盆に双葉町に行った際、線量の結果が今までは0.2~0.3程度だったのが、1.4~1.5ありましてので原子力の廃炉の状態がどのようになっているのか。飛散しているのではないかと心配致します。(70代以上)

【除染産廃物の処理について】

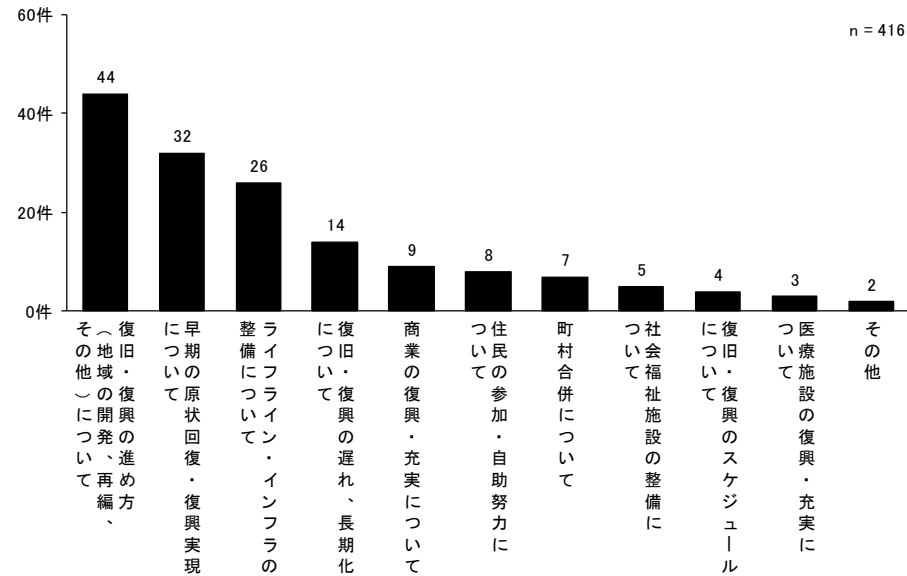
- 廃棄物の処理で出たゴミ、黒いビニールでおおわれているあちこちで見られるあの山を片づけないと、双葉町にまた住もうと思わないのではないのでしょうか。(40代)
- 中間貯蔵施設内の廃棄物を30年後県外に運び出すとの説明があったが、これは現実的には不可能だと思う。その為、大熊町と共に第一原発跡地を中心に最終処分場として利用するという方針を検討し、一刻も早く、国へ申し出てほしい。(60代)
- トリチウム汚染水の処理が問題になっているが、廃棄物の増量も含めて、海洋や他県にまで処理を及ぼすことなく、地元で考えるべきである。タンクも発電所付近の土地を徐々に拡大買収し、そこに充当させるのが最も自然な解決法だろう。(60代)

【除染作業の早期・迅速・的確な実施について】

- 除染も他の町とは汚染の濃度は違うと思う。土を5cm除去ではなく、もっと除去して本当に安心して生活できる様を考えて下さい。(40代)
- 双葉町の汚染は、他町村の解除された所とは違い、相当高い。徹底的に除染を行い(住宅から20M以内はダメ)、里山から汚染が流れこまない状況にしてほしい。(60代)
- いつまでこんな状態が続くのか、国などは歳をとらないが我々は年々加齢する。早急に除染し、元の状態にすべし。(70代以上)

(8) 復旧・復興について

<図表3-9-2-8 復旧・復興についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【復旧・復興の進め方（地域の開発、再編、その他）について】

- 自治体として成り立つかが心配。市町村合併は考えていないのか？双葉郡内で対応がわかれていることも不安を増幅させているように思う。郡で統一したものがあってもいいのでは？（30代）
- 市町村ごとの特色ある復興のためには、市町村が中心となりまちづくりを検討することも大事ですが、結果、殆どの市町村で似たり寄ったりの復興事業となる。また、いわきや南相馬などの市部は大規模な復興事業が出来き、双葉町を含む小さな町村は事業が限定されるという問題が出てきます。ここは国、福島県にもっとコーディネートしてもらって、広域的な浜通り全体を舞台とした復興事業が進められればと思います。（40代）
- 線量の事もあってしかたのないことですが、復興の状況に差がありすぎます。町の96%が帰還困難区域であり、先が見通せない状況に残念でなりません。自宅の状況周辺の状況を見渡し、あらためて古里の再生の難しさを感じますが、国と県は、どのような再生のあり方を町に求めているのでしょうか。住民に寄り添った再生、町の要望を考えた復興であってほしいものです。国の方針に左右されると言うか、方針に添った一律の再生ではなく、その土地に住まわれていた人々に添った再生の仕方があるように思います。（70代以上）

【早期の原状回復・復興実現について】

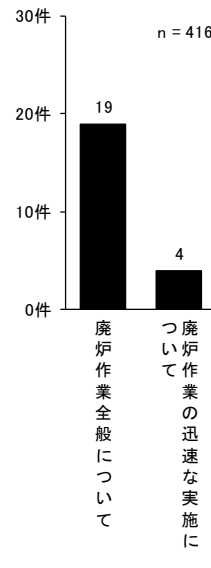
- 結婚しているので、夫や将来子供が産まれたら、ここがお母さんの生まれ育った双葉町だよ！と自信を持って自慢したいと思います。双葉町をよろしくお願いします。何もできませんが、少しずつ変わっていく双葉町の姿を楽しみにしています。（10～20代）
- 道の駅など、誰でも立ちよりたい場所や、双葉町に行きたいと思える施設を作らないと、双葉町に行かない。お年寄りの介護施設を作る、泊まれる施設を作る、屋内で遊べる施設やドームを作ったり、人が集まる、他の県から来る場所を！！浜通りにはない、大きな施設、何度も行きたくなるものを作ってほしい。（40代）
- 自分の足で移動出来るうちに、津波被害の無残な姿から、整備され、美しい花の咲く公園など、心がいやされる場所になった姿を自分の目に焼きつけ、安心して一生を終えられたらと願っています。（60代）

[ライフライン・インフラの整備について]

- JR常磐線が再開通するのが楽しみです。その際には特急が運行できるよう働きかけてほしいです。(50代)
- 高速道路の無料と医療費の無料は継続してほしい(避難指示が解除になっても永久的に)。双葉にICが出来てもETCが利用出来なければ利便性は、少ないのではないかと思う。(50代)
- 水道の復旧を早く。(60代)

(9) 原発の安全性について

＜図表3-9-2-9 原発の安全性についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【廃炉作業全般について】

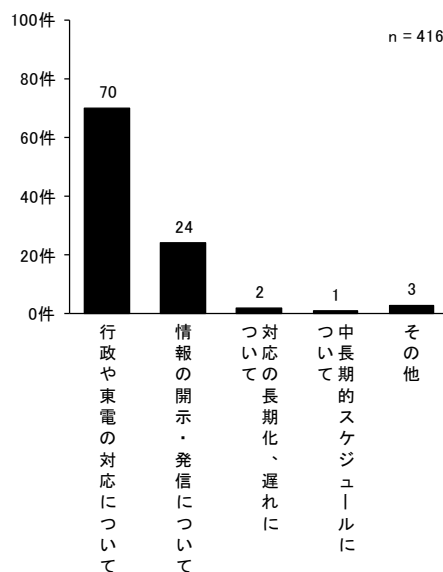
- 双葉町の将来が大変心配でなりません。不安と風評被害の払拭を第一考えて進めてもらいたい。とにかく廃炉のイメージを良くしてもらいたいです。(60代)
- 放射能をあびた土地には帰還する人も少ないと思う。置場がない言う前にもう町全体をそういう場所に(中間貯蔵施設+置場)を作ったらどうでしょうか。他府県でも誰れも引き受けてくれないと思います。(70代以上)
- 処理水の貯蔵量(タンク)が一杯になって来たのが心配。また、地震等で崩壊するのが心配です。若い人が本当に安心して住めるように除染し、放射線量が心配無い環境を作って欲しいと思います。(70代以上)

【廃炉作業の迅速な実施について】

- 中間貯蔵施設の対応について、貯蔵方法を進めるにあたり、計画(運び出すのか、出さないのか)が明確にしてないと、対応ができないのではないかと思います。仮設備が増え濃度の管理も不十分になってしまう。濃縮して高いものを確実に保管する等、方針を明確にすべきである。(60代)
- 国は、六ヶ所村にある高レベル放射性廃棄物を含めてその最終処分地の決定が出来ず困惑しているようです。この現状にありながら、尚発生する放射性廃棄物を無視して原発を稼働推進しているのは理解できないことです。今福島第一原発の廃炉が進められていますが、双葉町の住民が戻る前にこの周辺エリアを国の管理区域とした最終処分場とすべく、県、町と協議し、理解を得る努力をすべきと思います。現状では、最終処分地は、双葉町原発周辺以外に考えられません。処分地決定の先送り、先送りではますます困難になるのではと思います。(70代以上)
- 原発処理に対して十分な予算を組み、被災民救済に取り組んでほしい。廃炉の時期をしっかりと決め、それにむけた予算配分と、計画の立案がなければ、我々被災民は信用できない。いつまでにやり遂げ、どんな最終形を考えているのか明確に町民、国民に示せ。トリチウムの海洋投棄については、その安全性に疑問が出されている。そうした意見に対し、国は明確な答えを示していない。先を急がず、将来の住民が安心できるような形で、処理案を作成してほしい。(70代以上)

(10) 原発事故に対する対応について

<図表3-9-2-10 原発事故に対する対応についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【行政や東電の対応について】

- 7年ぶりに帰宅した我が家は、あの日のまま時間が止まっていました。復興、復興と盛りあがっている反面、ゴミ捨て場のような我が家にここは日本か！？と疑いました。なぜ、帰還困難区域は置きざりなのですか。現在の生活と双葉の家、土地の2重生活は不可能です。管理できません。活かさない土地に税金を支払っていく意味も分かりません。今後も、税への対策や心の苦しみへの対応、賠償等しっかり行って欲しいと思います。「戻らない」ではなく「戻れない」とても悲しいですね。それと、モニタリングポスト、減らさないで下さい。(40代)
- 原子力災害という中からの復興という双葉町は、他町村とは違い特異な形である。常にこのことは国や県へ持続した要求(望)をし、対応してもらおう。そして町民の内なる心の面の想いを第一に考えたやりとりを今後もお願いしたい。(50代)
- 国、県は、双葉町が復興再生をなしとげるまで全力で経済面と、人的にささえる義務があると思う。廃炉と中間貯蔵施設等が終了するまで！！(60代)

【情報の開示・発信について】

- タブレットの利用については横のつながりに役立っていると思います。今の情報がすぐ見られることで安心感をもつことができていると思います。町の情報が瞬時にみることで双葉町民として絆ができています。(60代)
- 放射線量について、こまめな正しい数値の報告を希望します。帰還しない大半の町民は線量が高いからだと思う。(70代以上)
- まだ帰れないでいるということを理解して欲しいです。家の状態から修理、掃除を進める為の情報(どこに頼めるのか、から)、少しの情報でも提供して頂けると、ここに聞いたら解決できるなど、あれば心強いです。(70代以上)

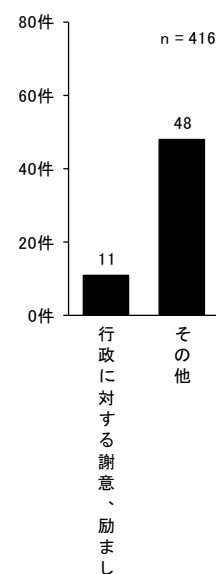
Ⅲ 調査結果

[対応の長期化、遅れについて]

- 人が住むと言う事は、安全、安心が求められる。なので廃炉と中間貯蔵施設をなくす事が優先！！それでも戻りたい人は自己責任とすべきかと。多分、ほとんどの人は、国、原発の話は少なくとも信用はしてないと思う！復興も大事だが、今後の第一原子力発電所の経過を見て、国民一人一人が思う事だと思う。要望と言うなら、キレイ事は言わないで欲しい。現実を見て欲しい。子供が安心して住める状況を作れる時こそ町に住める状況だと思う。(40代)
- 原子力発電所の廃炉作業が一日でも早く進み、復興することを望んでおります。(70代以上)

(11) その他

<図表3-9-2-11 その他の意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【行政に対する謝意、励まし】

- 長期間に渡る細やかなご支援と温かなご配慮に、頭が下がる思いでいっぱいです。目の前の仕事に全力を尽くすことで、間接的ではありますが、復興に尽力できるよう邁進する所存です。今後も、よろしくお願いいたします。(40代)
- 日頃の生活支援及び情報提供をありがたく思い感謝申し上げます。(60代)
- 国とか、県とか、町とかの区別はわかりませんが、これまで精一杯、助けていただいております。感謝しております。(70代以上)

IV 參考資料

4-1 使用調査票

令和元年度 双葉町住民意向調査

記入上の注意

● 調査をお願いする方

- ・震災発生時、双葉町に住民登録をしていた世帯（避難後の転出者を含む）が対象です。
- ・ご回答は、**世帯の代表者の方**にお願いします。
現在、世帯が何箇所かに分かれて避難されている方には、**それぞれの場所に調査票を送付しておりますので、本調査票の送付されたお住まいの代表者の方**にご回答をお願いします。

● ご回答方法

- ・ご回答は、あてはまる番号を選び、その番号に○をつけてください。
- ・「その他」に○をされた場合は、() 内に具体的な内容もご記入ください。
- ・の中に具体的な内容の記入をお願いしている間には、具体的な内容（地名、数など）をご記入ください。

● 情報の取り扱いについて

- ・回答はすべて統計的な処理を行い、個人の特定につながるような内容が公表されることはありません。

● ご提出方法

- ・ご記入済みの調査票は、**10月8日（火）まで**に、同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストにご投かんください（切手は不要です）。

【問い合わせ先】

復興庁
「住民意向調査」
問い合わせセンター

調査の趣旨、記入方法について

フリーダイヤル 0120-912-958

[設置期間：9月25日（水）～10月8日（火）10時～17時]

土・日・祝日を除く

福島県

〒960-8670 福島県福島市杉妻町2番16号

避難地域復興局 生活拠点課

電話 024-521-8617

双葉町

〒974-8212 福島県いわき市東田町二丁目19番地の4

いわき事務所 復興推進課

電話 0246-84-5203（直通）

本調査は、町民の皆さまの今後の生活設計などについての考えを把握し、ご意見やご要望などをお伺いすることを目的に実施する調査となっております。

双葉町においても、皆さまのふるさとでの生活再建を目指すべく、帰還が可能となる環境の整備に着手しております。中野地区において、「働く拠点」となる中野地区復興産業拠点を整備し、地元関係企業を含めた多くの企業の立地が決定しているほか、今年度末に再開予定のJR双葉駅周辺においては、駅西地区に「住む拠点」を整備することとしており、今年度末の、避難指示解除準備区域及び双葉駅周辺の一部避難指示解除、令和4年春頃の、特定復興再生拠点区域内全域の避難指示解除を目標としております。

本調査で皆さまからいただいた貴重なご意見やご要望は、今後の施策を進めるための基礎資料として活用させていただいております。多くの町民の皆さまの声を反映した「町民一人一人の復興」「町の復興」が進められるよう、本調査へのご協力をお願いいたします。

はじめに、ご記入いただくあなたご自身のことについて教えてください。

【すべての方にうかがいます。】

問1 現在のあなたの性別と年齢を教えてください。

(1) 性別(○は1つ)

1. 男性

2. 女性

(2) 年齢(○は1つ)

1. ～19歳

8. 50～54歳

2. 20～24歳

9. 55～59歳

3. 25～29歳

10. 60～64歳

4. 30～34歳

11. 65～69歳

5. 35～39歳

12. 70～74歳

6. 40～44歳

13. 75～79歳

7. 45～49歳

14. 80歳以上

【すべての方にうかがいます。】

問 2 現在のあなたの職業を教えてください。

仕事に就いている方は、業種も教えてください。なお、2つ以上の職業を持っている場合は、主な収入源になっている職業を教えてください。

(1) 職業(就業形態)(○は1つ)

1. 自営業・会社経営者(継続中もしくは再開済)	8. 学生	} ⇒ <u>問 3-1</u> へ
2. 自営業・会社経営者(休業中)	9. 無職(職を探していない)	
3. 会社員(勤め人)(事務や内勤を主とする業務)	10. 無職(職を探している)	} ⇒ <u>問 3-1</u> へ
4. 会社員(勤め人)(労務や外勤を主とする業務)	11. その他 (具体的に: _____)	
5. 団体職員		
6. 公務員		
7. パート・アルバイト		

【仕事に就いている方(問2(1)で「1」から「7」、「11」と回答した方)にうかがいます。】

(2) 業種(○は1つ)

1. 農・林・漁・畜産業	7. 金融・保険業	} ⇒ <u>問 3-1</u> へ
2. 建設業	8. 医療・福祉	
3. 製造業	9. 教育	
4. 電気・ガス・水道業	10. 公務	
5. 運輸業	11. その他 (具体的に: _____)	
6. 卸・小売り・飲食、サービス業		

東日本大震災発生時のあなたの状況について教えてください。

【すべての方にうかがいます。】

問 3-1 震災発生当時にお住まいだった行政区を教えてください。(○は1つ)

- | | | |
|-------|---------|--|
| 1. 新山 | 8. 長塚一 | 15. 中田 |
| 2. 下条 | 9. 長塚二 | 16. 両竹 |
| 3. 郡山 | 10. 下長塚 | 17. 浜野 |
| 4. 細谷 | 11. 羽鳥 | 18. その他 |
| 5. 三字 | 12. 寺松 | } ⇒ <u>問 4 へ</u>
〔わからない場合は、住所を記載してください〕 |
| 6. 山田 | 13. 渋川 | |
| 7. 石熊 | 14. 鴻草 | |
| | | |

【問 3-1 で「16. 両竹」「17. 浜野」以外を回答した方に伺います。】

問 3-2 震災発生当時のお住まいは、以下の各区域のどこに該当するかを教えてください。(○は1つ)
※別途同封しております、「双葉町内における復興事業の取組状況」をご覧ください。

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 特定復興再生拠点区域 | 3. 「1」「2」以外の区域 |
| 2. 中間貯蔵施設予定地の区域 | 4. わからない |

【すべての方にうかがいます。】

問 4 震災発生当時にお住まいだった住宅は、どのような形態でしたか。(○は1つ)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 持ち家(一戸建) | 7. 家族のどなたかのお住まい・実家 |
| 2. 持ち家(集合住宅) | 8. 親戚・知人宅 |
| 3. 民間賃貸住宅(一戸建) | 9. その他 |
| 4. 民間賃貸住宅(集合住宅) | 〔具体的に:〕 |
| 5. 公営住宅 | |
| 6. 給与住宅(社宅、公務員宿舎など) | |
| | |

避難状況について教えてください。

【すべての方にかがいます。】

問5 あなたが現在避難されている自治体を教えてください。(○は1つ)

【 浜 通 り 】 1. いわき市 2. 相馬市 3. 南相馬市 4. 広野町 5. 檜葉町 6. 川内村 7. 新地町	【 中 通 り 】 8. 福島市 9. 郡山市 10. 白河市 11. 須賀川市 12. 二本松市 13. 田村市 14. 伊達市 15. 本宮市 16. 桑折町 17. 川俣町 18. 大玉村 19. 西郷村 20. 三春町	【 会 津 】 21. 会津若松市 22. 喜多方市 23. 会津美里町 【 そ の 他 】 24. 1～23 以外の福島県内市町村 →具体的にご記入ください <div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 25px; display: inline-block;"></div> (市・町・村)
【 福島県外 】 25. 福島県外 →具体的にご記入ください <div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 25px; display: inline-block;"></div> (都・道・府・県) <div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 25px; display: inline-block;"></div> (市・区・町・村)		

【すべての方にかがいます。】

問6 震災発生当時と現在の世帯構成についてうかがいます。

(1)「震災発生当時」に、あなたを含めて一緒に住んでいた方の人数を教えてください。

あなた自身を含めて、「当時の」年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

ア)未就学児(小学校入学前)	人	エ)15歳以上18歳未満 (中学生を除く)	人
イ)小学生	人	オ)18歳以上65歳未満	人
ウ)中学生	人	カ)65歳以上の方	人

(2)「現在」、あなたを含めて一緒に住んでいる方の人数を教えてください。

あなた自身を含めて、「現在の」年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

ア)未就学児(小学校入学前)	人	エ)15歳以上18歳未満 (中学生を除く)	人
イ)小学生	人	オ)18歳以上65歳未満	人
ウ)中学生	人	カ)65歳以上の方	人

【すべての方にうかがいます。】

問 7-1 現在お住まいになっている住宅はどのような住居形態ですか。(○は1つ)

- | | |
|---------------------------------|---------------------|
| 1. 応急仮設住宅(プレハブ型。無償) | 7. 家族のどなたかのお住まい・実家 |
| 2. 応急仮設住宅(民間住宅・公営住宅などの借り上げ型。無償) | 8. 親戚・知人宅 |
| 3. 福島県営などの復興公営住宅(2は除く。有償) | 9. 持ち家(ご本人またはご家族所有) |
| 4. その他の公営住宅(3は除く。有償) | 10. その他 |
| 5. 民間賃貸住宅(有償) | (具体的に:) |
| 6. 給与住宅(社宅など) |) |

【すべての方にうかがいます。】

問 7-2 福島県営の復興公営住宅への入居意向について教えてください(○は1つ)

- | | |
|--------------------------------------|---------------|
| 1. すでに入居している | 4. 入居を希望しない |
| 2. 入居の申込み中である | 5. 判断できない |
| 3. 今後、入居の申込みをしたい
⇒ 問 7-3 へ | (判断できない理由:) |

→ **問 7-2** で「3」以外を選んだ方は**問 8** へ

【問 7-2 で「3. 今後、入居の申込みをしたい」と回答した方にうかがいます。】

問 7-3 入居を希望する市町村について教えてください。(○は1つ)

- | | |
|----------|---------------|
| 1. 福島市 | 7. 田村市 |
| 2. 会津若松市 | 8. 南相馬市 |
| 3. 郡山市 | 9. 本宮市 |
| 4. いわき市 | 10. その他 |
| 5. 白河市 | (希望する市町村名:) |
| 6. 二本松市 |) |

※この質問への回答により、入居の申込み等に影響があるものではありません

【すべての方にうかがいます。】

問 8 避難期間中の住宅や、生活において困っていること、改善を求めること等があれば、お書きください(医療、教育、介護・福祉、就労、コミュニティなど)。

将来に関するご意向についてお聞かせください。

町では、今年度末までに避難指示解除準備区域とJR双葉駅周辺の一部区域、令和4年春頃までに特定復興再生拠点区域全域について、避難指示を解除し、皆さまの帰還が可能となる環境を整えることとしております。

これに基づき、現在中野地区において「働く拠点」となる復興産業拠点を整備し、地元を含めた多くの企業の立地が決定したほか、今年度末に再開するJR双葉駅周辺では、駅西地区において、皆さまの居住が可能な「住む拠点」の整備に着手しているところです。お手数ですが、問9から問13-3は、同封資料「双葉町内における復興事業の取組状況」をご覧くださいからお答えください。

【すべての方にうかがいます。】

問9 今後、避難指示が解除された後の双葉町への帰還について、現時点でどのようにお考えですか。(〇は1つ)

1. 戻りたいと考えている(将来的な希望も含む) ⇒ 問10-1-1へ
2. まだ判断がつかない ⇒ 問10-2(7ページ)へ
3. 戻らないと決めている ⇒ 問11-1(9ページ)へ

問10-1-1からは、問9で「1. 戻りたいと考えている(将来的な希望も含む)」と回答した方にうかがいます。

【問9で「1. 戻りたいと考えている(将来的な希望も含む)」と回答した方にうかがいます。】

問10-1-1 避難指示が解除されてから、何年以内に戻りたいと考えていますか。(〇は1つ)

1. 1年以内
2. 3年以内
3. しばらく様子を見たい
4. 特定復興再生拠点区域の外にある自宅に帰れるまで待ちたい
5. その他 { 具体的に: }

【問9で「1. 戻りたいと考えている(将来的な希望も含む)」と回答した方にうかがいます。】

問10-1-2 戻る場合に家族の全員か一部かについて教えてください。(〇は1つ)

1. 家族全員での帰還を考えている ⇒ 問10-2(7ページ)へ
2. 家族一部での帰還を考えている ⇒ 問10-1-3へ
3. 現在検討しているところ ⇒ 問10-2(7ページ)へ
4. まだわからない ⇒ 問10-2(7ページ)へ

【問10-1-2で「2. 家族一部での帰還を考えている」と回答した方にうかがいます。】

問10-1-3 帰還した場合にはどのような家族構成になると考えていますか。あなた自身を含めて、「現在の」年齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

ア)18歳未満	人	ウ)65歳以上の方	人
イ)18歳以上65歳未満	人		

問10-2からは、問9で「1. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」
「2. まだ判断がつかない」と回答した方にかがいます。

【問9で「1. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」「2. まだ判断がつかない」と回答した方にかがいます。】

問 10-2 帰還する場合、または双葉町へ戻ることを判断するためにどのような支援や情報が必要と考えますか。重視したいものから順に選択肢番号欄に3つまで選び、具体的な内容欄に支援や情報内容をご記入ください。

- | | |
|--|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 除染対策(被ばく低減対策) 2. 住宅の修繕や建て替え、住宅確保の支援 3. 商業施設の再開や新設 4. 医療・介護福祉施設の再開や新設 5. 学校や教育施設の再開や新設 6. 公共交通機関の再開 7. なりわいの確保・就業支援 8. 携帯電話やインターネットなど通信環境の改善 9. 地域のきずな維持やコミュニティの支援 | <ol style="list-style-type: none"> 10. 原子力発電所の廃炉に関することの情報提供 11. 放射線の人体への影響に関する情報 12. 中間貯蔵施設に関することの情報提供 13. 避難指示解除となる時期の目安に関する情報 14. 賠償額の確定 15. どの程度の住民が戻るかの状況 16. 日常の住民サービスの情報など 17. その他 18. 特にない |
|--|--|

優先順位	選択肢番号	具 体 的 な 内 容
(例)1番目	(例) 4	(例) ○○病院の再開
1番目		
2番目		
3番目		

【問9で「1. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」「2. まだ判断がつかない」と回答した方にかがいます。】

問 10-3 帰還した場合のお住まいは、第一希望としてどのような形態を希望されますか。(○は1つ)

1. 元の持ち家(自宅)(建て替える場合を含む)
2. 自宅とは別の場所に新たに一戸建ての持ち家を建てたい
3. 自宅とは別の場所に分譲集合住宅を購入したい
4. 民間賃貸住宅(一戸建て)
5. 民間賃貸住宅(集合住宅)
6. 町内の公営住宅
7. 給与住宅(社宅など)
8. 家族のどなたかのお住まい・実家
9. 親戚・知人宅
10. その他(具体的に: _____)
11. 現時点では判断できない

【問9で「1. 戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）」「2. まだ判断がつかない」と回答した方にうかがいます。】

問 10-4 町では、JR 双葉駅の西側の区域を「新市街地ゾーン」と位置づけ、町が主導して先行的に住宅地や生活関連施設の整備を進めることとしております。また、JR 双葉駅の東側の区域については、「まちなか再生ゾーン」と位置づけ、既成市街地の再生を目指すこととしております。「駅西・新市街地ゾーン」や「駅東・まちなか再生ゾーン」への居住に関する意向について、もっとも近いものはどれですか。（○は1つ）
※震災発生当時に駅西地区及び駅東地区にお住まいの方もお答えください。

- | | |
|-----------------------|--------------------------|
| 1. 駅西・新市街地ゾーンに居住したい | ⇒ <u>問 10-5</u> へ |
| 2. 駅東・まちなか再生ゾーンに居住したい | ⇒ <u>問 10-6-1</u> へ |
| 3. 判断ができない | ⇒ <u>問 10-7(9 ページ)</u> へ |
| 4. どちらにも居住しない | ⇒ <u>問 10-7(9 ページ)</u> へ |

【問 10-4 で「1. 駅西・新市街地ゾーンに居住したい」と回答した方にうかがいます。】

問 10-5 町により、JR 双葉駅の西側に住宅地が整備された場合のお住まいは、どのような形態を希望されますか。（○は1つ）

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| 1. 公営住宅(一戸建て) | 4. 駅西・新市街地ゾーンにある自宅 |
| 2. 公営住宅(集合住宅) | 5. その他(具体的に:) |
| 3. 町から宅地の分譲を受け、自宅を建築したい | 6. 現時点では判断がつかない |

【問 10-4 で「1. 駅西・新市街地ゾーンに居住したい」「2. 駅東・まちなか再生ゾーンに居住したい」と回答した方にうかがいます。】

問 10-6-1 「駅西・新市街地ゾーン」及び「駅東・まちなか再生ゾーン」に、特に必要と考える、生活関連施設を教えてください。（○は3つまで）

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| 1. コミュニティ施設(集会所・公民館・公園等) | 5. 金融機関 |
| 2. 商業施設・食堂・コンビニエンスストアなど | 6. 窓口サービスなどの役場機能 |
| 3. 医療・介護施設 | 7. 避難されている家族が一時宿泊できる施設 |
| 4. 保健・教育施設 | 8. その他(具体的に:) |

【問 10-4 で「1. 駅西・新市街地ゾーンに居住したい」「2. 駅東・まちなか再生ゾーンに居住したい」と回答した方にうかがいます。】

問 10-6-2 「駅西・新市街地ゾーン」及び「駅東・まちなか再生ゾーン」に、特に必要と考える、生活関連サービスを教えてください。（○は3つまで）

- | | |
|------------------|----------------|
| 1. 安否確認や見守りサービス | 5. 移動販売サービス |
| 2. 健康相談・生活相談サービス | 6. 公共交通サービス |
| 3. 健康増進・介護予防サービス | 7. 役場機能窓口サービス |
| 4. 配食サービス | 8. その他(具体的に:) |



問 9 で「1.戻りたいと考えている(将来的な希望も含む)」を選んだ方は問 12(10 ページ)へ



問 9 で「2.まだ判断がつかない」を選んだ方は問 11-1(9 ページ)へ

【問 10-4 で「3. 判断ができない」「4. どちらにも居住しない」と回答した方にうかがいます。】

問 10-7 「駅西・新市街地ゾーン」及び「駅東・まちなか再生ゾーン」への居住について、現時点で判断ができない、居住しない理由はどのようなことからですか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------------------|-----------------------------|
| 1. 駅西・駅東以外にある自宅に戻るから | 6. 仕事の都合で、生活の拠点にできるかわからないから |
| 2. 違う場所で自宅を購入し生活を開始したいから | 7. どのような人が住むのかわからなく不安だから |
| 3. 周辺環境がわからないから | 8. 自身の生活の見通しがたっていないから |
| 4. 道路、学校、病院など社会基盤(インフラ)の状況がわからないから | 9. その他 [具体的に:] |
| 5. どの程度の生活関連施設が整備されるのかわからないから | |



問 9 で「1. 戻りたいと考えている(将来的な希望も含む)」を選んだ方は問 12(10 ページ)へ



問 9 で「2. まだ判断がつかない」を選んだ方は問 11-1 へ

問 11-1 からは、問 9 で「2. まだ判断がつかない」「3. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。

【問 9 で「2. まだ判断がつかない」「3. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

問 11-1 双葉町との“つながり”を保ちたいと思いますか。(○は1つ)

- | | | |
|---------|----------|-----------|
| 1. そう思う | 2. わからない | 3. そう思わない |
|---------|----------|-----------|

【問 9 で「2. まだ判断がつかない」「3. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

問 11-2 双葉町をどのくらいの頻度で訪れたいと思いますか。(○は1つ)

- | | | |
|---------------|--------------|------------------|
| 1. 1か月に1回程度 | 4. 年に1回程度 | 7. その他 [具体的に:] |
| 2. 2~3か月に1回程度 | 5. 2~3年に1回程度 | |
| 3. 半年に1回程度 | 6. 訪れるつもりはない | |

【問 9 で「2. まだ判断がつかない」「3. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

問 11-3 どのような取り組みや行事、イベントなどがあれば、双葉町に訪れたいと思いますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| 1. 有志によるサークル活動 | 7. セミナーへの参加や資格の取得などの学習活動 |
| 2. 趣味・料理・ものづくり教室などの文化活動 | 8. 仕事や労働などの職業活動 |
| 3. 運動・スポーツなどの健康づくり活動 | 9. 農地や環境の保全活動 |
| 4. お祭り・イベントなどの地域行事 | 10. その他 [具体的に:] |
| 5. 世代間交流・ボランティア活動 | |
| 6. 防災・防犯などの地域活動 | |

問 12 はすべての方にかがいます。

【すべての方にかがいます。】

問 12 今年度末には、JR 常磐線が全面開通し、JR 双葉駅が営業再開します。また、令和 2 年 7 月ころには、中野地区において、飲食店が入居する産業交流センターがオープンする予定のほか、震災の記憶と教訓を伝承するアーカイブ拠点施設や、復興祈念公園の一部などが開園する予定で、それらに合わせてイベントの開催も検討しています。イベントが開催された場合、参加してみたいですか。(○は1つ)

1. 参加してみたい

2. 参加したくない

3. わからない



問 9 で

「1.戻りたいと考えている(将来的な希望も含む)」

「2.まだ判断がつかない」

を選んだ方は問 14-1(12 ページ)へ



問 9 で

「3.戻らないと決めている」を
選んだ方は問 13-1(11 ページ)へ

問 13-1 からは、問 9 で「3. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。

【問 9 で「3. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

問 13-1 現時点で戻らないと決めている理由はどのようなことですか。(○はいくつでも)

【帰還の前提・健康に関わるもの】

1. 放射線量が低下せず不安だから
2. 原子力発電所の安全性に不安があるから
3. 中間貯蔵施設の安全性に不安があるから
4. 水道水などの生活用水の安全性に不安があるから

【双葉町内の復旧状況に関わるもの】

5. 双葉町に戻っても仕事がなさそうだから
6. 双葉町での事業の再開が難しいから
7. 営農などができそうにないから
8. 家が汚損・劣化し、住める状況ではないから
9. 双葉町外への移動交通が不便だから
10. 道路、鉄道等の交通インフラに不安があるから
11. 医療環境に不安があるから
12. 介護・福祉サービスに不安があるから
13. 教育環境に不安があるから
14. 生活に必要な商業施設などが元に戻りそうにないから

【今後の生活に関わるもの】

15. 避難先で自宅を購入または建築し、将来も継続的に居住する予定だから
16. 避難先の住居(持ち家以外)を生活拠点とし、将来も継続的に居住する予定だから
17. 高齢者・要介護者のいる世帯なので生活が不安だから
18. 他の住民も戻りそうにないから
19. 今後も津波被害を受ける可能性があるから
20. 特定復興再生拠点区域の外で帰還が見通せないから
21. 避難先で仕事を見つけているから
22. 今の環境で子どもの教育を継続させたいから
23. 避難先の方が、生活利便性が高いから
24. その他

（具体的に：

【問 9 で「3. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

問 13-2 帰還しない場合に、今後の生活においてどのような支援を求めますか。(○はいくつでも)

1. 継続的な健康管理の支援
2. 雇用確保の支援
3. 仮設住宅や借り上げ住宅の継続的利用
4. 役場からの継続的な情報提供

5. 一時帰宅支援

6. その他

（具体的に：

【問 9 で「3. 戻らないと決めている」と回答した方にうかがいます。】

問 13-3 帰還しない場合に、今後のお住まいとして希望する(既に居住している場合を含む)住宅は、どのような形態ですか。(○は1つ)

1. 持ち家(一戸建)
2. 持ち家(マンションなど)
3. 民間賃貸住宅(一戸建)
4. 民間賃貸住宅(アパート・マンションなど)
5. 復興公営住宅
6. 公営住宅(原発避難者向けの復興公営住宅を除く都道府県営住宅や市町村営住宅)

7. 給与住宅(社宅など)

8. 家族のどなたかのお住まい

9. 親戚・知人宅

10. その他

（具体的に：

町内への一時立ち入りや避難指示解除に向けた取組みについてお聞かせください。

問 14-1 からはすべての方に向かっていきます。

【すべての方に伺います。】

問 14-1 町内への一時立ち入りはどの程度の頻度で活用していますか。(○は1つ)

- | | | | |
|-----------|------------|----------------|--------------|
| 1. 月に2回以上 | } ⇒ 問 15 へ | 5. ほとんど活用していない | } ⇒ 問 14-2 へ |
| 2. 月に1回程度 | | 6. 活用していない | |
| 3. 年に2回程度 | | | |
| 4. 年に1回程度 | | | |

【問 14-1 で「5. ほとんど活用していない」「6. 活用していない」と回答した方にお伺いします。】

問 14-2 活用していない理由を教えてください。(○はいくつでも)

1. 事前に立ち入りの手続きをしなければならず面倒であるから
2. 町内に移動するまで時間がかかるから
3. 放射線や原子力発電所に不安があるから
4. 仕事等で忙しく一時立ち入りをしている時間がないから
5. 町内に家屋等がなく、立ち入りをする理由がないから
6. その他(具体的に: _____)

【すべての方に伺います。】

問 15 今年度末には、常磐自動車道の常磐双葉インターチェンジの開業、JR 常磐線の全線開通およびJR双葉駅の再開が予定されており、双葉町内へのアクセスが格段に向上します。それらに合わせ、JR双葉駅周辺を中心とする特定復興再生拠点区域内については、バリケードを撤去し、事前の立ち入り手続きを不要とすることとしております。訪れやすくなった双葉町内への立ち入り頻度を、増やしてみたいですか。(○は1つ)

1. 頻度を増やしたい
2. 頻度を増やす考えはない
3. わからない

【すべての方に伺います。】

問 16-1 町では、令和4年春に特定復興再生拠点区域全域の避難指示解除を目指しています。解除に先立って、ご自宅などで特例的に宿泊できる「準備宿泊」に参加することができますが、ご希望されますか。(○は1つ)

- | | | |
|----------|--------------|-------------------|
| 1. 希望する | } ⇒ 問 16-2 へ | |
| 2. 希望しない | | } ⇒ 問 17(13 ページ)へ |
| 3. わからない | | |

【問 16-1 で「1. 希望する」と回答した方に伺います。】

問 16-2 町で準備宿泊を希望される場所をご自宅ですか。(○は1つ)

1. 自宅
2. 自宅以外(具体的な場所: _____)

【問 19-1 で「2」「3」と回答した方にうかがいます。】

問 19-2 町では現在、空き地の活用に向け、売却や賃借を希望する空き地の情報を紹介する「空き地バンク」の運用開始を予定しています。
それに関連し、保有している宅地について、民間企業などの第三者から宅地貸し出しなどの利活用についての問い合わせを受けたことはありますか。(○は1つ)

1. 問い合わせを受けたことがある(すでに貸している場合も含む)
2. 問い合わせを受けたことはない

【町内に農地を保有している方にうかがいます。】

問 20-1 所有している農地を今後どのように利用されますか。現時点でのお考えをお聞かせください。(○は1つ)

- | | |
|------------------------------|----------------|
| 1. 保全管理したい ⇒ <u>問 20-2</u> へ | 4. なにもしない |
| 2. 営農を再開したい | 5. その他 { 具体的に: |
| 3. 売却または賃貸したい | } |

→ 問 20-1 で「1」以外を選んだ方は問 21-1(15 ページ)へ

【問 20-1 で「1. 保全管理したい」と回答した方にうかがいます。】

問 20-2 町では、両竹地区の農地の保全を目的とする組合を昨年5月に設立しました。今後、拠点内の農地も組合等組織により保全管理を行う予定です。このような組合への加入について、現時点でのお考えをお聞かせください。(○は1つ)

1. すでに組合に加入している
2. 組合に加入して、保全管理に参加したい。
3. 組合に加入しないが、保全管理は組合に任せたい
4. 組合に加入しないが、自ら保全管理したい
5. わからない

町からの情報入手と周囲とのコミュニケーションに関する状況についてお聞かせください。

【すべての方にうかがいます。】

問 21-1 あなたは町からの情報を主にどのような方法で入手していますか。(○は3つまで)

- | | |
|---|-------------------------|
| 1. 広報ふたば | 6. ニュースふたば(動画) |
| 2. つなげようつながろう「ふたばのわ」 | 7. メールマガジン |
| 3. ICT きずな支援システム
(町配布タブレット端末) ⇒ 問 21-2 へ | 8. マスメディア(テレビ、ラジオ、新聞など) |
| 4. 町公式ホームページ(パソコンなど) | 9. その他 [具体的に: |
| 5. 町復興ポータルサイト(パソコンなど) |] |

問 21-1 で「3.ICTきずな支援システム(町配布タブレット端末)」と回答しなかった方は問 22-1 へ

【問 21-1 で「3. ICT きずな支援システム(町配布タブレット端末)」と回答した方にうかがいます。】

問 21-2 町が無料配付している「ICT きずな支援システム(タブレット端末)」は、どれくらいの頻度で利用していますか。(○は1つ)

- | | | |
|---------------|---------------|----------------|
| 1. 毎日 | 3. 1か月に1~2回程度 | 5. 1年に1~2回程度 |
| 2. 1週間に1~2回程度 | 4. 半年に1~2回程度 | 6. ほとんど利用していない |

【問 21-1 で「3. ICT きずな支援システム(町配布タブレット端末)」と回答した方にうかがいます。】

問 21-3 「ICT きずな支援システム(タブレット端末)」の通信料が、自己負担となっても利用されますか。(○は1つ)

1. 利用する
2. 通信料が月額 5,000 円程度であれば利用する
3. 通信料が月額 3,000 円程度であれば利用する
4. 通信料が月額 1,000 円程度であれば利用する
5. 利用しない
6. わからない

【すべての方にうかがいます。】

問 22-1 双葉町復興支援員が製作している物について知っているものはありますか。(○はいくつでも)

※双葉町復興支援員(通称:ONE福島、ふたさぼ)とは、国の復興支援員制度を活用し、避難先における町民のコミュニティの維持発展を図るため、コミュニティ支援、広報支援、映像等制作支援の活動を行っています。

- | | |
|----------------------|--|
| 1. つなげようつながろう「ふたばのわ」 | 5. ありがとうメッセージ(動画) |
| 2. ブログ「ふたばのわ」 | 6. 伝統芸能保存プロジェクト(動画) |
| 3. ニュースふたば(動画) | 7. 双葉町グローバル配信(動画) |
| 4. 双葉町内ドローン映像(動画) | 8. 知っているものはない ⇒ 問 23(16 ページ) へ |

問 22-1 で「1」から「7」のいずれかを選んだ方は問 22-2(16 ページ)へ

【問 22-1 で「1」から「7」のいずれかを回答した方にうかがいます。】

問 22-2 双葉町復興支援員が製作している物について、今後も継続してほしいものを教えてください。(○は3つまで)

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. つなげようつながろう「ふたばのわ」 | 5. ありがとうメッセージ(動画) |
| 2. ブログ「ふたばのわ」 | 6. 伝統芸能保存プロジェクト(動画) |
| 3. ニュースふたば(動画) | 7. 双葉町グローバル配信(動画) |
| 4. 双葉町内ドローン映像(動画) | |

【すべての方にうかがいます。】

問 23 あなたが特に知りたい、関心がある情報は何か。(○は3つまで)

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 住宅・暮らしの情報 | 7. 原子力損害賠償関連情報 |
| 2. 健康・医療・福祉関連情報 | 8. 原子力発電所関連情報 |
| 3. 子育て・教育関連情報 | 9. 中間貯蔵施設関連情報 |
| 4. 雇用・就労・就農関連情報 | 10. イベント・交流会に関する情報 |
| 5. 復興まちづくり関連情報 | 11. その他〔 具体的に:] |
| 6. 放射線量・除染情報 | |

【すべての方にうかがいます。】

問 24 あなたが避難先で加入している自治会等の組織はありますか。(○は1つ)

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 避難先の自治会等に加入し、交流会等に参加している |
| 2. 町補助の自治会等に加入し、交流会等に参加している |
| 3. 自治会等に加入してはいるが、積極的に交流等には参加していない |
| 4. 自治会等に加入してはいるが、職場の同僚や近所の人と交流がある |
| 5. その他(具体的に:) |

国や福島県、双葉町へのご意見などについてお聞かせください。

【すべての方にうかがいます。】

問 25 今後、町が町内の復興を進めていくにあたり、あなたのご意見・ご感想など、ご自由にお書きください。

【すべての方にうかがいます。】

問 26 国や福島県、双葉町への要望などをご自由にお書きください。

以上でご回答いただく内容は終わりです。
ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

同封の返信用封筒にご記入済み調査票を入れて、
10月8日（火）までに郵便ポストに投函してください（切手は不要です）。

**双葉町 住民意向調査
報告書**

令和2年3月

復興庁 福島県 双葉町

調査機関:株式会社サーベイリサーチセンター

